

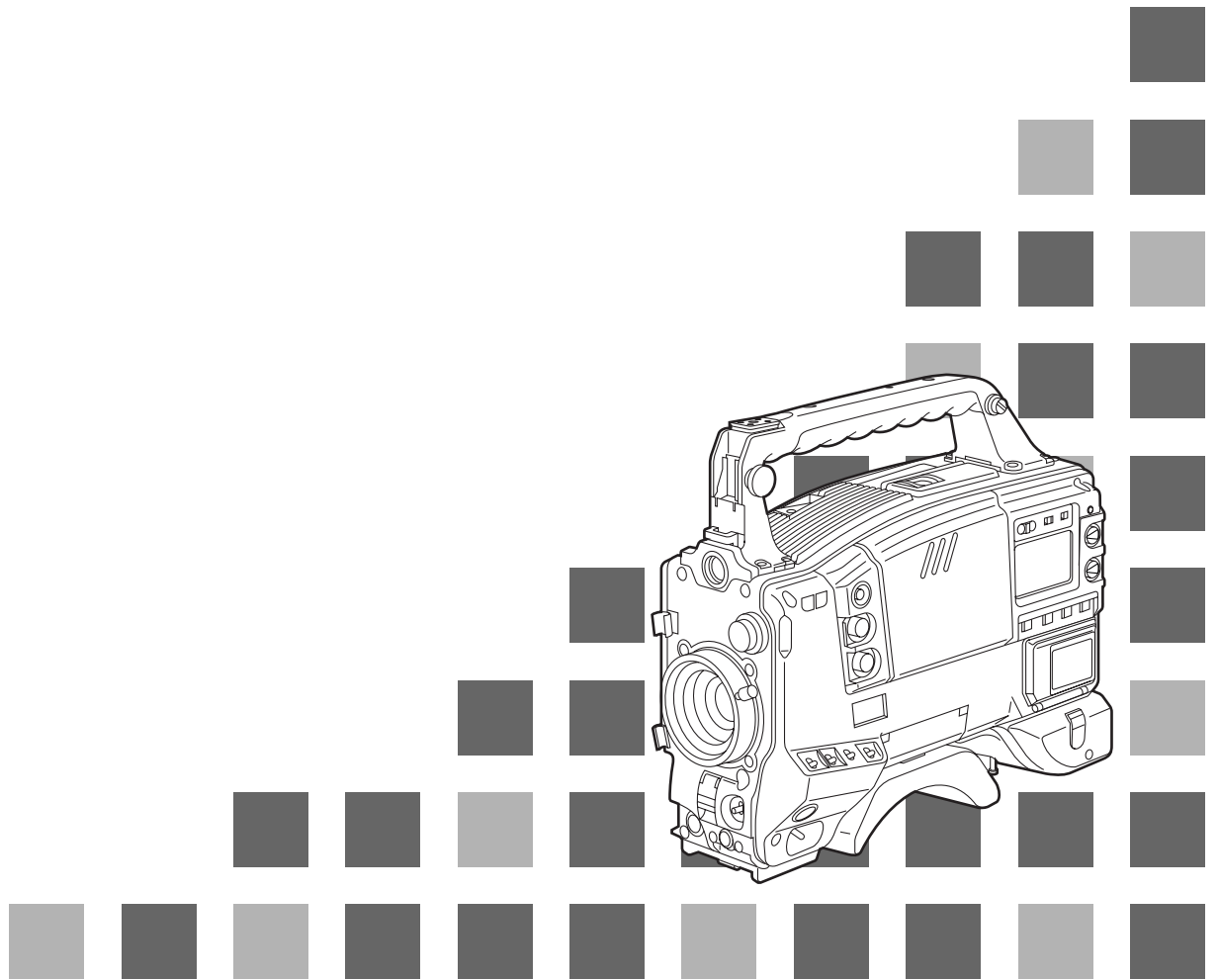
Panasonic

DVCPRO HD

Camera/VTR

AJ-HDC20A

取扱説明書



ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、わからないときは再読してください。

上手に使って、上手に節電

ご使用後は、忘れずに電源スイッチを切ってください。

ご不要になったニカド電池はリサイクルへ



本製品にはニカド電池を使用しております。
ご不要になったニカド電池は、貴重な資源を守るために
廃棄しないでリサイクルにご協力ください。

電池仕様

ブランド	Panasonic
型番	AU-BP402
名称	充電式ニカド電池
電圧	12 V
容量	4.4 Ah

リサイクルに関するお問い合わせ先は、裏表紙
をご参照ください。

保証書別添付

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を
お確かめのうえ、お受け取りください。

製造番号は、品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書
の製造番号をお確かめください。

次の点にご留意ください。

- ・重要な記録の場合は、必ず事前に試し撮りし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- ・ビデオカメラ、本機およびテープの使用時、万一これらの不具合により録画されなかった場合の録画内容の保証についてはご容赦ください。

目次

安全上のご注意	5	ビューファインダーのランプ表示	44
概要	11	① ランプ表示の設定	45
特長	11	ビューファインダー画面の状態表示	46
カメラ部の特長	11	表示項目の選択	48
VTR 部の特長	13	表示モードと設定変更メッセージ	49
システム構成	14	表示モードを切り替える	50
各部の名称と働き	15	マーカー表示の設定	50
電源部	15	カメラID の設定	50
アクセサリ取り付け部	15	ディスプレイ表示	51
音声機能部	16	バッテリー残量と音声レベルの表示	51
ビューファインダー部	18	エラーや警告に関する表示	51
撮影（記録）/再生機能部	19	タイムコードに関する表示	51
警告/状態表示部	24	日付/時刻の調整	52
メニュー操作部	25	設定メニューによる調整とセットアップ	52
タイムコード関連部	25	ホワイトバランス/ブラックバランス	
電源の供給	27	の調整	53
アントン・バウアー製バッテリーパック		ホワイトバランスの調整	53
の使用	27	ブラックバランスの調整	57
パナソニック製バッテリーパック AU-BP402		電子シャッターの設定	58
の使用	28	シャッターモードについて	58
ソニー製バッテリーパック NP-1 の使用	29	シャッターモード/スピードの設定	58
ソニー製バッテリーパック BP-90 の使用	29	シャッタースピード/モードの	
ソニー製リチウムイオンバッテリー		選択範囲を変える	59
BP-L60/L90 の使用	30	シンクロナイズモードの設定	59
AC 電源の使用		音声レベルの調整	60
AC アダプタ AJ-B75 を使用した場合	30	音声レベルの手動調整	60
リミッターについて		リミッターについて	60
レンズの取り付け	31	タイムデータの設定	61
レンズのフランジ調整	32	ユーザズピットの設定	61
ホワイトシェーディング調整	33	タイムコードの設定	62
ビューファインダーの調整	35	タイムコードを外部ロックさせる	63
ビューファインダーの取り付け	35	ユーザデータの使い方	64
ビューファインダーの取り外し	35	セットアップカードの操作	65
位置調整	36	セットアップカードのフォーマット	66
音声入力の準備	37	設定したデータをカードに書き込む	67
マイクをビューファインダー（別売品）に取り付け	37	カードに記憶されているデータを読み出す	69
て使用する場合	37	カセットテープについて	70
マイクを本体に取り付けて使用する場合	38	記録	71
マイクを MIC IN 端子に接続する場合	39	撮影	72
マイクを AUDIO IN 端子に接続する場合	39	つなぎ撮り	73
ワイヤレスマイクを使用する場合	40	再生（記録内容のチェック）	74
オーディオ機器を接続する場合	40	レックレビュー	74
三脚への取り付け	41	カラー再生	74
ショルダーベルトの取り付け	42	レンズの RET ボタンの働き	74
ショルダーパッドの位置調整	42		
レインカバーの取り付け	43		
エクステンションコントロールユニットの接続	43		

目次

その他のVTR機能	75	CAM MAIN MENU 4	
NEWS REC機能	75	CAM USER MENU SELECT 1画面	96
RETAKE機能	75	CAM USER MENU SELECT 2画面	96
INTERVAL REC(間欠記録)機能	75	CAM USER MENU SELECT 3画面	96
メニュー操作	76	BLACK SHADING画面	97
設定メニューの基本操作	77	WHITE SHADING画面	97
SUBメニューを表示し、設定値を決める	78	FLARE画面	97
設定メニューの構成	79	COLORIMETRY画面	97
設定メニュー画面	83	INITIALIZE画面	98
< CAM MENU >		DIAGNOSTIC画面	98
CAM MAIN MENU 1画面	83	EVALUATION画面	98
CAM MAIN MENU 2画面	83	OPTION画面	98
CAM MAIN MENU 3画面	83	< VTR MENU >	
CAM MAIN MENU 4画面	83	VTR MAIN MENU画面	100
CAM MAIN MENU 1		FUNCTION画面	101
ROP画面	84	BATTERY/TAPE画面	102
MATRIX画面	84	BATTERY SETTING画面	103
COLOR CORRECTION1画面	85	VTR VF INDICATOR画面	103
COLOR CORRECTION2画面	85	MIC/AUDIO画面	104
LOW SETTING画面	86	TC/UB画面	105
MID SETTING画面	86	TIME DATE画面	106
HIGH SETTING画面	87	VTR USER MENU SELECT画面	106
ADDITIONAL DTL1画面	87	VTR CARD READ/WRITE画面	106
ADDITIONAL DTL2画面	87	VTR INITIALIZE画面	106
SKIN TONE DTL画面	88	DIAGNOSTIC画面	106
KNEE/LEVEL画面	88	< VTR USER MENU SELECT >	
GAMMA画面	89	FUNCTION画面	107
CAMERA SETTING画面	89	BATTERY/TAPE画面	107
CAM MAIN MENU 2		VTR VF INDICATOR画面	108
VF DISPLAY画面	90	MIC/AUDIO画面	108
VF MARKER画面	90	TC/UB画面	108
VF INDICATOR画面	91	警告システム	109
CAMERA ID画面	91	EMERGENCY イジェクト	111
SHUTTER SPEED画面	92	エラーコード	111
! LED画面	92	メンテナンス	112
CAMERA SW MODE画面	93	結露	112
SUPER GAIN画面	93	ヘッドクリーニング	112
CAM MAIN MENU 3		ビューファインダー内のクリーニング	112
CAM CARD READ/WRITE画面	94	CCDカメラ特有の現象について	112
CAM CARD R/W SELECT画面	94	バックアップ電池の交換	112
GENLOCK/IRIS画面	95	撮影前の点検	113
LENS ADJ画面	95	点検の準備	113
		カメラ部の点検	113
		ビューファインダーの点検	114
		絞り、ズーム機能の点検	115
		VTR部の点検	115
		アフターサービス	117
		定 格	118

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

設置について



警告

付属品・オプションは、指定の製品を使用する！



本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こすおそれがあります。

不安定な場所に置かない！



禁止

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

水場に設置しない！



水場使用禁止










火災・感電の原因となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

使用方法について

警告

<p>水場で使用しない！</p>  <p>火災・感電の原因となります。</p> <p>水場使用禁止</p>	<p>表示された電源電圧以外は、使用しない！</p>  <p>火災・感電のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>コードが破損するようなことはしない！ 傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない！</p>  <p>傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none">●コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店に、ご相談ください。
<p>機器が濡れたり、水が入らないようにする！</p>  <p>火災・感電のおそれがあります。 雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。</p> <p>禁止</p>	<p>機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない！</p>  <p>火災・感電のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>指定のカバー以外は、外さない！</p>  <p>感電の原因となります。</p> <p>分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none">●点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご依頼ください。
<p>本機を改造しない！</p>  <p>火災・感電の原因となります。</p> <p>分解禁止</p>	<p>本機の裏ぶた・キャビネット・カバーなどを外さない！</p>  <p>感電の原因となります。</p> <p>分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none">●点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご依頼ください。	<p>指定のカバー以外は、外さない！</p>  <p>感電の原因となります。</p> <p>分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none">●点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご依頼ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

異常時の処理 について

警告

本機を落としたり、破損した場合は、電源スイッチを切り、バッテリーを外す！



そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、電源スイッチを切り、バッテリーを外す！



火災・感電の原因となります。

- お買い上げの販売店に、修理をご依頼ください。

本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源バッテリーを外す！



そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

- お買い上げの販売店に、ご相談ください。

本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、バッテリーを外す！



そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

乾電池/バッテリー について

警告

乾電池/バッテリーを分解・加熱しない！
火中・水中に投げ入れない！



禁止

ショートや破裂、液漏れなどを起こし、けが・やけどをするおそれがあります。

乾電池/バッテリーは、極性(+)、(-)を正しくつなぐ！



間違えると、乾電池の破裂、液漏れにより、火災・けが、周囲の汚染原因となります。

機器使用の乾電池/バッテリーを、お子さまの手の届く所に置かない！



禁止

電池は、お子さまの手の届かないところに置く。

- 万一、飲み込んだ場合は、医師に相談してください。

設置について

⚠ 注意

コードを熱器具に近づけない！



コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。

禁止

油煙や湯気が当たる場所に置かない！



火災・感電の原因となることがあります。

禁止

本機を通気の悪い所で使用しない！



内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方は、しないでください。

- 本機を風通しの悪い所に押し込む。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。

湿気やほこりの多い場所に置かない！



火災・感電の原因となることがあります。

禁止

プラグを抜くときは、コードを引っ張らない！



コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

禁止

- 必ずプラグを持って抜いてください。

ぬれた手でコネクターを抜き差ししない！



感電の原因となります。

禁止

コードやショルダーベルトを下にたらしさない！



ふれたり、引っかけたりすると、落ちてけがをすることがあります。

禁止

安全上のご注意

必ずお守りください

使用方法について

⚠ 注意

<p>本機の上に重い物を置かない！</p> <p> バランスがくずれて、落下し、けがの原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>本機に乗らない！</p> <p> 倒れたり、壊れたりし、けがの原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>カセットテープ挿入口に、手をはさまれないように注意する！</p> <p> けがの原因となります。</p> <p>指に注意</p>
<p>長時間使用しないときは、安全のためバッテリーを外す！</p> <p> 火災の原因となることがあります。</p>	<p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードを外す！</p> <p> コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>雷が鳴り出したら、使うのをやめる！</p> <p> 落雷すると、感電死につながります。</p> <p>接触禁止</p>
<p>運転中、運転者は操作や鑑賞をしない！</p> <p> 操作・鑑賞をする場合、必ず車を停止させて行ってください。</p> <p>禁止</p>	<p>走行中・歩行中は、ファインダーの再生画を見ない！</p> <p> 事故誘発のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>専用 AC アダプター以外は、使用しない！</p> <p> 定格外の AC アダプターを使用すると、火災の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>使用時は、安定した場所と、十分な体勢を確保する！</p> <p> けがや死亡につながります。</p>	<p>不安定な場所で、三脚を使わない！</p> <p> 足などの上に倒れると、けがをするおそれがあります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none">● 足などを引っかけないように、ご注意ください。	

安全上のご注意

必ずお守りください

お手入れについて

注意

お手入れの際は安全のため、電源スイッチを切り、バッテリーをはずす！



火災・感電の原因
となることがあり
ます。

1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談を！



本機の内部にほこりがたまったまま、使用し続けると、火災・故障の原因となることがあります。

乾電池/バッテリーについて

注意

指定外のバッテリーは使用しない！



禁止

バッテリーの破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となるおそれがあります。

概要

本機は、HD TV (1080i/59.94 Hz) のフルスペックに対応した 220 万画素のオンチップレンズ付き FIT-CCD を採用した HD カラービデオカメラと、最新の圧縮技術を搭載した DVCPRO HD フォーマットの VTR とを一体化したものです。

特に、VTR への記録レートも 100 Mbps とし、極めて高画質の画像が記録できますので、EFP 用 VTR 一体型として、最適の機能・性能を実現しています。また、小型で軽量・低消費電力に優れ、高画質・高感度・機動性・防塵・防湿性に優れており、ENG 用としてもご使用いただけます。

さらに、カメラ部、VTR 部共にデジタル信号処理を採用しておりますので、画質の一層の向上、安定性の向上を図っています。

カメラと VTR の設定データは、世界標準の小型マルチメディアカードが使用でき、データ管理が図れるシステムを実現しています。

特長

カメラ部の特長

本機のカメラ部の特長は次のとおりです。

- ・高感度：2000lux (F8)
- ・高 S/N：54dB (標準)
- ・低スミア
- ・低フレア

デジタル信号処理

標準化周波数 74.1758 MHz、10 ビットの AD 変換により信号処理をデジタル化しています。

画質・安定性・信頼性が向上するとともに、ビューファインダー画面の表示や、多くの調整/セットアップ項目をメニュー化しました。

カスタマイズ設定メニュー

ビューファインダー画面に表示される設定メニューで、状態表示やメッセージ、マーカー表示などをコントロールします。ユーザーの都合に合わせて、各項目を表示させるかどうか、また、表示させる場合どの状況で表示させるかを選択できます。例えば、本機が変則状態になったことを知らせる「！」ランプ表示は、9 通りの状況について表示の ON/OFF が選択できます。

また、各種設定値や機能の選択、メモリーカードの操作などを実行します。

セットアップカード

小型マルチメディアカード (VW-MMT8) を、セットアップカードとして設定メニューのデータを、最大 8 個まで記憶させることができます。記憶させたデータを個体ごとあるいは撮影条件ごとに整理して保存しておけば、同じセットアップ状態を容易に再現し、個体間でセットアップ状態を統一するのに役立ちます。

高機能電子シャッター

内蔵の電子シャッターを使えば、動きの速い被写体でも、ぶれの少ない映像になります。また、以下のような特殊動作モードも選択できます。

- ・シンクロスキャンモード：
パソコンやワークステーションのモニター画面を撮影するのに適しています。(30.3 Hz ~ 250.2 Hz)
水平方向のしま状ノイズの少ない映像を得られます。
- ・高垂直解像度 (Super V) モード：
標準モードに比べ、垂直解像度の高い映像を得ることができます。

特長

カメラ部の特長

広範囲な映像ゲインの選択

設定メニューと GAIN スイッチを使用し、- 3dB から + 30dB までのゲイン値を選択することができます。暗い所での撮影のためにゲインを上げても、S/N が高いため、ノイズの少ない映像が得られます。また、スーパーゲイン機能を USER ボタンに割り付け、USER ボタンを使用することで 30dB が選択可能になっています。

ブラックバランス / ホワイトバランスの自動調整とメモリー機能

簡単なスイッチ操作により、ブラックバランスとホワイトバランスの自動調整ができます。

調整値は、電源を切ってもメモリーに保持されますので、電源を入れるたびにバランスをとり直す必要はありません。

ホワイトバランス用のメモリーは A・B の 2 系統あり、各色温度変換フィルター毎に 2 個ずつ、計 8 個の調整値を保持できます。

色温度変換フィルターを回すと、自動的にそのホワイトバランスに調整されます。(フィルターごとではなくて、2 個のみにすることもメニュー設定で可能です。) また、出荷時には、3200 K のホワイトバランス値をプリセット値として記憶させてあります。調整時間がないときなどは、この値を呼び出して使うこともできます。

(プリセット値を 3200 K と 4300 K に切り替えることができます。)

文字表示機能

スイッチの設定、ブラックバランス・ホワイトバランスの自動調整の状態や警告表示などをビューファインダーの画面に表示する機能を備えています。

また、本機の電源として、アントンパウアー社 (Anton/Bauer Corporation) のデジタルマグナムシリーズのバッテリーを使用すると、ビューファインダーの画面にバッテリー残量を数値で表示することができます。

VTR 部の状態を示す警告システム

各種警告ランプと警告音で、VTR の異常や、テープエンド、バッテリー消耗などを知らせます。

テープの残り時間は、ビューファインダー内の文字表示でも確認できます。

4 枚構成のフィルターディスクを標準装備

被写体の明るさ、および被写体の色温度に応じて最適なフィルター設定を選択できます。

CC/ND 独立のそれぞれ 4 枚構成 (計 8 枚) のフィルターディスクを標準装備しています。

自動絞りの基準値を微調整

自動絞り調整の基準値は設定メニューの操作で微調整できます。

カラーバー信号および基準音声信号の発生

カラーバー信号を発生する回路を内蔵していますので、カラーモニターの調整を容易に行えます。また基準レベルの音声信号を発生する回路も内蔵していますので、音声レベルの調整も容易に行えます。

高画質を保証するための機能・回路

本機は、高画質を保証するために次のような機能 (または回路) を備えており、高性能 CCD の利点を最大限に活かすように設計されています。

- ・ AUTO KNEE 回路を内蔵し、大信号を通せるワイドダイナミックレンジを実現
- ・ 2 ラインイメージエンハンサー内蔵
- ・ レンズエクステンダー使用時のシェーディング補正機能内蔵
- ・ 調整用のこぎり波発生器内蔵
- ・ 2 レベルのゼブラパターンにより、スポットゼブラを含めた 3 種類が選択可能。
- ・ ゼブラパターンの ON/OFF 切り替えスイッチ機能 (ビューファインダー)

リモートコントロール

エクステンションコントロールユニット (別売品、AJ-EC3) を接続すると、カメラ部および VTR 部の基本動作や調整がリモートコントロールできます。

特長

VTR 部の特長

デジタル方式

映像は、最新の圧縮技術を採用したコンポーネントデジタル記録方式で圧縮し、音声は、S/N・周波数帯域・波形特性・微細部分の再現特性などに優れた非圧縮のPCM記録を採用。一層の高画質化、高音質化を実現しています。

パワーセーブマネージメント (SAVE REC) 機能

本機で記録するときは、再生系の回路を停止していません。また、HD SDI OUT 端子への出力も、ケーブルが接続されていないときは、停止するようにして、省電力での動作を可能にしています。

つなぎ撮り

VTR START ボタンまたはレンズのVTR ボタンを押すだけで、0 ~ + 1 フレーム以内の精度でつなぎ撮りができます。

レックレビュー機能

記録した最後の約 2 ~ 10 秒間を、自動的に巻き戻して再生しますので、記録内容の確認を速やかに行うことができます。

再生機能

再生画像 (白黒画像) をビューファインダー画面で見ることができます。また、本体の HD SDI OUT 端子からカラーの再生画像を出力することができます。

タイムコードジェネレータ/リーダー内蔵

専用のサブコードトラックとビデオの AUX エリアの 2 つに、同一または別々のタイムコード情報を記録し、再生することができます。

タイムコードの外部ロック

内蔵のタイムコードジェネレータを、外部のジェネレータにロックさせることができます。

また、内蔵のタイムコードジェネレータのバックアップ用電源としてリチウム電池を使用しているため、本機に電源を供給しない状態でも、約 1 年間バックアップが可能です。

DOLBY NR システム内蔵

CUE オーディオの記録回路には、ドルビー B 回路を内蔵しています。

ドルビーノイズリダクションは、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
ドルビー、DOLBY およびダブル D 記号 **DD** はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。

音声機能

- ・ファントム給電方式の鋭指向性マイクロホン (別売品) を取り付けることができます。本体から取り外し、インタビューマイクとしても使えます。
- ・他のマイクも接続でき、マイクホルダー AJ-MH700P (別売品) を使えば本体に取り付けることもできます。

NEWS REC 機能

特にニュース取材やドキュメンタリー撮影でのシャッターチャンスを逃がすことなく撮影できることをサポートする機能です。

つまり、記録中に一旦記録を停止し、すぐに再度記録の開始をした時に生じるシャッターチャンスの映像抜けを、スタートキーの受け付け時間を制御する事で、記録を停止する事なく継続して記録をすることを可能にします。

RETAKE 機能

特にニュースやリポート、美術・芸術番組の撮影などでカットの NG が発生した場合に、余分なカットを残さないための機能です。

但し取り扱い時には十分ご注意ください。

撮影時間に余裕があり、明らかに NG と判断した場合に、MODE CHECK ボタンとレンズの RET ボタンの操作によってそのカットの頭までテープを巻き戻し、REC PAUSE (REC スタンバイ) 状態にします。この点から記録が開始される為、NG 部分のカットが消去される事になります。なお、NG カットの一つ前のカットを消さないように約 10 フレームの NG カット部分を残すようにしています。

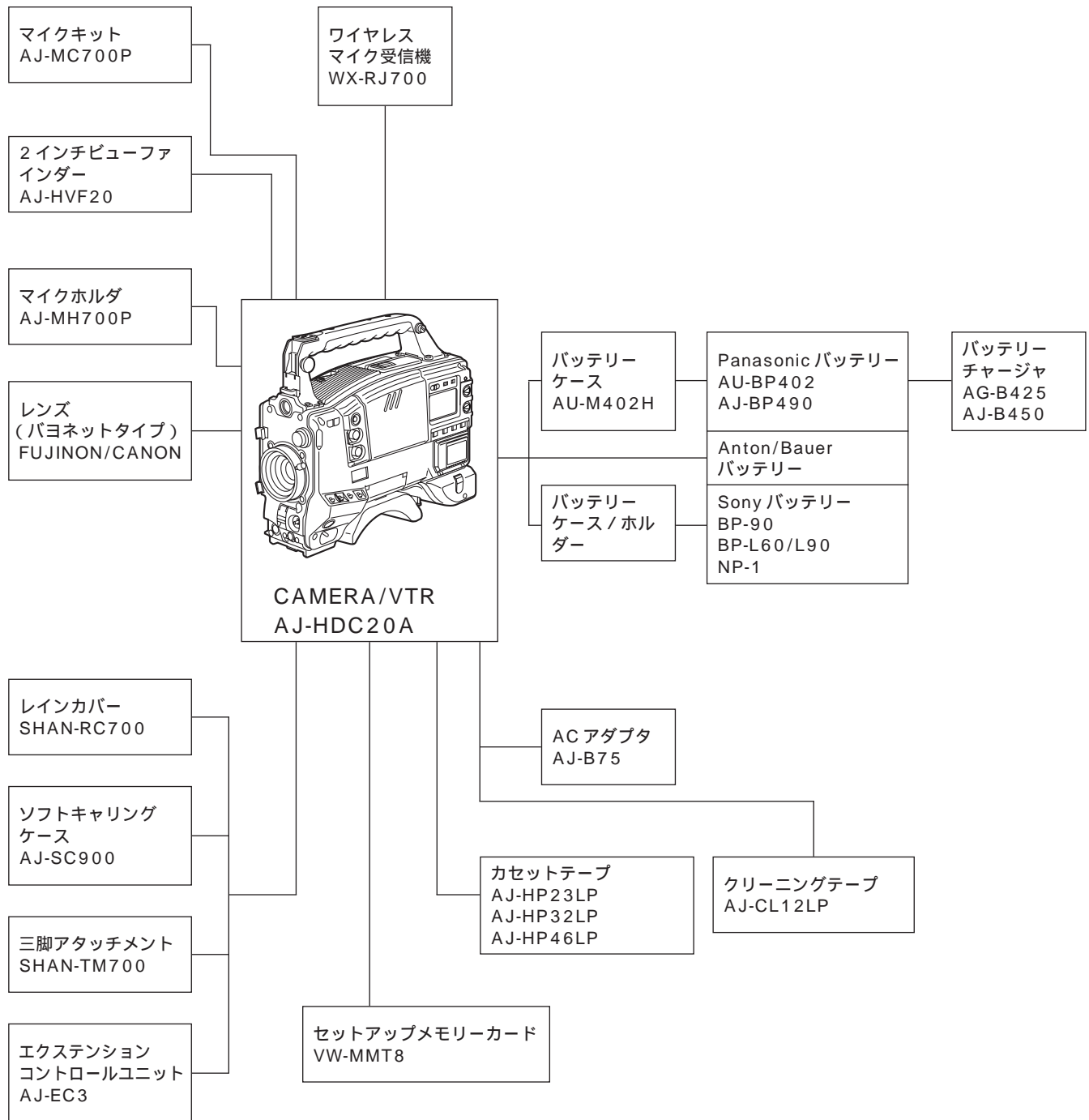
この機能によりワークテープへのコピー時間の節減など経済的運用に効果を発揮します。

INTERVAL REC 機能

簡易のインターバル撮影をすることが可能です。

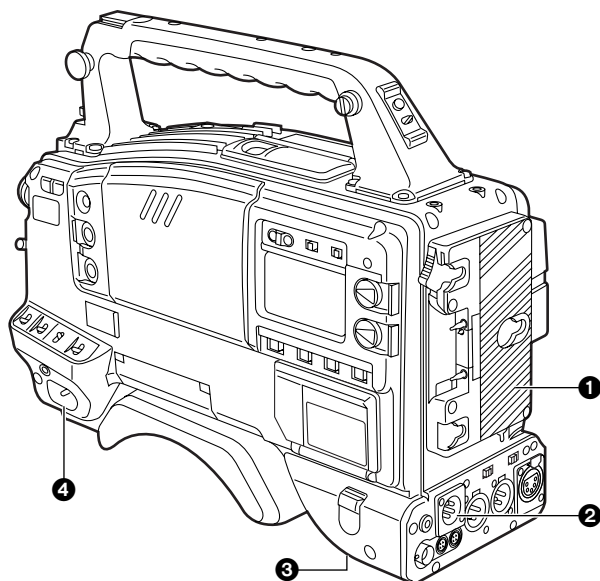
特に自然を題材にした番組や美術番組の撮影に効果を発揮します。

システム構成



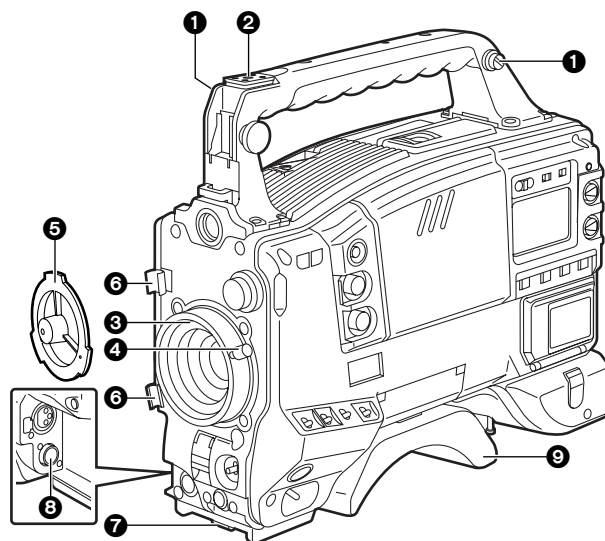
各部の名称と働き

電源部



- ① バッテリーマウント
アントン・パワー製のバッテリーパックを取り付けます。
- ② DC IN (外部電源入力) 端子 (XLR、4P)
本機を AC 電源で動作させるとき、AC アダプタ AJ-B75 (別売品) と接続します。
- ③ BREAKER (ブレーカー) ボタン
機器を保護するため、内部に過大電流が流れるとブレーカーが作動し、電源が自動的に切れます。内部の点検・調整をした後、このボタンを押し込みます。異常がなければ再び電源が入ります。
- ④ POWER (電源) スイッチ
ON : 電源を入れるとき。
OFF : 電源を切るとき。

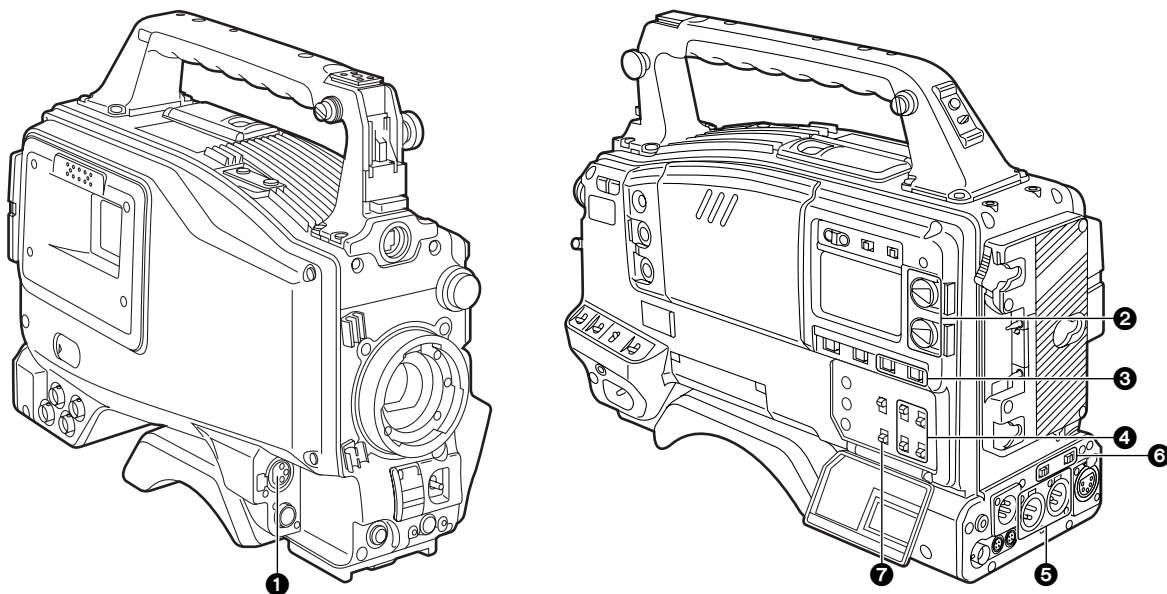
アクセサリ取り付け部



- ① ショルダーベルト取り付けフック
付属のショルダーベルトを取り付けます。
- ② ライトシュー
ビデオライトなどを取り付けます。
- ③ レンズマウント (パヨネット型)
レンズを取り付けます。
- ④ レンズ固定レバー
レンズをレンズマウント ③ に差し込み、このレバーでレンズマウントリングを回してレンズを固定します。
- ⑤ レンズマウントキャップ
レンズ固定レバー ④ を押し上げて、キャップを取り外します。
レンズを取り付けていないときは、キャップをはめ込んでおきます。
- ⑥ レンズケーブル/マイクロホンケーブルクランプ
レンズケーブルやマイクロホンケーブルを固定するためのクランプです。
- ⑦ 三脚マウント
本機を三脚に固定するとき、別売品の三脚アタッチメント (SHAN-TM700) を取り付けます。
- ⑧ LENS (レンズ) 端子 (12 ピン)
レンズの接続ケーブルを接続します。
ご使用になるレンズについては、販売店にご相談ください。
- ⑨ ショルダーパッド
本機を肩に乗せたとき操作しやすくなるように、このパッドを調節します。
固定ネジ 2 本をゆるめると、前後方向に位置を調節できます。

各部の名称と働き

音声機能部 (1)



① MIC IN (マイク入力) 端子 (XLR、3ピン)
マイクロホン (別売品) を接続します。
マイク用の電源はこの端子から供給されます。

② AUDIO LEVEL CH 1/CH 2 (音声チャンネル
1/2 録音レベル調整) つまみ
AUDIO SELECT CH 1/CH 2 スイッチ ③ を
「MAN」にすると、これらのつまみで音声チャン
ネル1・2の録音レベルが調整できます。

③ AUDIO SELECT CH 1/CH 2 (音声チャンネル
1/2 自動/手動レベル調整切り替え) スイッチ
音声チャンネル1・2の音声レベルを調整する方
法を選びます。
AUTO : 自動調整をします。
MAN : 手動調整をします。

④ AUDIO IN (音声入力切り替え) スイッチ
音声チャンネル1・2に録音する入力信号を選び
ます。
FRONT : MIC IN 端子 ① に接続したマイク入力
信号を録音します。
REAR : AUDIO IN CH 1/CH 2 端子 ⑤ に接続
したオーディオ機器からの音声入力信
号を録音します。

⑤ AUDIO IN CH 1/CH 2 (音声入力チャンネル
1/2) 端子 (XLR、3ピン)
オーディオ機器または、マイクロホンを接続しま
す。

⑥ LINE/MIC/+ 48V (ライン入力/マイク入力/
マイク入力+ 48V) 切り替えスイッチ
AUDIO IN CH 1/CH 2 端子 ⑤ に接続した音声入
力信号を切り替えます。
LINE : ライン入力するオーディオ機器からの音
声入力信号
MIC : 内部電源供給方式のマイクからの音声入
力信号 (本体からファントムマイク用の
電源を供給しません。)
+ 48V : 外部電源供給方式のマイクからの音声入
力信号 (本体からファントムマイク用の
電源を供給します。)

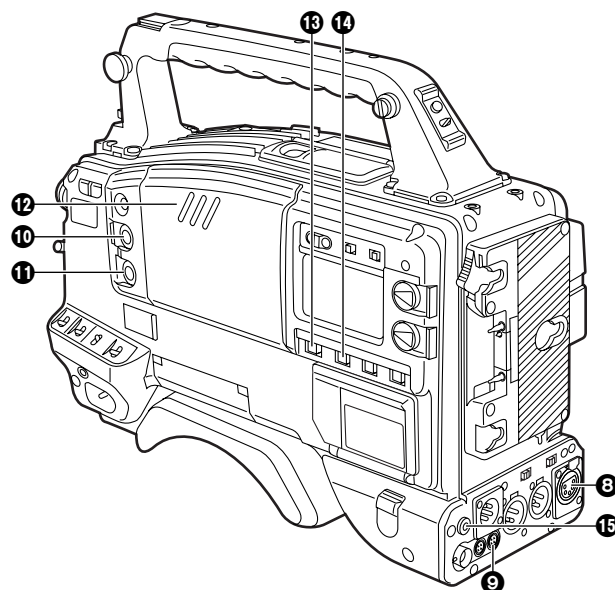
⑦ CUE スイッチ
CH 1 : 音声 CH 1 信号をキュートラックに記録
します。
MIX : 音声 CH 1 と CH 2 のミックス信号をキ
ュートラックに記録します。
CH 2 : 音声 CH 2 信号をキュートラックに記録
します。

< ノート >

VTR MAIN MENU で、このスイッチを無効にす
ることも可能です。(104 ページ参照)

各部の名称と働き

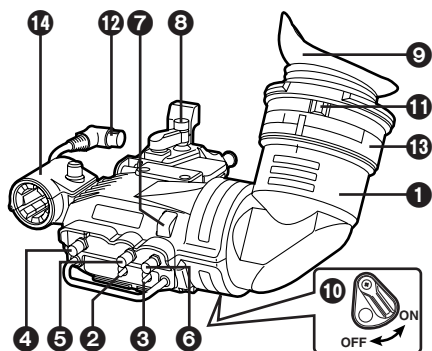
音声機能部 (2)



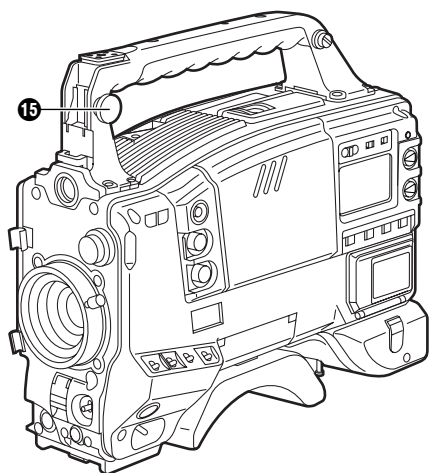
- ⑧ AUDIO OUT 端子 (XLR、5 ピン)**
オーディオ機器に接続します。
音声 CH 1 と音声 CH 2 が独立して出力されます。
また、MONITOR OUT の SDI スイッチに連動して、記録音声と再生音声が切り替わります。(SDI スイッチが「OFF」のときは出力されません。)
- ⑨ DC OUT (DC 電源出力) 端子**
DC 12V の出力端子です。約 100mA の電流を取り出すことができます。
- ⑩ ALARM (警告アラーム音量調節) つまみ**
スピーカー **⑫** または、PHONES 端子 **⑮** に接続したイヤホンからの警告アラーム音量を調節します。
最小の位置にすると、警告アラームは聞こえません。
- ⑪ MONITOR (音量調節) つまみ**
警告アラーム以外のスピーカーやイヤホンの音量を調節します。
最小の位置にすると、音は聞こえません。
- ⑫ スピーカー**
記録中は EE 音声を、再生中は再生音をモニターできます。
警告ランプや警告表示の点滅・点灯にあわせて警告アラームを出します。
PHONES 端子 **⑮** にイヤホンを接続すると、スピーカーからの音は自動的に切れます。
- ⑬ MONITOR SELECT (音声チャンネル選択) スイッチ**
スピーカーやイヤホンから出力される音声チャンネルを切り替えます。
CH 1 : 音声 CH 1 信号を出力します。
1/2 : 音声 CH 1 と CH 2 のミックス信号または、ステレオの音声信号を出力します。
ただし、スピーカーにはミックス信号のみが出力されます。
CH 2 : 音声 CH 2 信号を出力します。
- ⑭ MONITOR (音声選択) スイッチ**
MONITOR SELECT スイッチ **⑬** で「1/2」を選択したときのイヤホンに出力される音声を切り替えます。
ST : 音声 CH 1 と CH 2 のステレオ音声信号を出力します。
MIX : 音声 CH 1 と CH 2 のミックス音声信号を出力します。
- ⑮ PHONES (イヤホン) 端子 (ミニジャック)**
イヤホン (別売品) を接続すると、MONITOR スイッチ **⑭** で選択した音声聞こえます。また、本機の動作や状態に関する警告アラームも聞こえます。イヤホンは十分な音量を得られるものをおすすめします。ただし、イヤホンを接続すると、スピーカー **⑫** からの音は自動的に切れます。

各部の名称と働き

ビューファインダー部



(ビューファインダーのイラストはAJ-HVF20)



(ビューファインダーに関する内容は、別売のビューファインダーの取扱説明書をご覧ください。)

① ビューファインダー (別売品)

記録・再生中に、白黒の映像を見ることができます。本機の動作状態や設定に関する警告表示・メッセージ・ゼブラパターン・マーカ (セーフティゾーンマーカ、センターマーカ) など見ることができます。

② ZEBRA (ゼブラパターン) スイッチ

ビューファインダー内にゼブラパターンを表示させます。

ON : ゼブラパターンを表示させます。

OFF : ゼブラパターンは表示されません。

出荷時のゼブラパターンは、映像レベルが約70%以上で、85%以下の部分を示すように設定されています。設定メニューで50%~110%以上の部分および一定のレベルを示すようにすることもできます。

③ TALLY スイッチ

フロントタリーランプ⑦をコントロールします。

HIGH : フロントタリーランプが明るくなります。

OFF : フロントタリーランプが消灯します。

LOW : フロントタリーランプが暗くなります。

④ PEAKING (ピーキング) つまみ

ピントを合わせやすくするために、ビューファインダー内の映像の輪郭を調整します。カメラの出力信号には影響ありません。

⑤ CONTRAST (濃淡) つまみ

ビューファインダー内の画面の濃淡を調整します。カメラの出力信号には影響ありません。

⑥ BRIGHT (明るさ) つまみ

ビューファインダー内の画面の明るさを調整します。カメラの出力信号には影響ありません。

⑦ フロントタリーランプ

TALLY スイッチ③が「HIGH」または「LOW」の位置のときに動作し、VTR部の記録中に点灯します。また、ビューファインダー内のRECランプと同様に点滅し、警告表示も行います。点灯時の明るさは、TALLY スイッチ (HIGH または LOW) で切り替えることができます。

⑧ ビューファインダー前後左右位置固定レバー

ビューファインダーの位置を前後左右方向に調整するとき、このレバーをゆるめます。

⑨ アイピース

⑩ バックタリーランプ

VTR部の記録中に点灯します。また、ビューファインダー内のRECランプと同様に点滅し、警告表示も行います。

レバーをOFF側にすると、バックタリーランプが隠れます。

⑪ 視度調整リング

カメラマンの視度に合わせて、ビューファインダー画面上の映像が最もはっきり見えるように調整します。

⑫ 接続プラグ

⑬ ロックリング

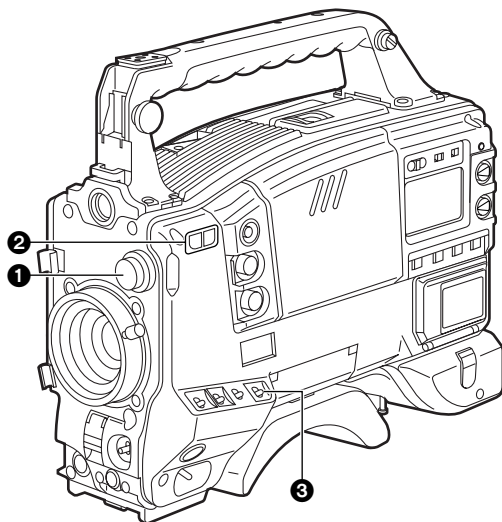
⑭ マイクホルダー

⑮ ビューファインダーstopperネジ

ビューファインダーをカメラから外すとき、このstopperネジをゆるめてからビューファインダーを取り外します。

各部の名称と働き

撮影（記録） / 再生機能部（1）



① CC FILTER/ND FILTER（フィルター切り替え）

つまみ

被写体を照らしている光源に合わせて、フィルターを選択します。メニューの表示モードが「3」（初期設定）に設定されている場合、このつまみの設定を切り替えると、新しい設定がビューファインダー画面の設定変更メッセージ表示部に表示されます。

■ つまみの設定とフィルターの選択

CC FILTER つまみ（大径）の設定	CC フィルターの選択
A	クロスフィルター
B	3200 K
C	4300 K
D	6300 K

ND FILTER つまみ（小径）の設定	ND フィルターの選択
1	CLEAR（素通し）
2	1/4 ND
3	1/16 ND
4	1/64 ND

● フィルターの組み合わせは、上記の2種類が用意されています。

■ フィルターの選択例

撮影条件	CC フィルター	ND フィルター
日の出、日没、スタジオ内	B（3200 K）	1（CLEAR）
晴天の屋外	C（4300 K）または D（6300 K）	2（1/4 ND）または 3（1/16 ND）
曇天・雨天の屋外	D（6300 K）	1（CLEAR）または 2（1/4 ND）
雪景色、高い山、海辺など、澄み切っていて明るい景色	C（4300 K）または D（6300 K）	3（1/16 ND）または 4（1/64 ND）

② シンクロスキャン調整スイッチ

シャッタースイッチ ⑦ を「ON」にし、シンクロスキャンが選択されているときに有効です。シンクロスキャンのスピードを調整するスイッチです。

- のスイッチを押すとシャッタースピードが遅くなり、+ のスイッチを押すとシャッタースピードが速くなります。

パソコンモニター撮影などでは、ビューファインダー内の横バーノイズが少なくなる位置に調整してください。

③ WHITE BAL（ホワイトバランスメモリー切り替え）スイッチ

PRST : ホワイトバランスを調整する時間がないときなどに、この位置にします。3200Kのホワイトバランス値をメモリーしています。（4300Kに変更可能です。）

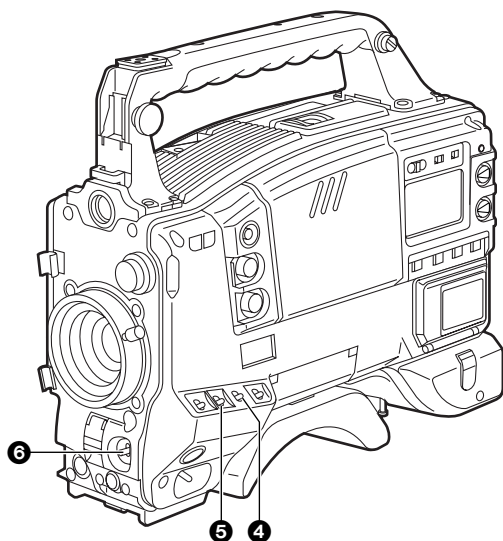
A または B : AUTO W/B BAL スイッチ ⑥ を「AWB」側に押し、CC FILTER つまみ ① の設定位置に応じてホワイトバランスが自動的に調整され、調整値がメモリー A または、メモリー B にメモリーされます。

CC FILTER つまみと、この WHITE BAL スイッチを調整時と同じ位置にすると、メモリーされた調整値が呼び出され、本機はその値に応じたホワイトバランスに自動調整されます。

メニューの表示モードが「3」（初期設定）に設定されている場合、このスイッチの設定を切り替えると、新しい設定値がビューファインダー画面の WHITE BAL スイッチ表示位置に表示されます。（例：「A」）

各部の名称と働き

撮影（記録） / 再生機能部（2）



④ OUTPUT（出力信号切り替え） / AUTO KNEE スイッチ

カメラ部から VTR 部、ビューファインダー、ビデオモニターへ出力する映像信号の選択スイッチです。

カメラが撮影している映像を選択しているときは、AUTO KNEE 機能を使うことができます。

■ OUTPUT/AUTO KNEE スイッチの設定位置

BARS	カラーバー信号が出力されます。 AUTO KNEE 回路は動作しません。 次のような場合にこの位置に設定します。 ・ビデオモニターを調整するとき。 ・カラーバー信号を記録するとき。
CAM. AUTO KNEE OFF	カメラで撮影している映像が出力されます。 AUTO KNEE 回路は動作しません。 初期設定では「MANUAL KNEE」になります。
CAM. AUTO KNEE ON	カメラで撮影している映像が出力されます。 AUTO KNEE 回路が動作します。

AUTO KNEE 機能

高輝度の背景で人物や風景などにレベルを合わせて撮影すると、背景が白くつぶれ、背景にある建物や風景がぼやけてしまいます。このようなときに AUTO KNEE 機能を動作させると、背景がくっきりと再現できます。AUTO KNEE 機能は次のような場面の撮影に効果を発揮します。

- ・晴天時に日陰の人物を撮るとき
- ・車内または屋内の人物と窓越しの屋外の風景を同時に撮影したとき
- ・コントラストの強い場面を撮るとき

⑤ GAIN（ゲイン切り替え）スイッチ

撮影時の照明の状態によって、映像アンプのゲインを切り替えます。L、M、H の設定に対応するゲイン値は、あらかじめ設定メニューで指定します。出荷時の設定は、L = 0dB、M = 6dB、H = 12dB です。

なお、表示モードが「3」に設定されている場合、このスイッチの設定を切り替えると、新しい設定値がビューファインダー画面のゲイン表示位置に表示されます。（例：「12dB」）

⑥ AUTO W/B BAL（ホワイトバランス / ブラックバランス自動調整）スイッチ

AWB：ホワイトバランスを自動調整するときに切り替えます。

このとき WHITE BAL スイッチ ③ を「A または B」にすると、調整された値がメモリー A またはメモリー B にメモリーされます。

ABB：ブラックバランスを自動調整します。調整された値は、専用メモリーにメモリーされます。

CAM MAIN MENU 4 の「OPTION」画面で SHD、ABB SW CTRL が「ON」に設定されているときに、8 秒間以上 AUTO W/B BAL スイッチを ABB 側に押し続けると、ブラックシェーディングを自動的に補正します。

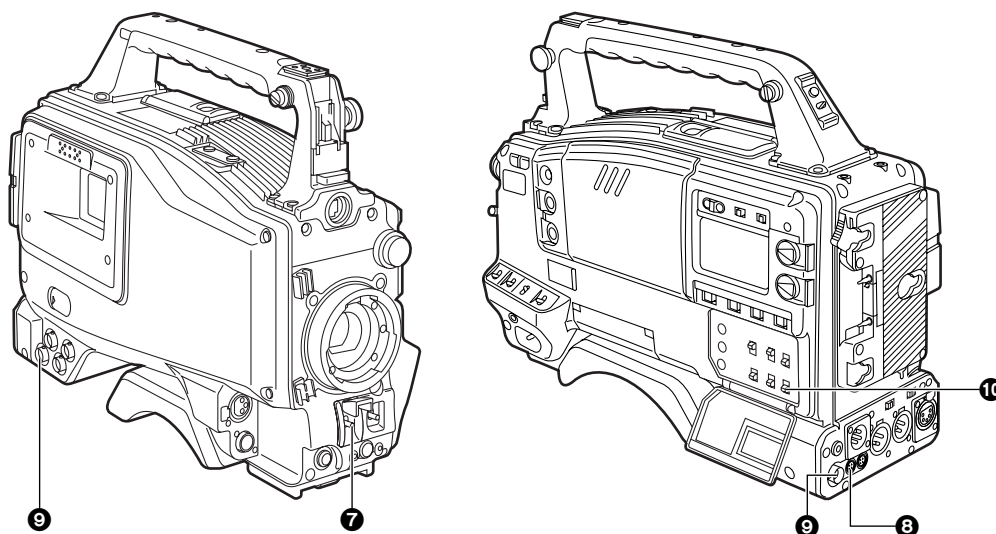
< ノート >

ホワイトバランスやブラックバランスの自動調整を行っているときに、再度 AWB 側や ABB 側に切り替えると、それぞれの自動調整を中止します。

このときの調整値は、自動調整を行う前の値になります。

各部の名称と働き

撮影（記録） / 再生機能部（3）



⑦ SHUTTER（シャッター）スイッチ

電子シャッターを使うときに「ON」にします。「SEL」側に押し、設定メニューであらかじめ設定した範囲で、シャッタースピードおよびモードの表示が切り替わります。

なお、表示モードが「2」または「3」に設定されている場合、このスイッチの設定を切り替えると、新しい設定値がビューファインダー画面のシャッター表示位置に表示されます。（例：「：1/120」、「：1/61.2」）

⑧ ECU REMOTE（リモートコントロール）端子（6ピン）

エクステンションコントロールユニット AJ-EC3（別売品）を接続します。

<ノート>

リモートコントロールケーブルを接続するときや外すときは、本機とエクステンションコントロールユニットのPOWERスイッチを、必ず「OFF」にしてください。

⑨ HD SDI OUT 端子（BNC）

モニター用のHD SDI信号（映像・音声）を、MONITOR OUTのSDIスイッチ⑩に連動して出力します。

SDIスイッチが「EE/PB」のとき、記録中はEE映像とEE音声を出力し、再生中は再生映像と再生音声を出力します。

SDIスイッチが「EE」のときは、常にカメラ映像を出力します。

メニュー設定中は、CHARACTORスイッチを「ON」にすることで、撮影している映像に重ねて設定メニューをモニター画面で確認することもできます。

⑩ SDIスイッチ

HD SDI OUT 端子から出力する映像・音声信号と、AUDIO OUT 端子から出力する音声信号を切り替えます。

EE/PB：再生時は、再生映像と再生音声の信号を出力し、再生時以外は、EE映像とEE音声の信号を出力します。

EE：常にEE映像とEE音声の信号を出力します。

OFF：出力を停止します。（省電力モードとして有効です。）

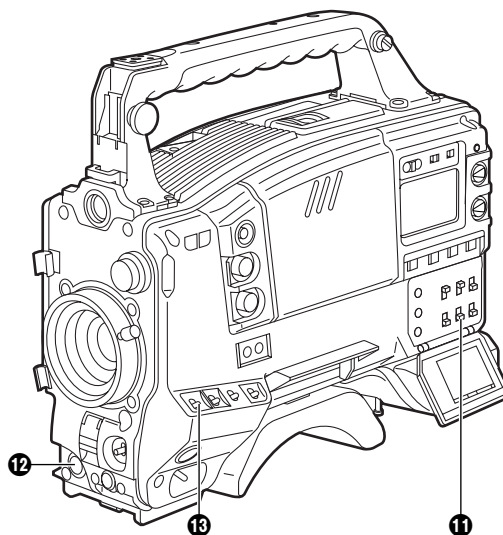
<ノート>

出荷時の設定では、HD SDI OUT 端子にケーブルが接続されると、「OFF」の位置での機能が無効になります。詳しくは、VTRメニューのFUNCTION画面（101ページ）を参照してください。

なお、記録中はHD SDI OUT 出力のON/OFF切り替えができません。記録開始前の状態を維持します。

各部の名称と働き

撮影（記録） / 再生機能部（4）



⑪ CHARACTER スイッチ

HD SDI OUT 端子から出力する映像へのキャラクターの重畳を制御します。

ON : キャラクターを重畳します。

OFF : キャラクターを重畳しません。

⑫ VTR START ボタン

押すと記録が始まり、再度押すと記録が停止します。

このボタンは、レンズ側の VTR ボタンと同じ働きをします。

⑬ VTR SAVE/STBY (テープ保護) スイッチ

VTR が記録を一時停止 (REC PAUSE) しているときの、電源供給状態を切り替えます。

SAVE : テープ保護モードです。ハーフローディング状態でシリンダーを停止させています。

STBY 時より電力消費も少なく、バッテリーでの動作時間も長くなります。なお、VTR START ボタン ⑫ を押してからの記録開始までは、STBY 時より時間がかかります。

この位置にすると、ビューファインダー内の VTR SAVE ランプが点灯します。

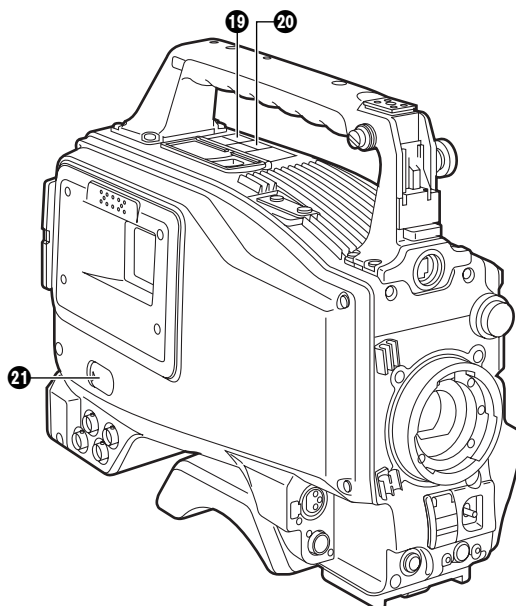
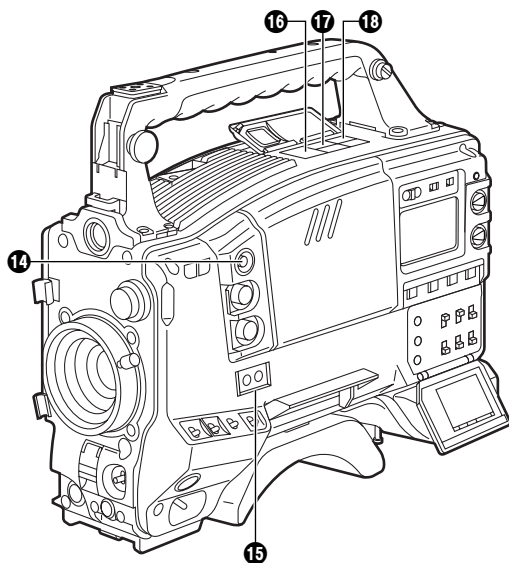
STBY : VTR START ボタンを押すと、すぐに記録が始まります。

< ノート >

STBY の状態で所定の時間が経過すると、本機は、自動的に SAVE 状態になります。再び STBY の状態に戻すには、この VTR SAVE/STBY スイッチを一度「SAVE」の位置にし、再度「STBY」の位置に戻してください。

各部の名称と働き

撮影（記録） / 再生機能部（5）



⑭ MODE CHECK ボタン

このボタンを押している間、カメラの設定状態がビューファインダーに表示されます。
カメラの出力信号には影響ありません。

⑮ USER 1 / USER 2 ボタン

ユーザーの設定を、設定メニューでそれぞれのボタンに割り付けることができます。
ボタンを押すことで、割り付けられているユーザーの設定モードに切り替わります。
再度押すと、切り替わったモードが解除されます。

⑯ EJECT（カセット取り出し）ボタン

カセットの挿入するときや、取り出すときに押します。

⑰ REW（巻き戻し）ボタン

テープを巻き戻すときに押します。巻き戻し中はランプが点灯します。
再生中に押すと、ボタンを押している間だけ約2倍速で巻き戻し再生を行います。

⑱ FF（早送り）ボタン

テープを早送りするときに押します。早送り中はランプが点灯します。
再生中に押すと、ボタンを押している間だけ約2倍速で早送り再生を行います。

⑲ PLAY/PAUSE（再生 / 一時停止）ボタン

ビューファインダー画面上やカラービデオモニターを使って、再生画像を見るときに押します。再生中はランプが点灯します。
再生中に押すと、再生モードでの一時停止（PLAY PAUSE）となりランプが点滅します。さらに一時停止の状態が続くと、2分後には自動的に停止状態（STOP）になります。

⑳ STOP（停止）ボタン

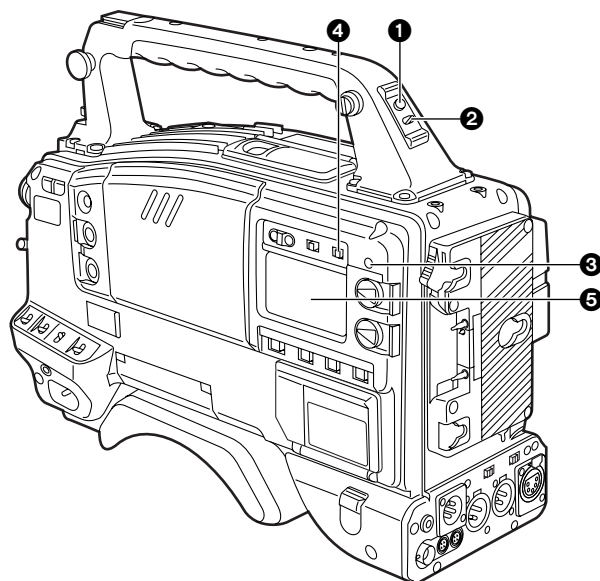
テープ走行を止めるときに押します。

㉑ EMERGENCY スクリュー（ゴムキャップの内部）

EJECT ボタンを押してもカセットを取り出せないときは、ドライバー等でEMERGENCY スクリューを押しながら回すと、カセットを取り出すことができます。

各部の名称と働き

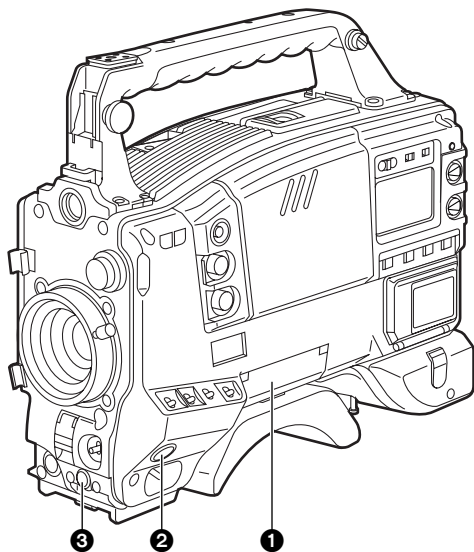
警告 / 状態表示部



- ① バックタリーランプ (本機)
バックタリースイッチ ② を「ON」に設定すると、ビューファインダーのフロントタリーランプと同じ動作をします。
- ② バックタリースイッチ
本機のバックタリーランプ ① をコントロールします。
ON : 本機のバックタリーランプが動作します。
OFF : 本機のバックタリーランプは動作しません。
- ③ WARNING ランプ
VTR 部に何らかの異常が発生すると、点滅または点灯します。
- ④ LIGHT スイッチ
ON : 表示窓 ⑤ の照明をつけます。
OFF : 表示窓の照明を消します。
- ⑤ 表示窓
VTR 部に関する、警告・バッテリー残量・音声レベル・タイムデータなどを表示します。

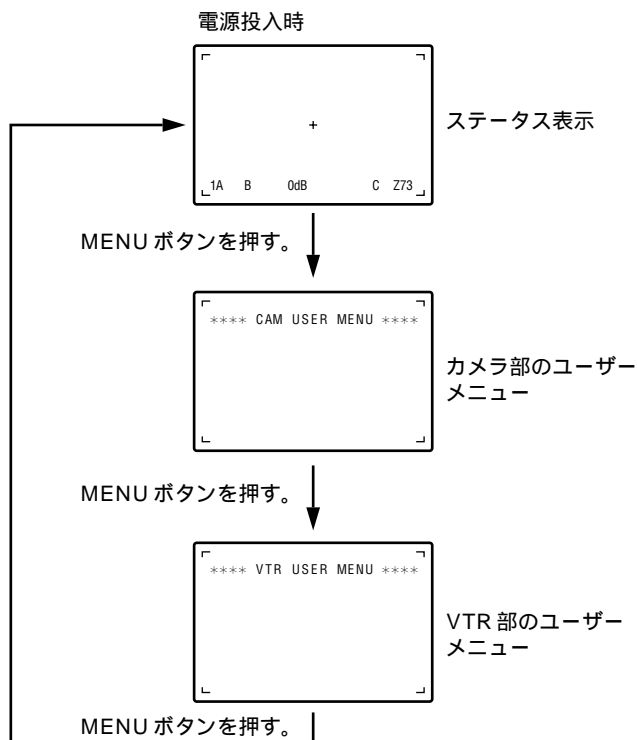
各部の名称と働き

メニュー操作部



① セットアップカード挿入部
別売品のセットアップカードを挿入します。

② MENU ボタン
このボタンを押すと、出荷時に設定されたカメラ部のユーザーメニュー画面が表示されます。再度押すとVTR部のユーザーメニュー画面が表示されます。さらに押すと、メニュー画面の表示が消えます。ユーザーメニューへのメニュー選択は、USER MENU SELECTの画面で、変更が可能です。



③ JOG ダイヤルボタン

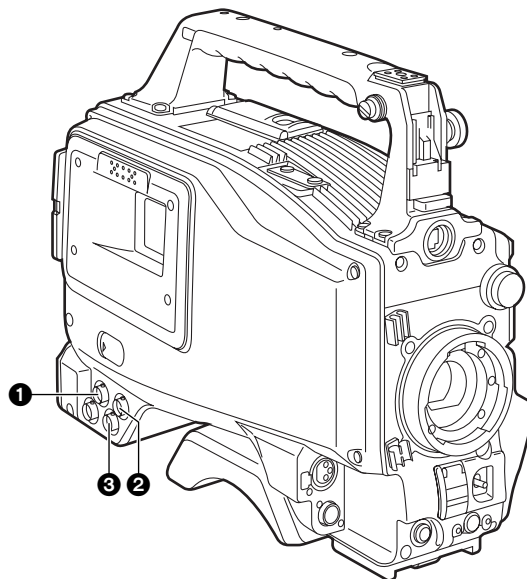
メニュー画面が表示されている状態でこのダイヤルボタンを回すと、各設定項目にカーソルが移動します。

メニューの設定は、このダイヤルボタンの操作によって行います。

メニューには、MAINメニューとSUBメニューがあり、ページ単位で表示されます。

メニューの構成は、目的に応じて変更ができます。詳しいメニューの操作方法は、「メニュー操作」76～78ページを参照してください。

タイムコード関連部(1)



① GENLOCK IN 端子 (BNC)

カメラ部にゲンロックをかけるときや、タイムコードを外部ロックするときに、アナログHD基準信号をこの端子に入力します。

② TC IN 端子 (BNC)

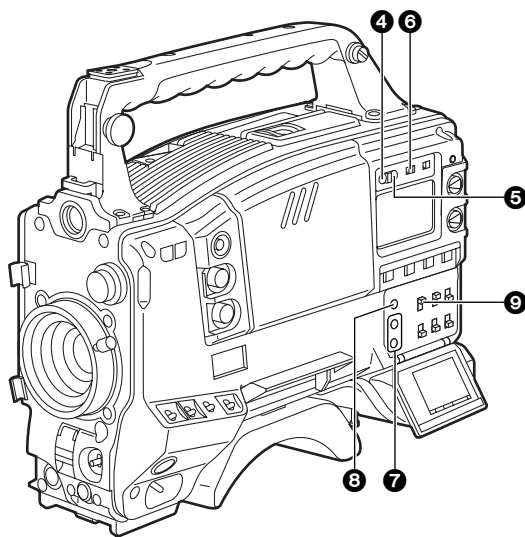
タイムコードを外部ロックするときに、基準となるタイムコードをこの端子に入力します。

③ TC OUT 端子 (BNC)

外部VTRのタイムコードを、本機のタイムコードにロックさせるときに、外部VTRのタイムコード入力(TC IN)端子と接続します。

各部の名称と働き

タイムコード関連部 (2)



④ HOLD ボタン

押した瞬間に、カウンタ表示部のタイムデータ表示が保持されます。(ただし、タイムコードジェネレータは歩進し続けます。)再度押すと、保持状態が解除されます。

あるシーンを撮影した時刻を知りたいときなどに使用します。

<ノート>

DISPLAY スイッチ ⑥ が UB に設定されているときにこの HOLD ボタンを押すと、押している間カウンタ表示部の HOLD が点滅し、ビデオ AUX エリアに記録されている VITC のユーザーズビット情報をカウンタ表示部に表示する機能として動作します。

⑤ RESET ボタン

カウンタ表示部のタイムデータを“ 00:00:00:00 ” にリセットします。また、TCG スイッチ ⑨ を「SET」の位置にしてこのボタンを押すと、タイムコードデータやユーザーズビットデータをそれぞれ“ 00:00:00:00 ”、“ 00:00:00:00 ” にリセットします。

⑥ DISPLAY スイッチ

このスイッチと TCG スイッチ ⑨ の設定位置に応じて、タイムコードや CTL、ユーザーズビットをカウンタ表示部に表示させます。

UB : ユーザーズビットを表示します。

TC : タイムコードを表示します。

CTL : CTL を表示します。

⑦ + ボタン、- ボタン

タイムコードやユーザーズビットの設定時に、SHIFT ボタン ⑧ で点滅させた桁の数値を 1 つずつ増減させます。

⑧ SHIFT ボタン

タイムコードやユーザーズビットの設定時に、設定したい桁を点滅させます。

⑨ TCG (タイムコード切り替え) スイッチ

内蔵タイムコードジェネレータの歩進モードを設定します。

F-RUN : VTR の操作に関係なく、連続してタイムコードを歩進させるときに使用します。

タイムコードを時刻に合わせたり、タイムコードを外部ロックさせるときなどこの位置にします。

SET : タイムコードやユーザーズビットを設定するときを使用します。

R-RUN : 記録中のみにタイムコードを歩進させるときに使用します。

つなぎ撮りをしたテープ上のタイムコードは、連続して記録されます。

電源の供給

本機の電源には、バッテリーパックまたは AC 電源が使用できます。

バッテリーパックを使用するには
バッテリーパックは、

- ・パナソニック製
- ・アントン・バウアー製
- ・ソニー製

の 3 種類のバッテリーが使用できます。

< ノート >

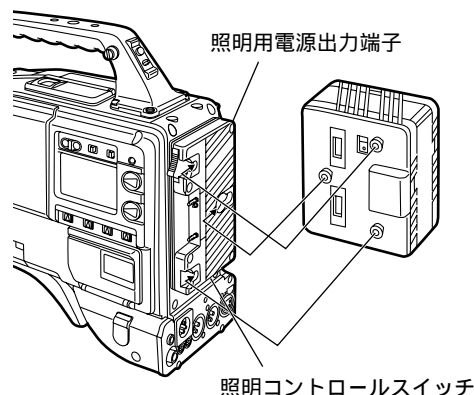
他のバッテリーについても、設定メニューを変更することにより対応が可能ですが、本機とのシステム保証はできません。

バッテリーパックをご使用になる前に、バッテリーチャージャーを使って充電してください。

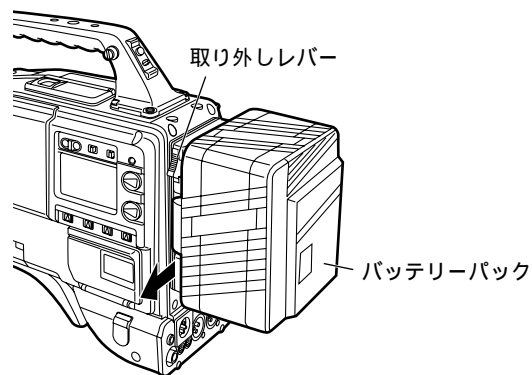
(充電方法の詳細については、それぞれの取扱説明書をお読みください。)

アントン・バウアー製バッテリーパックの使用

- 1 バッテリーパックを取り付けます。
矢印の方向に差し込んでからスライドさせてください。



- 2 バッテリーを取り外すときは、バッテリーマウントの取り外しレバーを完全に下まで倒したまま、バッテリーパックを矢印の方向にスライドさせてください。



< ノート >

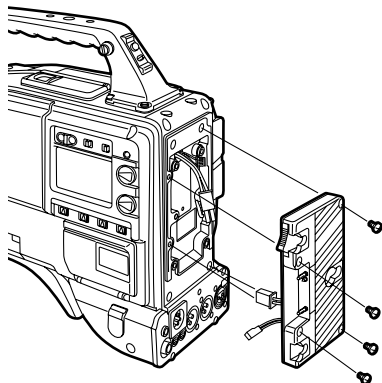
インテリジェントバッテリーシステム / ウルトラライトシステムに対応しています。

ビューファインダー内のバッテリー残量は、通常パーセント表示で表示されますが、バッテリー消耗間近になると、電圧表示に切り替わります。

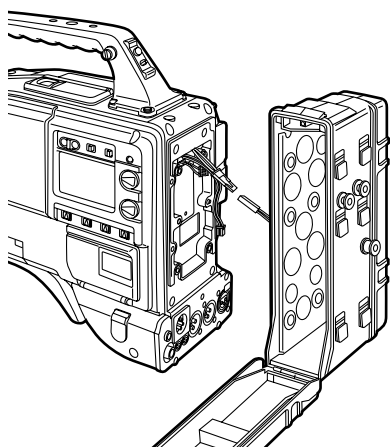
電源の供給

パナソニック製バッテリーパック AU-BP402 の使用

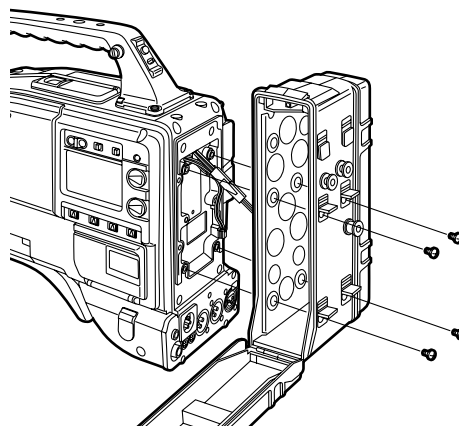
1 バッテリマウントを取り外します。



2 本機のコネクタとバッテリーケース AU-M402H のコネクタを接続します。



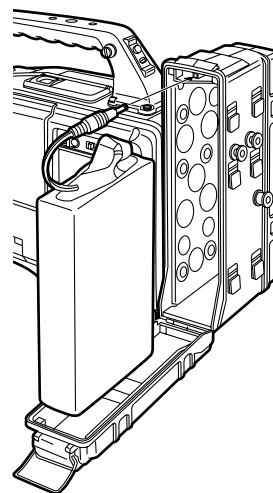
3 バッテリーケース AU-M402H を取り付けます。バッテリーケースのフタを開け、ゴムキャップ上に持ち上げると、ネジ穴が見えます。ドライバーでネジを締めて、ケースを本機に取り付けてください。ネジは最後まで正確に締めてください。



< ノート >

- ・ゴムキャップは強く引っ張らないでください。
- ・バッテリーケースを取り付ける時は、接続コードがカミ込まないように注意して取り付けてください。

4 バッテリーパックのプラグとケース内の端子と接続し、バッテリーパックを入れます。



< ノート >

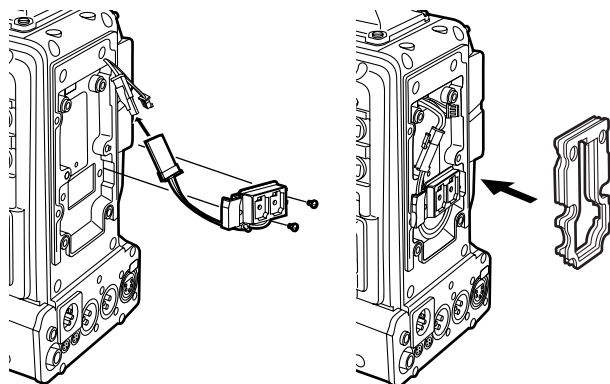
プラグの抜き差しは、必ず本機の電源を切ってから行ってください。

電源の供給

ソニー製バッテリーパック NP-1 の使用

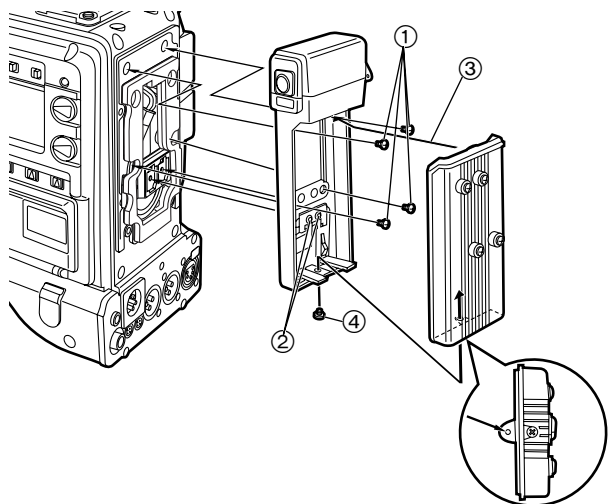
1 バッテリーマウントを外します。
28 ページを参照してください。

2 付属のバッテリー取り付け端子とクッションを取り付けます。



3 SONY バッテリーホルダーを取り付けます。
図のように、フタを外したバッテリーケース、取り外したフタの順に取り付けます。

- ① 取り付け用ネジを締めます。
- ② 電源接触用ネジを締めます。
- ③ 取り外したフタの上部を矢印の方向に差し込みます。
- ④ フタの下部（金属部分）の穴とケース下部の穴を合わせて、バッテリー取り付け端子に、バッテリーホルダーのネジで取り付けます。



< ノート >

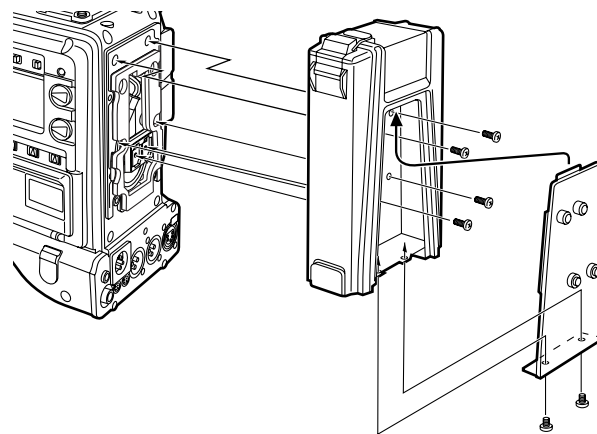
バッテリーホルダーを取り付ける時は、接続コードがカミ込まないように注意して取り付けてください。

ソニー製バッテリーパック BP-90 の使用

1 付属のバッテリー取り付け端子を取り付けます。

2 BP-90 用のバッテリーケースを取り付けます。

1. 取り付け用ネジを締めます。
2. 電源接触用ネジを締めます。
3. 取り外したフタの上部を、矢印の方向に差し込みます。
4. フタ下部（金属部分）の穴と、ケース部の穴を合わせてネジで取り付けます。



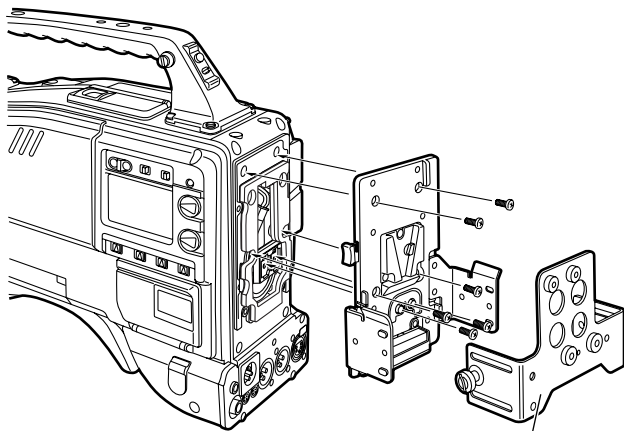
電源の供給

ソニー製リチウムイオンバッテリー BP-L60/L90 の使用

1 付属のバッテリー取り付け端子を取り付けます。
(前ページ参照)

2 リチウムイオン用のバッテリーホルダーを取り付けます。

1. 図のようにバッテリー押さえ金具を外し、取り付け用ネジでホルダーを取り付けます。
2. 電源接触用ネジを締めます。
3. バッテリー押さえ金具を取り付けます。



バッテリー押さえ金具

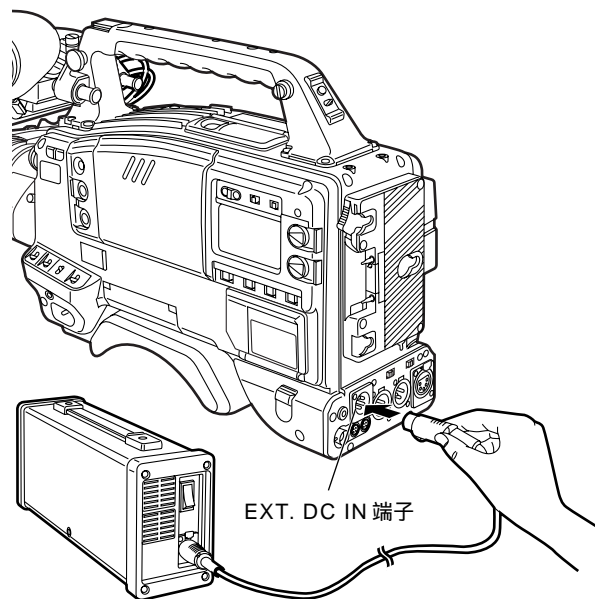
< ノート >

- ・プラグの抜き差しは、必ず本機の電源を切ってから行ってください。
- ・バッテリーケース/ホルダーを取り付ける時は、接続コードがカミ込まないように注意して取り付けてください。

AC 電源の使用

AC アダプタ AJ-B75 を使用した場合

1 本機の EXT. DC IN 端子と AC アダプタ AJ-B75 の DC OUT 端子を接続します。



2 AC アダプタの電源を「ON」にします。

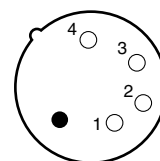
3 本機の POWER スイッチを「ON」にします。

< ノート >

- ・AC アダプタ AJ-B75 (DC12V、8.5A) 以外の外部電源を使用するときは、EXT DC IN 端子のピン信号を確認してください。
- ・バッテリーパックと AC アダプタの両方接続した場合は、AC アダプタの電源が優先されます。
- ・AC アダプタを使用するときは、必ず AC アダプタの電源を「ON」にした後、本機の POWER スイッチを「ON」にしてください。

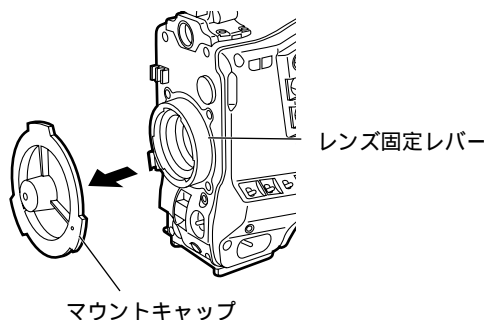
逆の操作を行った場合、AC アダプタの出力電圧がゆっくり立ち上がるために、本機が誤動作することがあります。

ピン番号	信号
1	GND
2、3	—
4	+ 12V

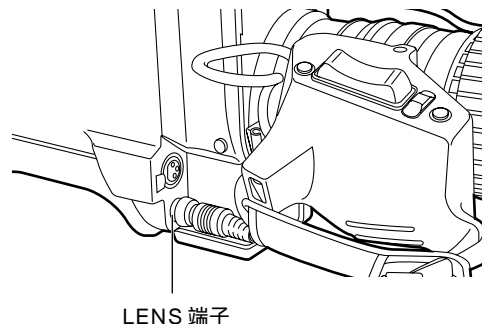


レンズの取り付け

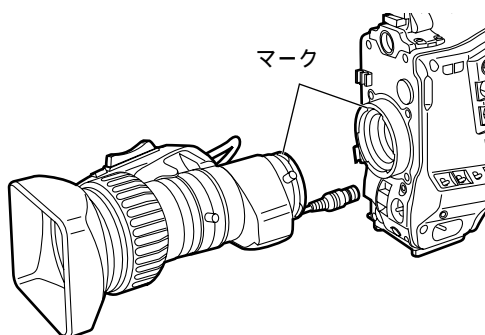
1 レンズ固定レバーを上げ、マウントキャップを外します。



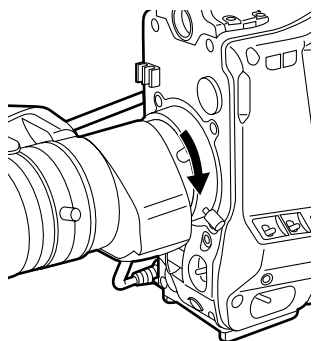
4 ケーブルをケーブルクランプに押し込み、LENS端子に接続します。



2 レンズマウント上部中央の凹部にレンズのセンターマークを合わせ、レンズを取り付けます。



3 レンズ固定レバーを下げて、レンズを固定します。



< ノート >

- レンズの取り扱いについては、レンズに付属の取扱説明書をお読みください。
- 取り付けるレンズによって、下記のレンズ調整やカメラ調整が必要となることがあります。
 1. レンズのフランジバック調整
 2. レンズのオートアイリス動作スピード調整
 3. レンズホワイトシェーディング調整（本機で調整）

レンズのフランジ調整

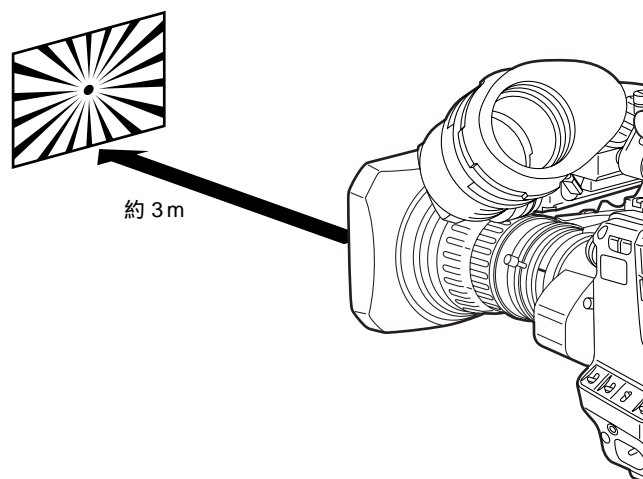
ズーム操作の際に望遠・広角の両方で焦点が正確に合わない場合は、フランジバック（レンズの取り付け面から結像面までの距離）の調整をします。

一度調整すると、レンズの交換をしない限り再調整の必要はありません。

調整方法

< ノート >

調整方法やレンズの各部位置については、レンズの取扱説明書も参照してください。



- 1 カメラにレンズを取り付けます。
レンズケーブルも忘れずに取り付けてください。
- 2 レンズの絞りを手動にし、絞りを開放にします。
- 3 フランジバック調整用チャートから 3 m ぐらい離れた距離で、適正な映像出力レベルが得られるように照明を設定します。
映像レベルが高すぎるときは、フィルターやシャッターを使用してください。
- 4 F.f（フランジフォーカス）リングの固定ネジをゆるめます。
< ノート >
レンズによって、F.b（フランジバック）リングと表示されている場合もあります。
- 5 手動または、電動でズームリングを望遠の位置にします。
- 6 フランジバック調整用チャートを写し、距離リングを回して焦点を合わせます。
- 7 ズームリングを広角の位置にし、F.fリングを回して焦点を合わせます。
このとき、距離リングは動かさないように注意します。
- 8 望遠と広角の両方の位置で焦点が合うようになるまで、5～7の操作を繰り返します。
- 9 F.fリングの固定ネジを、しっかりと閉めます。

ホワイトシェーディング調整

ホワイトシェーディングの再調整が必要な場合は、下記の要領で行ってください。

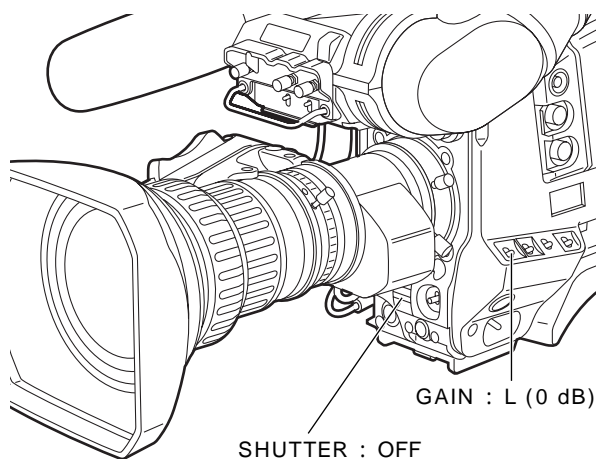
調整方法

< ノート >

- 一般的なレンズでは、下記の方法でホワイトシェーディング調整が行えますが、極めて特殊なレンズの場合は、調整方法が異なる場合があります。
- ホワイトシェーディング調整を行っても、レンズ絞りが開放 (open) 付近で上下方向の色つきが発生することがありますが、この現象はレンズや光学系の特性で、故障ではありません。

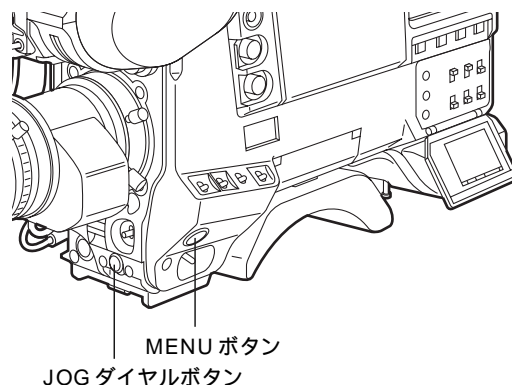
1 カメラにレンズを取り付けます。
レンズケーブルも忘れずに取り付けてください。

2 電子シャッターを「OFF」にし、ゲインを「L (0dB)」にします。



3 レンズにエクステンダがついている場合は、エクステンダ機能を外してください。
同様に、レンズにレシオコンバータがついている場合は、レシオコンバータ機能を外してください。

- 4** ①メニュー操作 (76 ~ 78 ページ) を行い、CAM MAIN MENU 2 の「VF DISPLAY」画面を開きます。
- ② ZEBRA1 DETECT を 70 %、ZEBRA2 DETECT を 85 %、ZEBRA2 を STOP に設定します。(初期設定モード)
- ③ MENU ボタンを押し、メニュー画面を閉じます。
- ④ ビューファインダーの ZEBRA スイッチを「ON」にします。



5 色ムラの無い白い紙を撮影します。

< ノート >

蛍光灯や水銀灯などの照明では、フリッカー (ちらつき現象) が発生しやすいので、太陽光やハロゲンランプなどの、フリッカーが発生しにくい光源を用いてください。

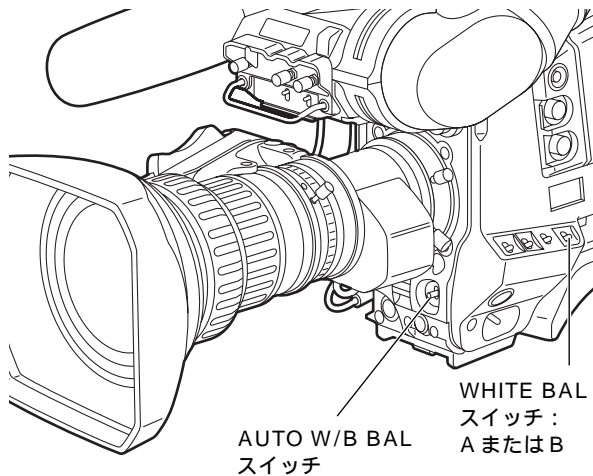
6 レンズ絞りをマニュアルにして、画面全体に ZEBRA がかかるように、レンズ絞りを調整します。
レンズ絞りが、F4 ~ F11 の間になっていることを確認してください。

< ノート >

- 照明にムラがあると、画面の一部に ZEBRA がかからなくなりますので、照明の位置などを調整してください。
- レンズ絞りが、F4 ~ F11 の間になっていない場合も、照明の位置などを調整してください。
- 電子シャッターは、必ず「OFF」のままにしておいてください。

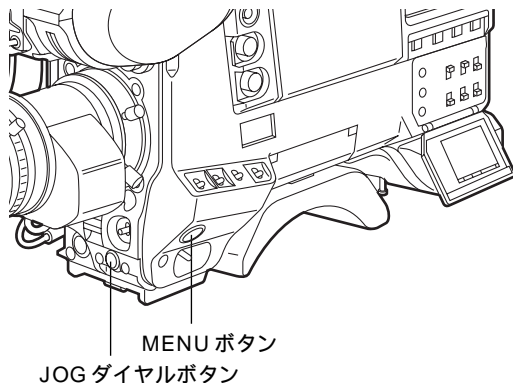
ホワイトシェーディング調整

- 7** ① WHITE BAL 切り替えスイッチを「A」または「B」にして、AUTO W/B BAL スイッチでホワイトバランスの自動調整 (AWB) を行います。
- ② AUTO W/B BAL スイッチでブラックバランスの自動調整 (ABB) を行います。
- ③ 再度 AUTO W/B BAL スイッチでホワイトバランスの自動調整 (AWB) を行います。



8 再度6の操作を行います。

- 9** ① メニュー操作 (76 ~ 78 ページ) を行い、CAM MAIN MANU 4 の「WHITE SHADING」画面を開きます。
- ② JOG ダイヤルボタンを回して、カーソルを「DETECTION」の位置に移動させ、JOG ダイヤルボタンを押します。
- 画面上に「ACTIVE」が表示され、ホワイトシェーディングの自動調整を行っていることを示します。
- 「ACTIVE」の表示が消えると、調整が完了です。
- ③ MENU ボタンを押し、メニュー画面を閉じます。



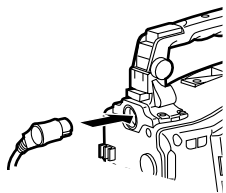
10 レンズにエクステンダがついている場合は、エクステンダ機能を入れて、再度6~9の操作を行います。

以上でホワイトシェーディング調整が完了します。調整値は、不揮発性メモリーに保存されますので、本機の電源を切っても、再度ホワイトシェーディング調整を行う必要はありません。

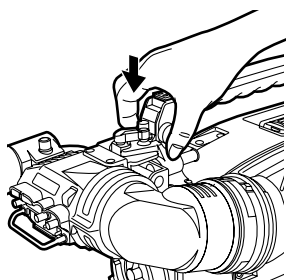
ビューファインダーの調整 (ビューファインダーは別売品です。)

ビューファインダーの取り付け

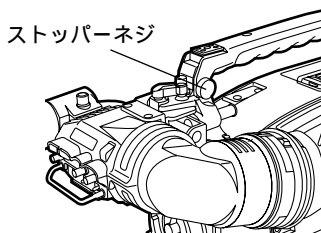
- 1 カメラの POWER スイッチが「OFF」であることを確認します。
- 2 ビューファインダー接続端子にプラグを接続します。
<ノート>
ビューファインダー接続端子にプラグを接続するときは、しっかり確実に押し込んでください。



- 3 ビューファインダーを押し下げます。

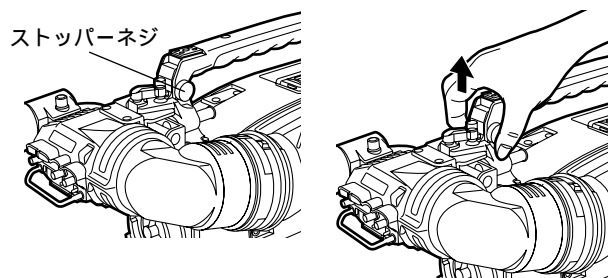


- 4 ストッパーネジを確実に締めます。

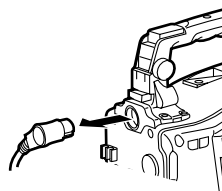


ビューファインダーの取り外し

- 1 カメラの POWER スイッチが「OFF」であることを確認します。
- 2 ストッパーネジを緩め、ビューファインダーを真上に引き上げて、抜き取ります。
<ノート>
ビューファインダーを抜き取る時は、両手で行ってください。片手ではスムーズに取り外すことができない場合があります、またファインダーが破損するおそれがあります。



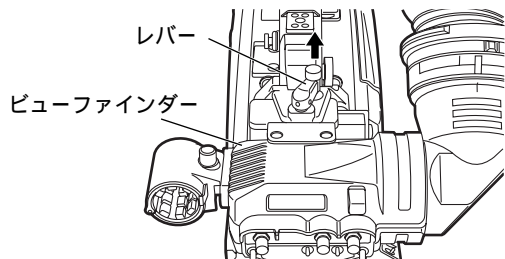
- 3 ビューファインダーケーブル端子からプラグを抜き取ります。



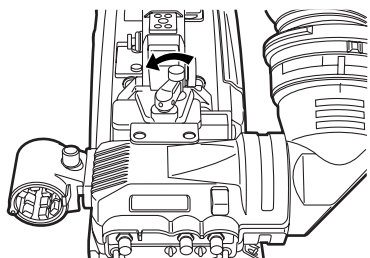
ビューファインダーの調整 (ビューファインダーは別売品です。)

位置調整

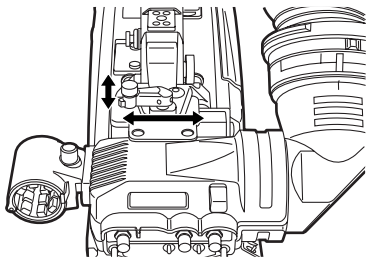
- 1** ビューファインダー前後左右位置固定レバーを引き上げるとロックがはずれます。



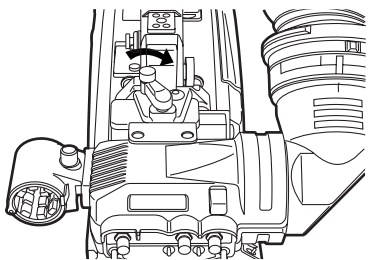
- 2** 前後左右位置固定レバーをゆるめます。



- 3** ビューファインダーを前後左右に移動させ、位置を調整します。



- 4** ビューファインダー前後左右位置固定レバーをロック位置まで締めます。

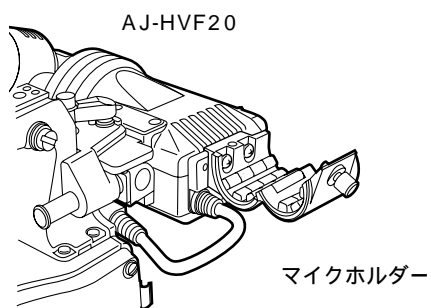


音声入力準備

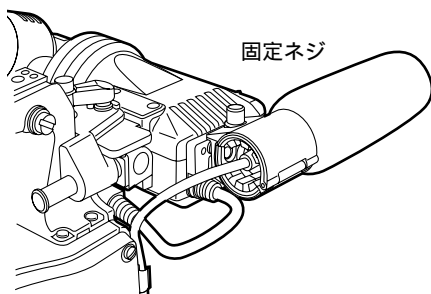
マイクをビューファインダー(別売品)に取り付けて使用する場合

マイクキット AJ-MC700P (別売品) のマイクを取り付けることができます。

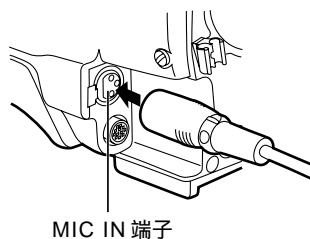
1 マイクホルダーを開きます。



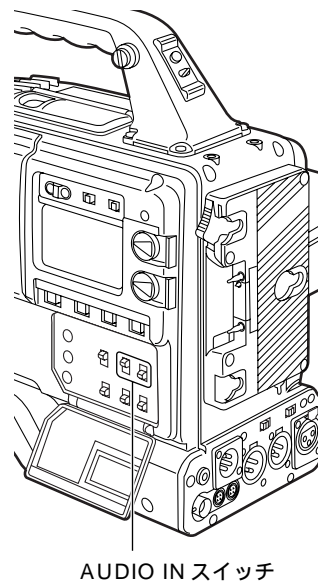
2 マイクを取りつけ、固定ネジを締めます。



3 マイクの接続ケーブルをカメラの MIC IN 端子に接続します。



4 記録する音声チャンネルに応じて、AUDIO IN スイッチを「FRONT」に切り替えます。

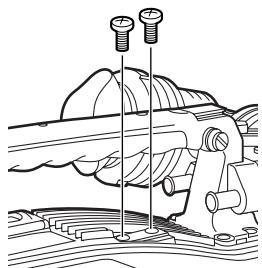


音声入力の準備

マイクを本体に取り付けて使用する場
合

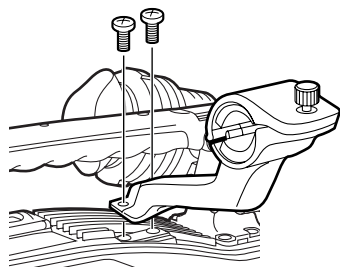
マイクホルダー AJ-MH700P (別売品) の取り付け

1 マイクホルダー取り付け用ネジを外します。

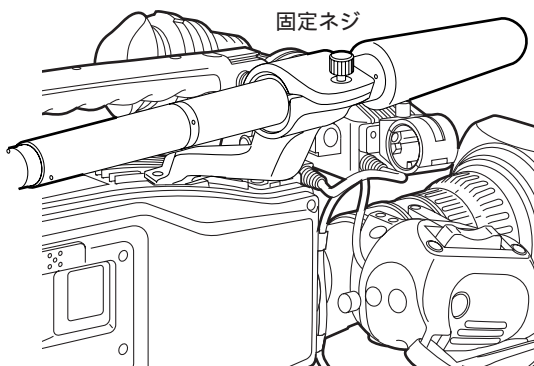


2 マイクホルダー AJ-MH700P (別売品) に付属
のネジで、マイクホルダーを本体に取り付けます。

マイクホルダーに付属のネジ

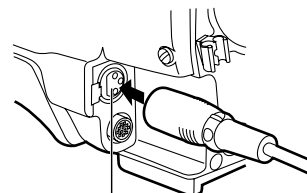


3 マイクをマイクホルダーに取り付け、固定ネジを
締めます。



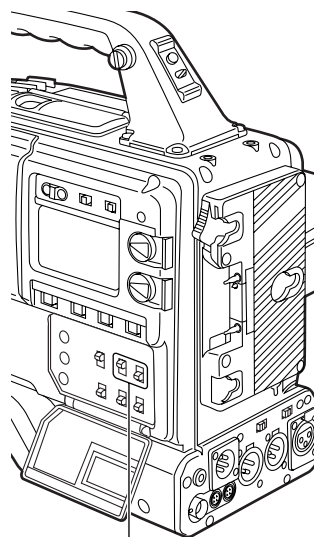
固定ネジ

4 マイクの接続ケーブルをカメラの MIC IN 端子に
接続します。



MIC IN 端子

5 記録する音声チャンネルに応じて、AUDIO IN ス
イッチを「FRONT」に切り替えます。

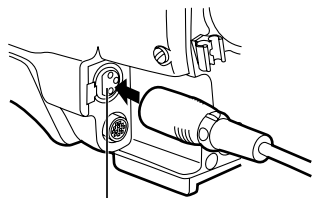


AUDIO IN スイッチ

音声入力準備

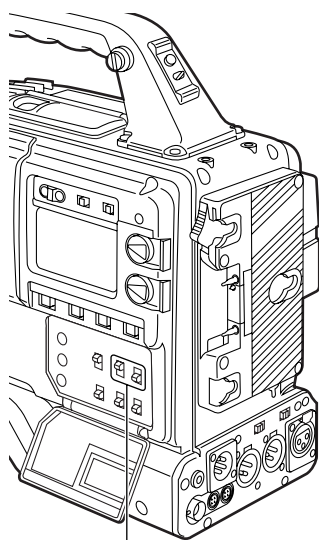
マイクを MIC IN 端子に接続する場合

- 1 マイクの接続ケーブルをカメラの MIC IN 端子に接続します。



MIC IN 端子

- 2 記録する音声チャンネルに応じて、AUDIO IN スイッチを「FRONT」に切り替えます。



AUDIO IN スイッチ

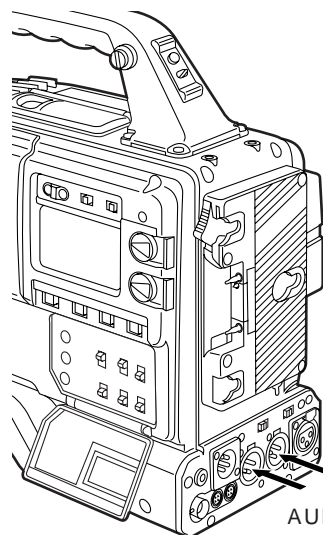
< ノート >

マイクの接続ケーブルを延長する場合は、ファントム電源の給電方式に対応したケーブルを使用してください。

マイクを AUDIO IN 端子に接続する場合

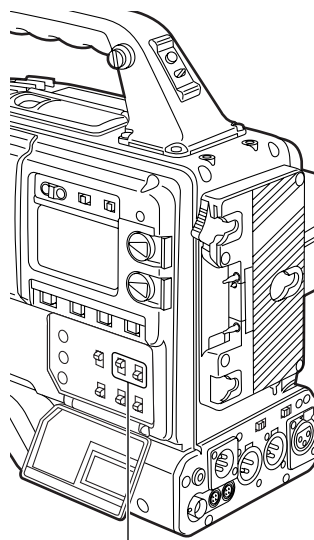
- 1 マイクの接続ケーブルをカメラの AUDIO IN 端子に接続します。

CH1 と CH2 の 2 本まで接続できます。



AUDIO IN 端子

- 2 マイクを接続したチャンネルの AUDIO IN スイッチを「REAR」に切り替えます。



AUDIO IN スイッチ

< ノート >

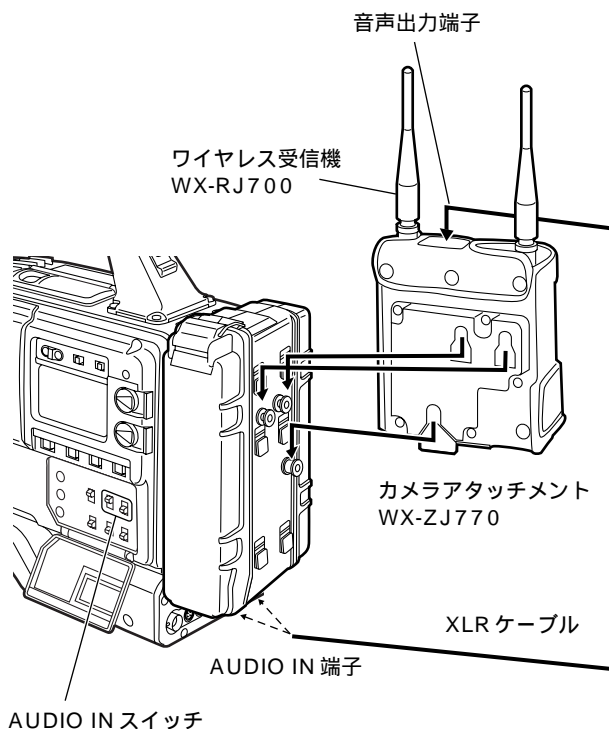
LINE/MIC/+48V 切り替えスイッチを「+48V」にすると、ファントム電源の給電方式に対応します。

音声入力準備

ワイヤレスマイクを使用する場合

パナソニックワイヤレスシステムを使用するときは、ワイヤレス受信機 WX-RJ700 を取り付けます。

- 1 ワイヤレス受信機 WX-RJ700 をカメラアタッチメント WX-ZJ770 に取り付けます。
- 2 バッテリーケース等のピンにカメラアタッチメントの溝を合わせて、ワイヤレス受信機を取り付けます。



- 3 ワイヤレス受信機とカメラの AUDIO IN 端子を XLR ケーブルで接続します。
- 4 XLR ケーブル接続したチャンネルの AUDIO IN スイッチを「REAR」に切り替えます。
- 5 後面の LINE/MIC/+48V 切り替えスイッチを「MIC」に切り替えます。

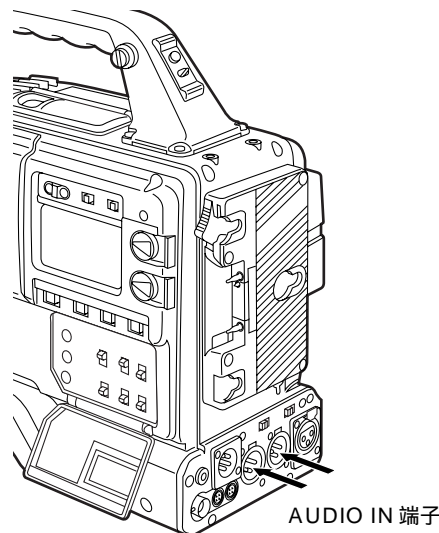
ワイヤレス受信機を取り外すときは、カメラアタッチメント底面のレバーを押し上げて取り外します。

< ノート >

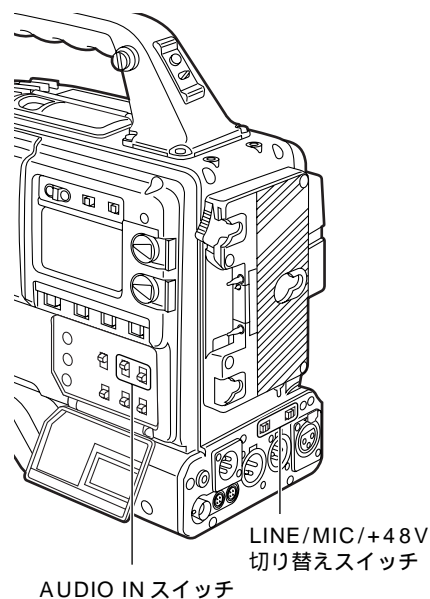
ワイヤレス受信機 WX-RJ700 の操作などについては、ワイヤレス受信機取扱説明書をお読みください。

オーディオ機器を接続する場合

- 1 オーディオ機器とカメラの AUDIO IN 端子を XLR ケーブルで接続します。



- 2 XLR ケーブル接続したチャンネルの AUDIO IN スイッチを「REAR」に切り替えます。
- 3 後面の LINE/MIC/+48V 切り替えスイッチを「LINE」に切り替えます。



三脚への取り付け

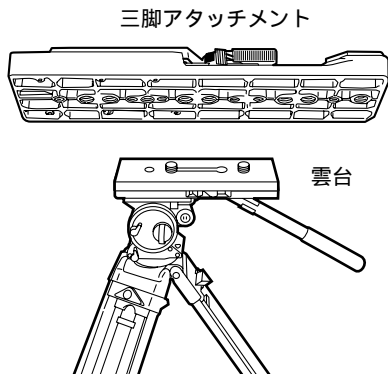
本機を三脚へ取り付ける場合は、別売品の三脚アタッチメントを使います。

1 三脚アタッチメントを、三脚に取り付けます。

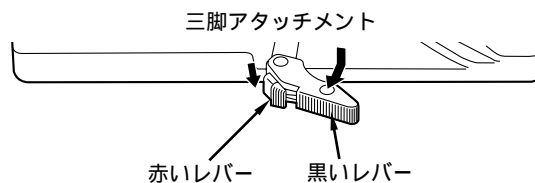
< ノート >

本機と三脚アタッチメントの重心を考慮して、アタッチメントの穴を選んでください。

また、選んだ穴の径が、雲台のネジの径と合うことを確認してください。



本機を三脚アタッチメントから取り外す
赤いレバーを押しながら、黒いレバーを矢印の方向へ動かして、本機を後方に滑らして外します。



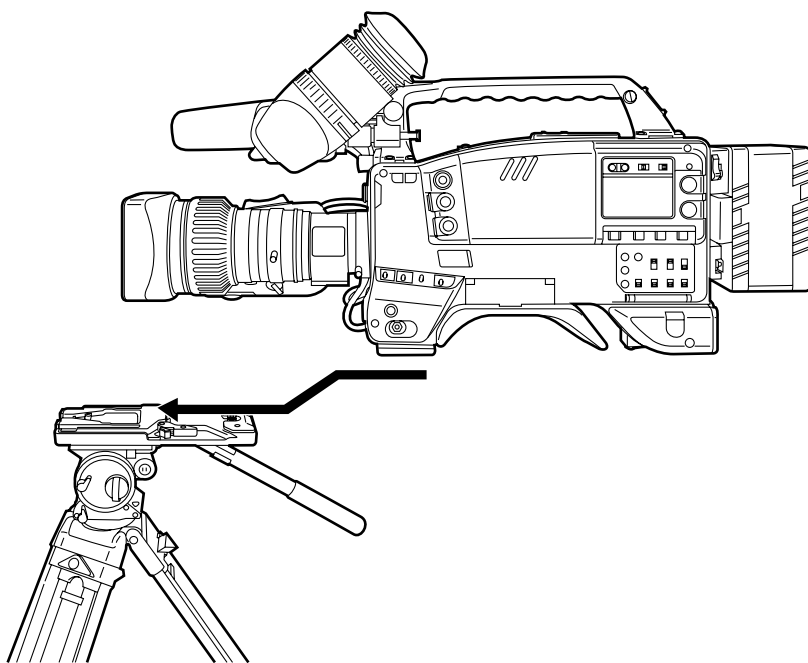
< ノート >

カメラを取り外した後、三脚アタッチメントのピンが元に戻らないときは、再度赤いレバーを押しながら、黒いレバーを矢印の方向へ動かして、ピンを元の位置に戻します。

ピンが中央に残ったままでは、カメラの取り付けができませんのでご注意ください。

2 カメラを三脚アタッチメントに取り付けます。

溝に沿って、カチッと音がするまでカメラを前方へ滑らせませす。

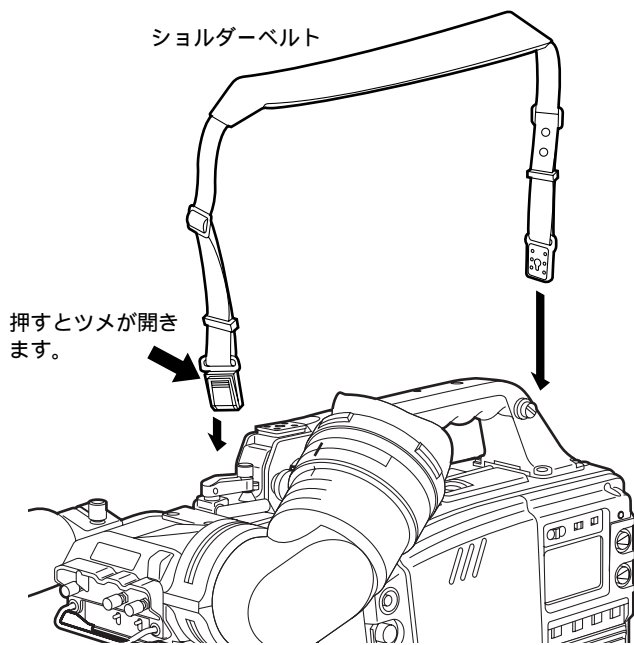


ショルダーベルトの取り付け

1 ショルダーベルト取り付けフックにショルダーベルトを取り付け、ベルトの長さを調節します。

<ノート>

ショルダーベルトがしっかりと取り付けられていることを、確認してください。



ショルダーベルトを外す場合は、取り付け部のツメを開いてから外します。

押すとツメが開きます。



ショルダーパッドの位置調整

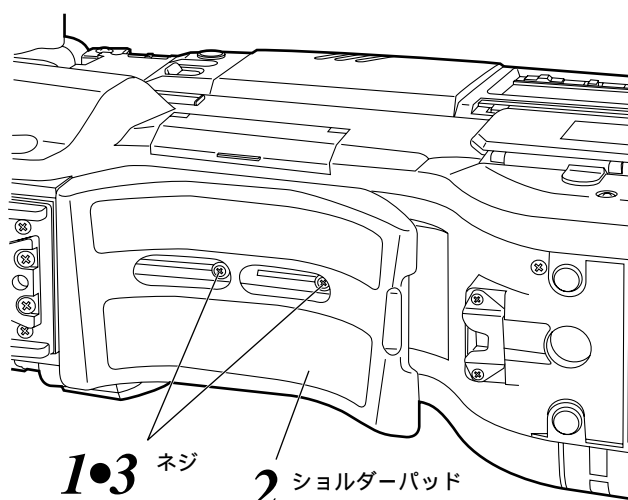
ショルダーパッドは、中央位置（出荷された状態）から前後方向に、それぞれ15mmの範囲でスライドさせることができます。

操作しやすいように、ショルダーパッドの位置を調節します。

1 ネジ2本をゆるめます。

2 前後方向にショルダーパッドをスライドさせ、適切な位置を選びます。

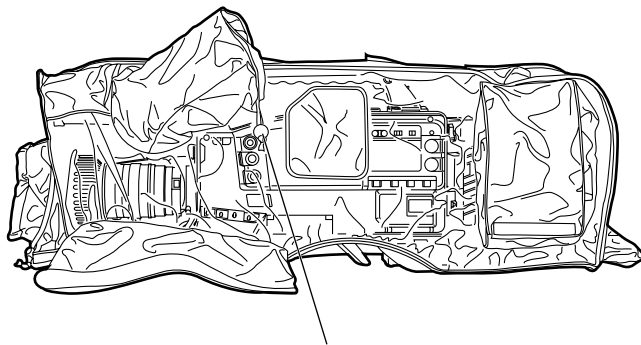
3 ネジを締め、ショルダーパッドを固定します。



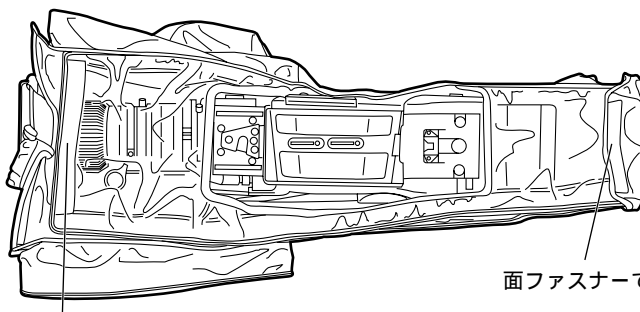
底部

レインカバーの取り付け

レインカバー SHAN-RC700 の使用例



ひもを締めます



面ファスナーで止めます。

面ファスナーで止めます。

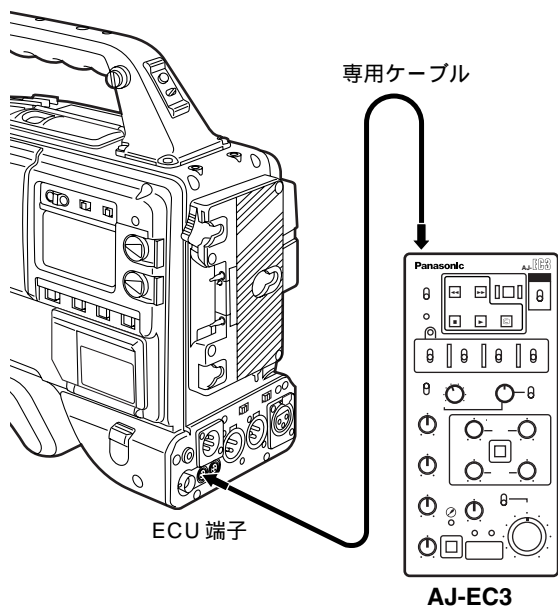
エクステンションコントロールユニットの接続

エクステンションコントロールユニット AJ-EC3 (別売品) を接続して、機能の一部をリモートコントロールすることができます。

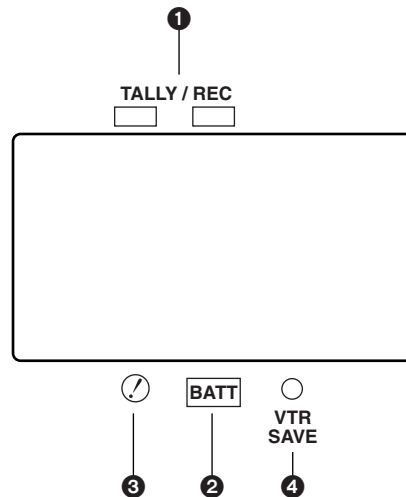
AJ-EC3 を接続して本機および、AJ-EC3 の POWER スイッチを「ON」にすると、本機は自動的にリモートコントロールモードに入ります。

< ノート >

- 専用ケーブルを接続するときや外すときは、本機と AJ-EC3 の POWER スイッチを必ず「OFF」にしてください。
- CAM MENU の「CAMERA SW MODE」画面の ECU DATA SAVE の設定が「OFF」の場合：AJ-EC3 を使って行った調整や設定は、本機の POWER スイッチを「OFF」にすると全て取り消されます。また、セットアップカードへの書き込みもできません。ただし、メニュー内容の設定は、セットアップカードへの書き込みが可能です。再度、AJ-EC3 と接続されると、AJ-EC3 の設定値に戻ります。
- CAM MENU の「CAMERA SW MODE」画面の ECU DATA SAVE の設定が「ON」の場合：AJ-EC3 を使って行った調整や設定は、本機の POWER スイッチを「OFF」にしても消えません。



ビューファインダーのランプ表示



表示例は AJ-HVF20 の表示です。
(ビューファインダーに関する内容は、別売の
ビューファインダーの取扱説明書をご覧ください。)

① TALLY/REC (記録) ランプ

記録時に点灯 (赤) します。
また、異常が発生したときには点滅します。
詳しくは、「警告システム」(109、110 ページ)
をお読みください。

② BATT (バッテリー) ランプ

バッテリーの電圧が下がり、使用できなくなる数
分前に点滅を始め、使用できなくなると点灯しま
す。動作の中断を防ぐため、バッテリーの消耗間
近になる前に、バッテリーを交換してください。
詳しくは、「警告システム」(109、110 ページ)
をお読みください。

③ ⚡ (変則動作状態警告) ランプ

設定メニューの「!LED」画面で「ON」に設定し
た項目のうち、本機が変則動作状態になると点灯
します。
⚡ ランプ表示の対象となる項目の選択について
は、「⚡ ランプ表示の設定」(次ページ)をお読み
ください。

④ VTR SAVE (VTR 節電) ランプ

VTR SAVE/STBY スイッチを SAVE にすると点
灯します。
記録中は消灯します。
< ノート >
記録一時停止時は、自動的に SAVE 状態になり、
ポーズタイマー (一時停止時間) の設定時間にラ
ンプが点灯します。
また、再生一時停止 2 分後には、自動的に SAVE
状態になり、ランプが点灯します。

ビューファインダーのランプ表示

① ランプ表示の設定

CAM MAIN MENU2 画面の「!LED」画面の設定で、① ランプ表示の対象となる項目を選択します。(出荷時の設定では「!LED」画面は表示されません。)
「!LED」画面を操作するときは、本機をエンジニアモードメニューに切り替えるか、CAM MAIN MENU 4 画面の「CAM USER MENU SELECT 2」画面で「!LED」画面を選択します。

< ノート >

エンジニアモードメニューと表示画面の選択については、「メニュー操作」(76 ~ 78 ページ)をお読みください。

1 メニュー操作(76 ~ 78 ページ)を行い、「!LED」の画面を開きます。

->< !LED >	
GAIN(0dB)	: ON
GAIN(-3dB)	: OFF
SHUTTER	: ON
WHITE PRESET	: OFF
EXTENDER	: ON
FILTER	: OFF
SUPER V	: OFF
BLACK STR	: OFF
D4300K	: OFF
MATRIX	: OFF
COLOR CORRECTION	: OFF

設定項目	設定内容
GAIN (0dB)	ゲインが「0dB」以外の値に設定されているときのランプ表示
GAIN (- 3dB)	ゲインが「- 3dB」以外の値に設定されているときのランプ表示
SHUTTER	SHUTTERスイッチが「ON」のときのランプ表示
WHITE PRESET	ホワイトバランスメモリーのチャンネルが「PRST」のときのランプ表示
EXTENDER	レンズエクステンダーが使用されているときのランプ表示
FILTER	フィルターが「3200K」以外の値に設定されているときのランプ表示
SUPER V	SUPER Vスイッチが「ON」のときのランプ表示
BLACK STR	ブラックストレッチが「ON」のときのランプ表示
D4300K	ホワイトバランスのプリセット値が4300Kのときのランプ表示
MATRIX	マトリックスが「ON」のときのランプ表示
COLOR CORRECTION	COLOR CORRECTIONが「ON」のときのランプ表示

2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印(カーソル)を希望する項目に移動します。

3 選択した項目について、JOGダイヤルボタンを押して、ビューファインダー画面への表示を設定します。

JOGダイヤルボタンを回して、表示(ON)と非表示(OFF)を選択し、JOGダイヤルボタンを押して確定します。

4 他の項目についても点灯/消灯を設定するときは、再度**2**・**3**の操作を行います。

5 メニュー操作を終了するときは、MENUボタンを押します。

設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

ビューファインダー画面の状態表示

ビューファインダー画面には、映像の他に本機の設定や動作の状態を示すメッセージが表示されます。

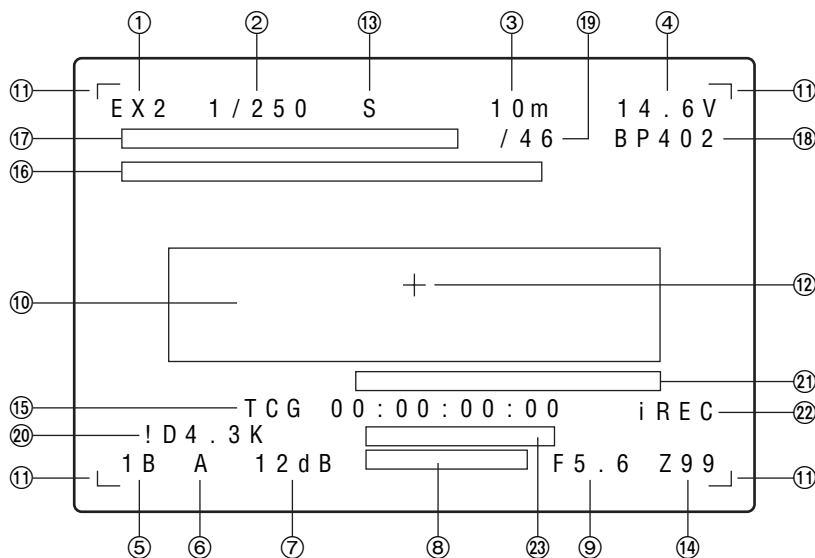
また、センターマーカーやセーフティーゾーンマーカーなどが表示されます。

また、画面の上端と下端には、設定メニューのVF DISPLAY 画面や、ビューファインダー表示に関連するスイッチで「ON」に設定された項目が表示されます。

また、設定を変更したときや調整をしたときに、設定内容・調整の経過状態・調整結果を知らせるメッセージを約3秒間表示させることができます。

■ 表示項目と表示位置

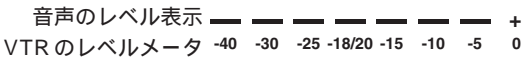
- ① エクステンダー表示
- ② シャッタースピード/モード表示
- ③ テープ残量表示
- ④ バッテリー電圧表示
- ⑤ フィルター表示
- ⑥ ホワイトバランスメモリー表示
- ⑦ ゲイン値表示
- ⑧ 音声レベル表示
- ⑨ 絞り値表示
- ⑩ カメラ警告/情報表示
- ⑪ セーフティーゾーンマーカー
- ⑫ センターマーカー
- ⑬ スーパーアイリス ON 表示
- ⑭ ズーム位置表示
- ⑮ TCG 表示
- ⑯ マスターゲイン設定表示
- ⑰ 色温度表示 PRE/A/B
- ⑱ バッテリーの種類
- ⑲ 全テープ長さ
- ⑳ プリセット色温度表示
- ㉑ VTR 警告/情報表示
- ㉒ インターバル記録モード表示(点滅)
- ㉓ AUDIO CH1/CH2 入力表示



< ノート >

SUPERV モード時、シャッタースピード表示位置②に「SUP.V」と表示されます。

ビューファインダー画面の状態表示

- ①エクステンダー表示
レンズエクステンダーが使用されているときに表示します。
- ②シャッタースピード/モード表示
シャッタースピードやシャッターモードの設定を表示します。
 - OFF (表示無し) :
シャッター未使用
 - 1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000 :
標準モードでのシャッタースピード (秒)
 - 1/30.3 ~ 1/250.2 (SYNCHRO SCAN) :
シンクロスキャンモードの選択
 - SUP.V :
高垂直解像度 (SUPER V) モードの選択
- ③テープ残量表示
記録中、VTRのテープ残量 (分) を表示します。テープ残量が2分以下になると、数値が点滅しなくなります。
- ④バッテリー電圧表示
使用中のバッテリー電圧 (V) が表示されます。デジタルバッテリーの場合は、%で表示されます。
- ⑤フィルター表示
選択されているフィルターの種類を表示します。
- ⑥ホワイトバランスメモリー表示
選択されているホワイトバランスの自動調整メモリーを表示します。
 - A : WHITE BALスイッチが「A」に設定されています。
 - B : WHITE BALスイッチが「B」に設定されています。
 - P : WHITE BALスイッチが「PRST」に設定されています。
- ⑦ゲイン値表示
GAINスイッチによる映像アンプのゲイン設定値 (dB) を表示します。
- ⑧音声レベル表示
音声レベルを表示します。(音声CH1/CH2それぞれの表示が可能です。)
正弦波入力時、VTRのレベルメータの表示と、おおよそ次のように対応します。
音声のレベル表示 
VTRのレベルメータ
- ⑨絞り値表示
絞り設定 (Fナンバー) の概略値を表示します。
<ノート>
絞り値の表示機能を持ったレンズを使用している場合に表示されます。
- ⑩カメラ警告/情報表示
ブラックバランス、ホワイトバランス、オートニール機能、スーパーアイリス、スーパーゲインなどの警告表示や、その他のワーニングを表示します。
- ⑪セーフティゾーンマーカー
ビューファインダー画面の面積80%または90% (出荷時の設定) の範囲を示します。
表示範囲の割合は、設定メニューのVF DISPLAY画面で設定します。
詳しくは、「マーカー表示の設定」(50ページ)をお読みください。
- ⑫センターマーカー
ビューファインダー画面中心を示します。
設定メニューのVF DISPLAY画面で表示のON/OFFを設定します。
- ⑬スーパーアイリスON表示
スーパーアイリスがONのとき「S」が表示されません。
- ⑭ズーム位置表示
ズームレンズのWIDE端からTEL端を0~99の数値で表示します。
- ⑮TCG表示
タイムコードジェネレータ値を表示します。
- ⑯マスターゲイン設定表示
MODE CHECKボタンを押すと、現在設定されているGAIN L/M/Hの値を表示します。
- ⑰色温度表示 PRE/A/B
ホワイトバランスメモリーAまたはBで、AWBを実行したときの色温度を表示します。
- ⑱バッテリーの種類
選択されているバッテリーの種類を表示します。
- ⑲全テープ長さ
カセットテープのテープ総量を表示します。
- ⑳プリセット色温度表示
ホワイトバランスのプリセット値を表示します。
- ㉑VTR警告/情報表示
SLACK、REC WARNING、HUMID、SERVO、RFなどの警告表示や、その他のワーニングを表示します。
- ㉒インターバル記録モード表示
- ㉓AUDIO CH1/CH2入力表示
音声チャンネル1/2に記録する入力信号を表示します。

ビューファインダー画面の状態表示

表示項目の選択

ビューファインダー画面に表示させる項目は、CAM MENUの「VF INDICATOR」画面とVTR MENUの「VTR VF INDICATOR」画面で、項目別に表示のON/OFFを選択します。

選択できる項目

CAM MENUの「VF INDICATOR」画面

- エクステンダー表示 (EXTENDER)
- シャッタースピード/モード表示 (SHUTTER)
- フィルター表示 (FILTER)
- ホワイトバランスメモリー表示 (WHITE)
- ゲイン値表示 (GAIN)
- 絞り値とスーパーアイリス ON 表示 (IRIS)
- カメラID表示 (CAMERA ID)
- ズームポジション表示 (ZOOM LVL)
- 色温度表示 (COLOR TEMP)

< ノート >

カメラIDは、OUTPUT/AUTO KNEEスイッチの設定により、カラーバーを記録するときに表示されます。

詳しくは、「カメラIDの設定」(50ページ)をお読みください。

```
→< VF INDICATOR >
EXTENDER      :ON
SHUTTER       :ON
FILTER        :ON
WHITE         :ON
GAIN          :ON
IRIS          :S+IRIS
CAMERA ID     :ON
ZOOM LVL     :ON
COLOR TEMP    :ON
```

VTR MENU「VTR VF INDICATOR」画面

- テープ残量表示 (TAPE)
- バッテリー残量表示 (BATTERY)
- レベルメータ表示 (LEVEL METER)
- タイムコード表示 (TC)
- VTR警告表示 (VTR WARNING)
- SAVEランプ表示 (SAVE LED)

```
→< VTR VF INDICATOR >
TAPE(IND)     :ON
BATTERY(IND)  :ON
LEVEL METER(IND) :CH1
TC(IND)       :OFF
VTR WARNING(IND) :NORMAL
SAVE LED(IND) :SAVE&TAPE
```

表示項目を選択する

1 メニュー操作(76~78ページ)を行い、「VF INDICATOR」の画面を開きます。

```
→< VF INDICATOR >
EXTENDER      :ON
SHUTTER       :ON
FILTER        :ON
WHITE         :ON
GAIN          :ON
IRIS          :S+IRIS
CAMERA ID     :ON
ZOOM LVL     :ON
COLOR TEMP    :ON
```

```
→< VTR VF INDICATOR >
TAPE(IND)     :ON
BATTERY(IND)  :ON
LEVEL METER(IND) :CH1
TC(IND)       :OFF
VTR WARNING(IND) :NORMAL
SAVE LED(IND) :SAVE&TAPE
```

2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印(カーソル)を希望する項目に移動します。

3 選択した項目について、JOGダイヤルボタンを押して、ビューファインダー画面への表示を設定します。

JOGダイヤルボタンを回して、表示(ON)/非表示(OFF)を選択し、JOGダイヤルボタンを押して確定します。

4 他の項目についても点灯/消灯を設定するときは、再度2・3の操作を行います。

5 メニュー操作を終了するときは、MENUボタンを押します。

設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

ビューファインダー画面の状態表示

表示モードと設定変更メッセージ

設定変更の内容や調整結果を知らせるメッセージは、表示される項目を一部に限定したり全く表示させなくすることができます。

設定変更 / 調整結果メッセージと表示モード

メッセージが表示される状況	メッセージ	表示モードの設定		
		1	2	3
フィルターの選択を変更したとき	フィルター : n (n=1, 2, 3, 4) m (m=A, B, C, D)	×	×	
ゲインの設定を変更したとき	GAIN : n dB (n= - 3, 0, 3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24, 27, 30)	×	×	
WHITE BAL スイッチの設定を変更したとき	WHITE : n (n=ACH, BCH, PRESET)	×	×	
OUTPUT/AUTO KNEE スイッチを「AUTO KNEE」または、「OFF」に設定したとき <ノート> 本機の電源を入れた直後にも約 3 秒間表示されます。	AUTO KNEE : ON (または OFF)	×		
シャッタースピード/モードの設定を変更したとき	SS : 1/100 (または 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, S.SCAN, SUPER V)	×		
ホワイトバランスを調整したとき (AWB)	例) AWB: OK 詳しくは、「ホワイトバランスの調整」(53 ~ 56 ページ)をお読みください。	×		
ブラックバランスを調整したとき (AWB)	例) ABB: OK 詳しくは、「ブラックバランスの調整」(57 ページ)をお読みください。	×		

: メッセージが表示されます。
× : メッセージが表示されません。

< ノート >

メッセージの表示は、他のメニュー設定の状態にもよります。

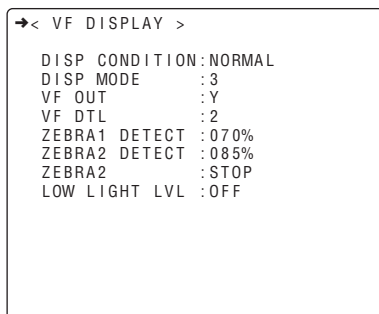
例えば、フィルターの選択を「1 (表示しない)」に設定していても、VF INDICATOR 画面で FILTER を「ON」に設定すると表示されます。

ビューファインダー画面の状態表示

表示モードを切り替える

表示モードの設定は、「VF DISPLAY」画面で切り替えます。

- 1 メニュー操作（76～78ページ）を行い、「VF DISPLAY」の画面を開きます。



- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「DISP MODE」の項目に移動します。

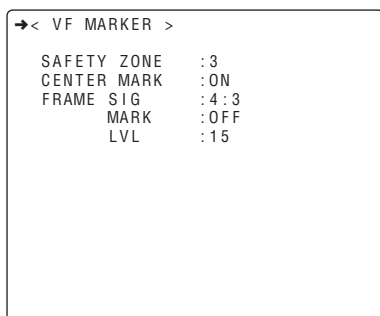
- 3 JOGダイヤルボタンを押して、希望する表示モードを設定します。
JOGダイヤルボタンを回して、表示内容を選択し、JOGダイヤルボタンを押して確定します。

- 4 メニュー操作を終了するときには、MENUボタンを押します。
設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

マーカー表示の設定

センターマーカーとセーフティーゾーンマーカーの表示は、「VF MARKER」画面で設定します。

- 1 メニュー操作（76～78ページ）を行い、「VF MARKER」の画面を開きます。



- 2 「VF DISPLAY」画面と同様の操作を行い、各項目を設定します。

カメラIDの設定

カメラIDの設定は、「CAMERA ID」画面で設定します。

10文字以内の英数字や記号、スペースが使用できます。

< ノート >

設定メニューの表示中は、カラーバー信号を出力してもカメラIDは表示されません。

- 1 メニュー操作（76～78ページ）を行い、「CAMERA ID」の画面を開きます。



- 2 JOGダイヤルボタンを回して、IDの項目に矢印（カーソル）を移動します。



- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）が点滅して入力モードになります。

- 4 設定したい文字が現れるまで、JOGダイヤルボタンを回します。

JOGダイヤルボタンを回すと、文字表示が

スペース：



アルファベット：A～Z



数字：0～9



記号：'、>、<、/、

の順に切り替わります。

- 5 JOGダイヤルボタンを押して、文字を確定します。

- 6 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、3～5の操作を繰り返して、文字を設定します。

- 7 メニュー操作を終了するときには、MENUボタンを押します。

設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

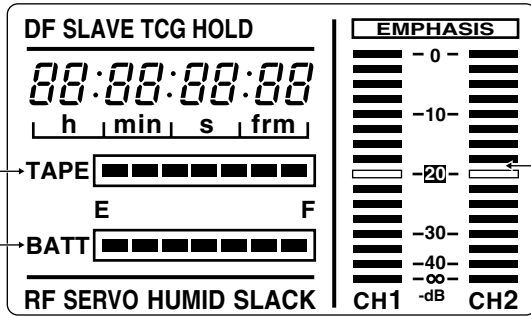
< ノート >

VF INDICATOR画面の「CAMERA ID」をONに設定すると、カメラIDがカラーバー信号と同時に記録されます。

ディスプレイ表示

バッテリー残量と音声レベルの表示

テープ残量表示
 テープ残量が 21 分以上の場合は、“F” の位置までセグメントが 7 個点灯します。
 テープ残量が 21 分未満より、3 分ごとにセグメントが 1 個ずつ消えていきます。

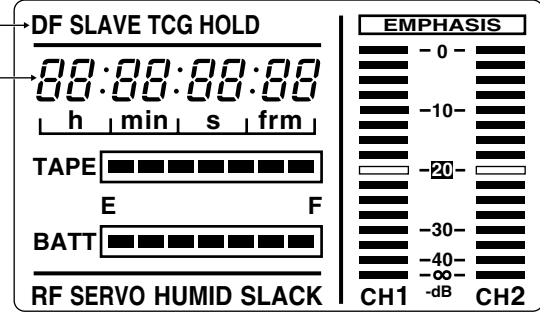


バッテリー残量表示
 デジタル表示 (% 表示) のバッテリーを使用した場合、バッテリー残量が 70 % 以上のときに “F” の位置までセグメントが 7 個点灯します。
 バッテリー残量が 70 % 未満より、10% 減る毎にセグメントが 1 個ずつ消えていきます。

音声チャンネルレベルメータ

タイムコードに関する表示

タイムコード、CTL、実時刻のときに点灯
 DF: ドロップフレームモード
 SLAVE: タイムコードの外部ロック
 HOLD: タイムコードジェネレータがホールド状態 (HOLD ボタンが押されたとき)



タイムカウンター表示
 タイムコード、CTL、ユーザーズビット、実時刻を表示。表示される項目とスイッチの関係については、次項を参照してください。

タイムコード関連スイッチの設定と表示項目

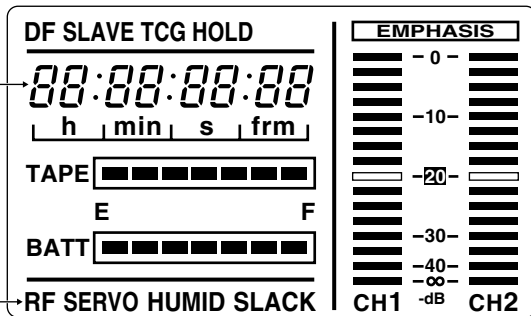
TCG スイッチの位置	DISPLAY スイッチの位置	表示項目
SET	TC または、CTL	タイムコード
	UB	ユーザーズビット
F-RUN または R-RUN	CTL	CTL
	TC	タイムコード
	UB	ユーザーズビット

< ノート >

DISPLAY スイッチが UB に設定されているときに HOLD ボタンを押すと、押している間カウンタ表示部の HOLD が点滅し、ビデオ AUX エリアに記録されている VITC のユーザーズビット情報を、カウンタ表示部に表示します。

エラーや警告に関する表示

エラーコード表示



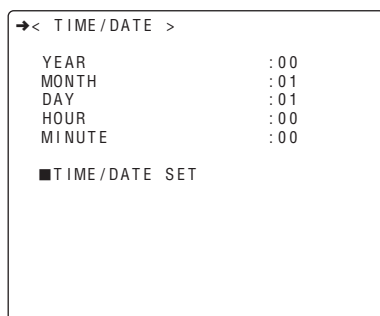
警告表示
 RF: ビデオヘッドの目詰まり
 SERVO: サーボの乱れ
 HUMID: ヘッドドラムの結露発生
 SLACK: テープの巻き取り異常

詳しくは「警告システム」(109、110 ページ)をお読みください。

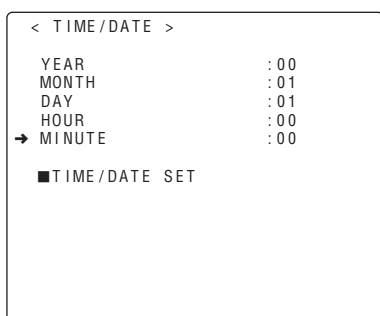
日付／時刻の調整

設定メニューによる調整とセットアップ

1 メニュー操作（76～78ページ）を行い、「TIME/DATE」の画面を開きます。

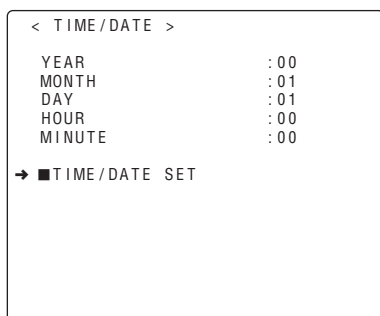


2 JOGダイヤルボタンを回して変更する項目を選択し、JOGダイヤルボタンを押します。



3 JOGダイヤルボタンを回して設定値を変更し、JOGダイヤルボタンを押して設定値を確定します。

4 設定が終了すると、JOGダイヤルボタンを押して■TIME/DATE SETを選び、JOGダイヤルボタンを押します。



5 メニュー操作を終了するときは、MENUボタンを押します。

設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

< ノート >

秒設定は行えません。必ず0秒スタートになります。

ホワイトバランス/ブラックバランスの調整

ホワイトバランスの調整

ホワイトバランスとブラックバランスの調整はAWB（ホワイトバランス調整）▶ABB（ブラックバランス調整）▶AWBの順に行った方がより良い画像を得られます。

ブラックバランスは、通常、電源を再投入した場合でも調整し直す必要はありません。

ホワイトバランスは、照明条件が変わったときには必ず調整し直して下さい。

表示モードが「2」や「3」に設定されている場合、ブラックバランスやホワイトバランスの調整を始めるとビューファインダー画面に、調整経過や結果を知らせるメッセージが表示されます。メッセージを表示させたくないときは、表示モードを「1」にして下さい。

- 表示モードの設定については、「表示モードと設定変更メッセージ」(49ページ)をお読み下さい。

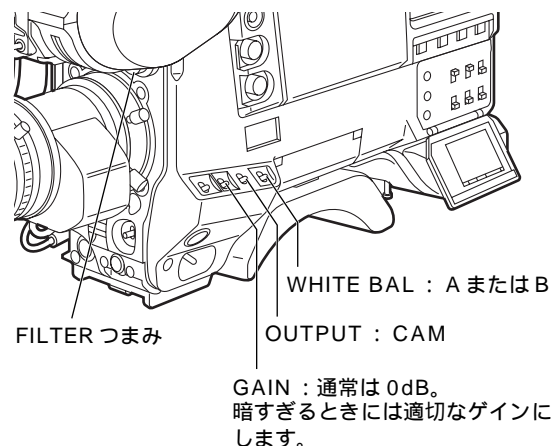
< ノート >

- CAM MENUの「LOW SETTING」「MID SETTING」「HIGH SETTING」画面のMASTER GAIN値を変更したときや、USERボタンを使用してスーパーゲインの設定を変更したときや、「CAMERA SETTING」画面でのGAMMA(ON/OFF)を切り替えたときは、必ずABBを再実行してください。
- 人工照明、特に蛍光灯や水銀灯などは、輝度が一定のように見えても、電源周波数に同期してR・G・B各色の強さが変化しています。特に電源周波数が50Hzの地域では、本機の垂直同期周波数(約60Hz)と照明の周波数(50Hz)が互いに干渉するため、色相が時間とともに変化する現象やフリッカーが生じ、正常にホワイトバランスをとることができません。

下記の表に示す設定でホワイトバランスをとることをおすすめします。

電源周波数	シャッター速度
50Hz	1/100
60Hz	OFF

1 図のようにスイッチを設定します。



GAINおよびWHITE BALスイッチの設定を変更すると、ビューファインダー画面の設定変更メッセージに表示部に、設定した位置を知らせるメッセージが表示されます。(ただし、表示モードが「3」に設定されているときに限ります。)

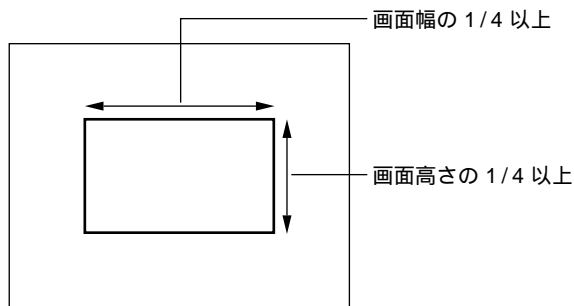
2 照明条件に合わせて、FILTERつまみの設定を切り替えます。

- FILTERつまみの設定例については「撮影・記録/再生機能部」のFILTERつまみ(19ページ)をお読みください。
- FILTERつまみの設定を変更すると、ビューファインダー画面の設定変更メッセージに表示部に、設定した位置を知らせるメッセージが表示されます。(ただし、表示モードが「3」に設定されているときに限ります。)

ホワイトバランス/ブラックバランスの調整

ホワイトバランスの調整

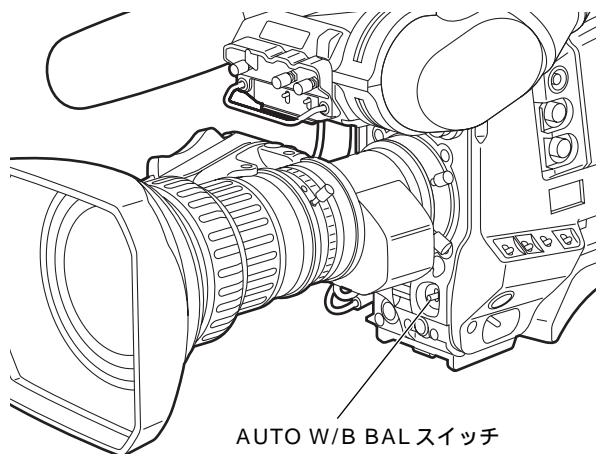
- 3** 被写体の照明光源と同じ条件のところにホワイトパターンを置き、ズームアップして画面に白を写します。
被写体近くの白いもの（白布、白壁）を代用することもできます。
必要な白の大きさは下図の通りです。



< ノート >
画面内に高輝度スポットを入れないようにしてください。

- 4** レンズの絞りを調整します。

- 5** AUTO W/B BAL スイッチを「AWB」側に倒し、スイッチを離します。
スイッチは中央に戻り、ホワイトバランスの自動調整が実行されます。



< ノート >
ホワイトバランスの自動調整を行っているとき（AWB ACTIVE）に、再度 AUTO W/B BAL スイッチを AWB 側に切り替えると、調整を中止します。
このときの調整値は、自動調整を行う前の値になりません。

- 6** 調整中、ビューファインダー画面には次のようなメッセージが表示されます（ただし、表示モードが「2」または「3」に設定されているとき）。

AWB ACTIVE

調整中のメッセージ

- 7** 数秒で調整が完了します。（図のようなメッセージが表示されます。）
調整値は、ステップ 1 で設定したメモリー（A または B）に自動的に記憶されます。

AWB A OK 3.2K

調整終了時のメッセージ

- 8** 被写体の色温度が、2500K よりも低い場合や 5600K よりも高い場合は、図のようなメッセージが表示されます。
矢印のうち、下向きの矢印（↓）は表示温度よりも低い状態を示し、上向きの矢印（↑）は表示色温度よりも高い状態を示します。

AWB A OK 2.5K ↓

2500K よりも低い場合

AWB A OK 5.6K ↓

5600K よりも高い場合

< ノート >
自動絞り機能付きズームレンズを使用した場合、絞りがハンチングを起こすことがあります。レンズについている絞りのゲインつまみ（IG、IS、S などと表示されている）を調整してください。
・詳しくは、レンズの取扱説明書をお読みください。

ハンチング：
オートアイリスの応答を繰り返し、映像が暗くなったり明るくなったりします。

ホワイトバランス／ブラックバランスの調整

ホワイトバランスの調整

ホワイトバランスの自動調整ができていないとき

ビューファインダー画面にエラーメッセージを表示します。(表示モードが「2」または「3」に設定されているとき)

ホワイトバランスに調整に関するメッセージ

エラーメッセージ	意味	処置
COLOR TEMP. HIGH	色温度が高すぎる。	適切なフィルターを選択する。
COLOR TEMP. LOW	色温度が低すぎる。	適切なフィルターを選択する。
LOW LIGHT	光量が不足している。	光量を多くする。または、ゲインを上げる。
LEVEL OVER	光量が多すぎる。	光量を少なくする。または、ゲインを下げる。
UNSTABLE CONDITION	撮影条件が不安定です。(蛍光灯下、カメラ姿勢など)	フリッカーであればシャッターを入れ、安定した条件にする。

上記のエラーメッセージが表示された場合、処置を行ってから再度ホワイトバランスの調整を試みてください。

繰り返し試みてもエラーメッセージが表示される場合は、販売店にご相談ください。

<ノート>

AWBが調整できずに、NG表示になるときもまれにあります。この場合は、再度AWBを実行してください。

ホワイトバランスを調整する時間がないとき

WHITE BALスイッチを「PRST」にします。

FILTERつまみ(外側)の設定位置に応じて、フィルターに対するホワイトバランスがとれます。

ホワイトバランスのメモリーについて

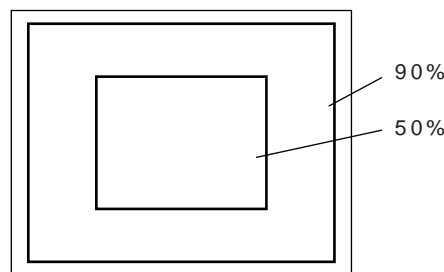
ホワイトバランスのメモリーはA、Bの2系統があります。

CAM MENUの「CAMERA SW MODE」画面でFILTER INHの設定が「ON」の場合(初期設定) A、B各系統のメモリー数はそれぞれ1個に限定されています。この場合、メモリーの内容はフィルターには連動しません。

FILTER INHを「OFF」にすると、WHITE BALスイッチの設定(AまたはB)に対応するメモリーに、各フィルターごとの調整値を自動的に記憶させることもできます。本機は4つのフィルターを内蔵していますので、合計8個(4×2)の調整値を記憶します。

ホワイトバランスの検出領域について

CAM MENUの「OPTION」画面でAWB AREAの設定でホワイトバランスの検出領域を「90%」と「50%」に切り替えることができます。



ホワイトバランス/ブラックバランスの調整

ホワイトバランスの調整

FILTER INH を「ON」にした場合

AWB を調整すると、その時の色温度とフィルター番号が表示されます。

次にフィルターを回すと色温度とフィルターの番号が表示されます。

この時、色温度表示している近傍の色温度で被写体が照明されていれば、ホワイトバランスはほぼ合っています。

(表示例)

AWB A 0K 3.2K

照明色温度 3200K の被写体フィルター (B) で AWB を調整します。



フィルター (C) に変更します。



4.3K (B)

4.3K (B) と表示されます。

(1) : フィルターで AWB を調整したことを示します。



この状態で被写体の色温度が 4.3K 近傍であれば、ホワイトバランスは合っているので使用することができます。



フィルター (B) に戻します。



3.2K (B)

3.2K (B) と表示され、初めに AWB を調整したときの状態を示します。

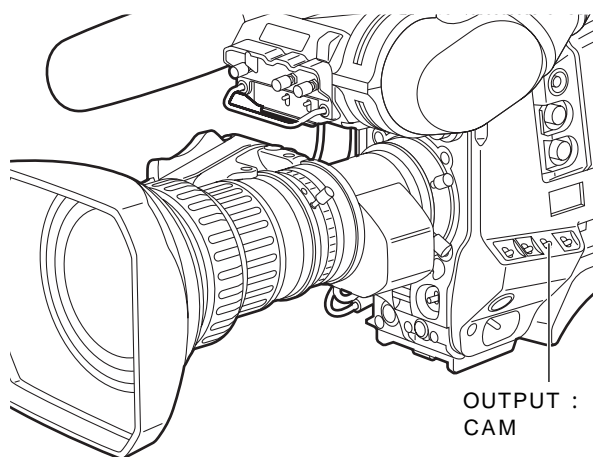
ホワイトバランス/ブラックバランスの調整

ブラックバランスの調整

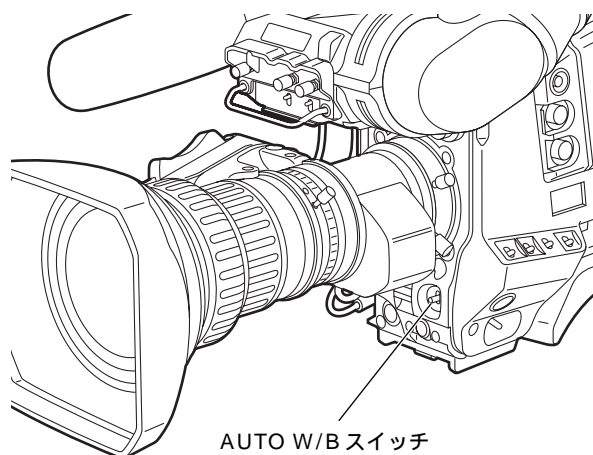
ブラックバランスは、次のような場合に調整が必要です。

- 本機を初めて使用するとき
- 長時間使用しなかった後に使用するとき
- 周囲の温度が大幅に変化した状態で使用するとき
- ゲイン切り替え値を変更したとき
- USER ボタンを使用してスーパーゲインの設定をしたとき
- ガンマの ON/OFF を変更したとき

1 図のようにスイッチを設定します。



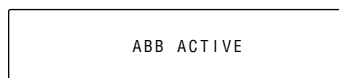
2 AUTO W/B BAL スイッチを「ABB」側に倒した後、離します。
スイッチは中央に戻り、調整が実施されます。



3 調整中、ビューファインダー画面には次のようなメッセージが表示されます（ただし、表示モードが「2」または「3」に設定されているとき）。

<ノート>

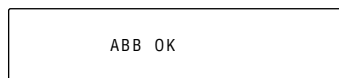
調整中はレンズ絞りが自動的に「CLOSE」になります。



調整中のメッセージ

4 数秒で調整が完了します。（図のようなメッセージが表示されます。）

調整値は自動的にメモリーに記憶されます。



調整終了時のメッセージ

<ノート>

- レンズコネクタが接続されていること、レンズ絞りが「CLOSE」になっていることを確認してください。
- ブラックバランス調整中、絞りは自動的に遮光状態になります。
- ブラックバランス調整中、ゲイン切り替え回路が自動的に切り替わります。
また、ビューファインダー画面上にフリッカーやノイズが現れることがありますが、故障ではありません。
- ABB OK でもブラックシェーディングが気になる場合は、CAM MAIN MENU 4の「BLACK SHADING」画面を開いて、ブラックシェーディング調整を実行してください。（97 ページを参照してください）
- スーパーゲインを「ON」にしているときは、ホワイトバランスメモリーのプリセット位置でブラックバランスが実行されます。
- ブラックバランスの自動調整を行っているとき（ABB ACTIVE）に、再度 AUTO W/B BAL スイッチを ABB 側に切り替えると、調整を中止します。このときの調整値は、自動調整を行う前の値になります。

電子シャッターの設定

シャッターモードについて

設定できるシャッターモードとシャッタースピード

モード	シャッタースピード	用途
標準	1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000 および 1/2000 (秒)	動きの速い被写体を鮮明に撮影したい場合
SYNCHRO SCAN	1/30.3 (秒) ~ 1/250.2 (秒) の範囲	モニター画面を、水平方向の縞模様が少なくなるように撮影したい場合

< ノート >

- 電子シャッターを、どのモードで使用してもシャッタースピードが速いほど、カメラの感度は低減します。
- 絞りが自動のときには、シャッタースピードが速くなるにつれ絞りが開き、焦点深度も浅くなります。
- SYNCHRO SCAN でシャッター速度を、1/30.3 秒 ~ 1/58.8 秒に設定して明るい被写体を撮影すると、画面上部に横帯状のノイズが発生することがあります。
横帯状ノイズの大きさは、撮影画面の明るさに比例します。
シャッター速度を 1/30.3 秒 ~ 1/58.8 秒に設定して撮影する場合は、ビューファインダーもしくは、モニター TV で十分ご確認のうえ、適切な光量となるようにレンズの絞りなどを調整してください。
- SYNCHRO SCAN を 1/30.3 (秒) ~ 1/58.8 (秒) に設定する場合と、SUPER V を ON に設定する場合は、CAM MAIN MENU 4 の OPTION 画面で「SLOW SHUTTER」項目と「SUPER V」項目を ON にしてください。

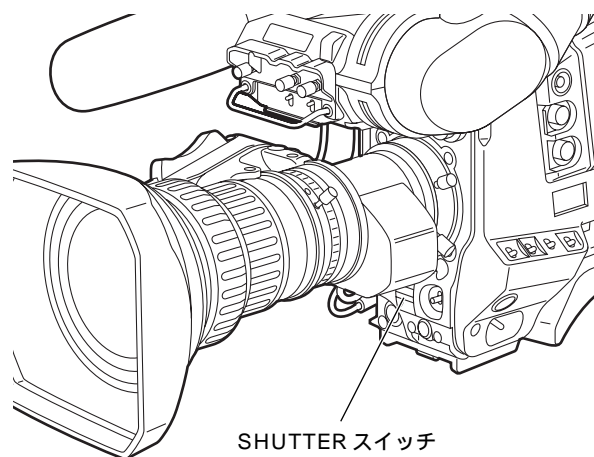
シャッターモード/スピードの設定

- シャッタースピードおよび標準モードにおけるシャッタースピードは、SHUTTER スイッチを切り替えて設定します。
- SYNCHRO SCAN モードにおけるシャッタースピードは、SYNCHRO (+、-) ボタンで簡単に変更することができます。
- CAM MENU の「SHUTTER SPEED」画面でシャッタースピードの設定範囲を必要な範囲に制限したり、特殊操作モード (SYNCHRO SCAN および SUPER V) を使用するかどうかを選択しておくことができます。

1 「表示モードを切り替える」(50 ページ) の操作にしたがい、CAM MENU の「CAM VF DISPLAY」画面で DISP MODE を「2」または「3」に設定します。

2 SHUTTER スイッチを、「ON」から「SEL」側に押しします。
ビューファインダー画面の設定変更メッセージ表示部に、シャッターの現在の設定が表示されます。

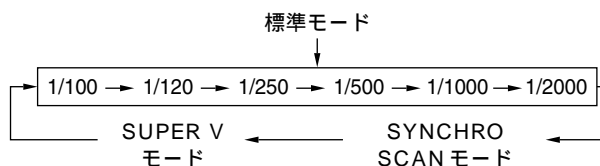
例：「1/120」、「1/61.2」など。



3 もう一度 SHUTTER スイッチを「SEL」側に押し、希望のモードまたはスピードが表示されるまで繰り返します。
全てのモードとスピードが表示される場合は、以下の順序で表示が切り替わります。
あらかじめ必要なシャッタースピードとモードを指定している場合は、指定したスピードまたは、モードだけが表示されます。

< ノート >

出荷時には、SUPER V モードは指定されていないので表示されません。



電子シャッターの設定

シャッタースピード/モードの選択範囲を変える

シャッタースピードの選択範囲を制限したり、特殊動作モードを使用するかどうかを、CAM MENUの「SHUTTER SPEED」画面で選択できます。

- 1 メニュー操作（76～78ページ）を行い、「SHUTTER SPEED」の画面を開きます。

->< SHUTTER SPEED >	
SYNCHRO SCAN	: ON
SUPER V	: OFF
1/100	: ON
1/120	: ON
1/250	: ON
1/500	: ON
1/1000	: ON
1/2000	: ON

- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を希望する項目に移動します。

- 3 JOGダイヤルボタンを押して、使用する項目を設定します。
JOGダイヤルボタンを回して、ON/OFFを選択し、JOGダイヤルボタンを押して確定します。

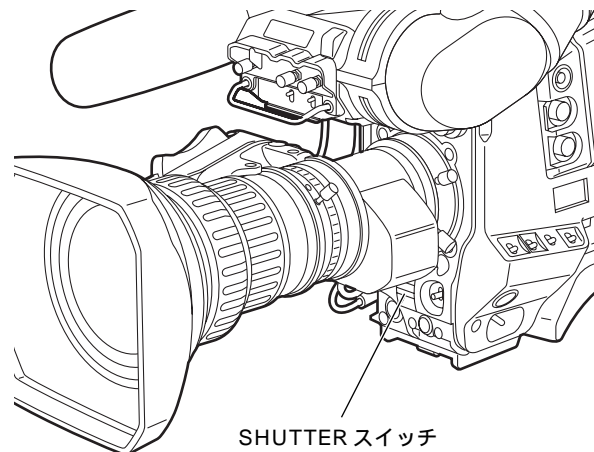
- 4 メニュー操作を終了するときは、MENUボタンを押します。
設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

< ノート >

- 本機をエクステンションコントロールユニット AJ-EC3（別売品）から操作する場合は、本機で SHUTTER SPEED 画面を操作しても、実際のシャッタースピードは AJ-EC3 のスイッチが優先されます。
- エンジニアモードと表示画面の選択については、「メニュー操作」（76～78ページ）をお読みください。

シンクロスキャンモードの設定

- 1 SHUTTER スイッチを、「ON」から「SEL」側に押し、SYNCHRO SCAN に設定します。



- 2 SYNCHRO SCAN モード時は、SYNCHRO（+、-）ボタンを押して、30.3Hz～250.2Hz の範囲内で連続的に切り替えることができます。

音声レベルの調整

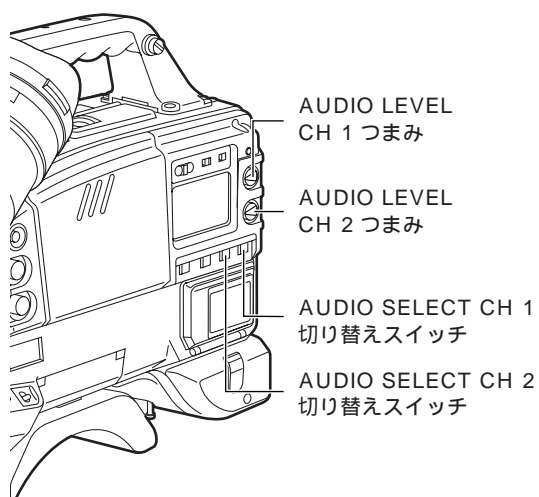
AUTO SELECT CH 1/CH 2 切り替えスイッチを「AUTO」にすると、音声CH 1/CH 2の入力レベルは自動的に調整されます。

音声チャンネル1, 2のレベルを手動で調整する場合は、次の操作を行います。

音声レベルの手動調整

1 AUDIO SELECT CH 1/CH 2 切り替えスイッチを「MAN」にします。

2 音声入力時のレベルメーターが、最大時でも0dBuまで表示しないように、AUDIO LEVEL CH 1/CH 2 つまみを調整します。



リミッターについて

音声レベルを手動調整した場合、過大入力に対してリミッター回路が動作します。

VTR MENUの「MIC/AUDIO」画面でリミッター回路のON/OFFが行えます。

(出荷時の設定はOFFです)

タイムデータの設定

ユーザーズビットとタイムコードの両方を使う場合は、ユーザーズビットを先に設定します。タイムコードを先に設定すると、ユーザーズビットを設定している間にタイムコードジェネレータが停止するため、設定したタイムコードがずれてしまいます。タイムコードの設定可能範囲は、00:00:00:00 ~ 23:59:59:29 です。

ユーザーズビットの設定

ユーザーズビットを設定することにより、16進数8桁までのメモ（日付、時刻）などの情報をサブコードトラックに記録できます。

- 1 DISPLAY スイッチを「UB」にします。
- 2 TCG スイッチを「SET」にします。
- 3 「SHIFT ボタン」「+ ボタン」「- ボタン」でユーザーズビットを設定します。
SHIFT ボタン：
設定したい桁を点滅させるときに使用します。
押すたびに、点滅する桁が右に移ります。
+ ボタン：
点滅している桁の数値を1ずつ大きくします。
- ボタン：
点滅している桁の数値を1ずつ小さくします。

16進数のA～Fは次のように表示されます。

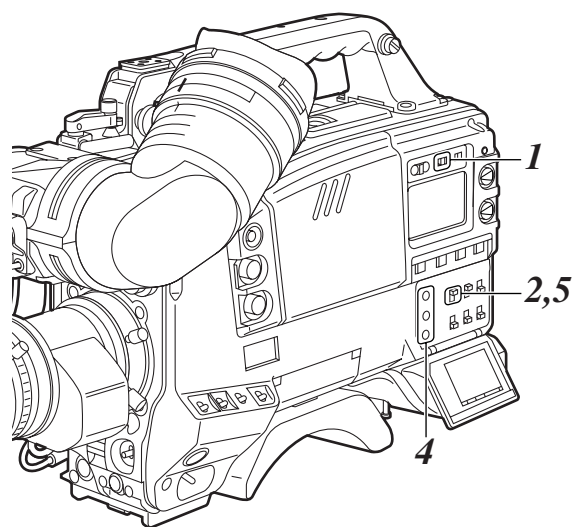
16進数	A	B	C	D	E	F
表示	<i>A</i>	<i>b</i>	<i>c</i>	<i>d</i>	<i>E</i>	<i>F</i>

- 4 TCG スイッチを「F-RUN」または「R-RUN」にします。
- 5 VTR MENU の「TC/UB」画面で UB MODE の項目を選択します

ユーザーズビットのメモリー機能について
ユーザーズビットの設定内容（実時刻以外）は、自動的にメモリーされ、電源を切った後も保持されます。

< ノート >

- UB MODE の項目で「DATE」を選択したときは、TIME/DATE 画面の年/月/日/時のリアルタイム動作に従います。
- UB MODE の項目で「TIME」を選択したときは、TIME/DATE 画面の時/分/秒のリアルタイム動作に従います。



タイムデータの設定

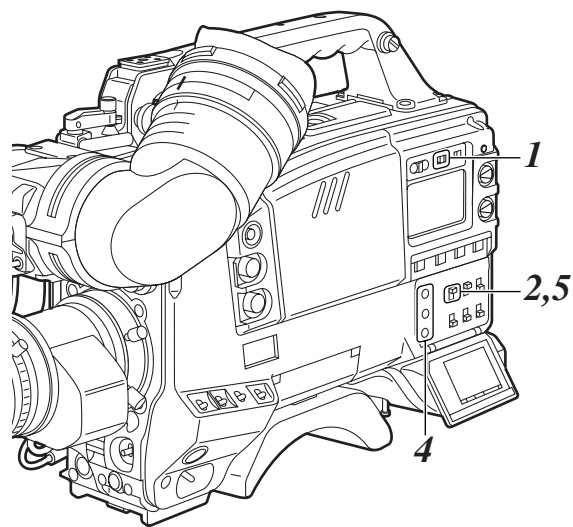
タイムコードの設定

- 1 DISPLAY スイッチを「TC」にします。
- 2 TCG スイッチを「SET」にします。
- 3 VTR MENU の「TC/UB」画面で TC MODE を「DF」または、「NDF」に切り替えます。
ドロップフレームモードでタイムコード歩進させるときは「DF」に切り替え、ノンドロップフレームモードでタイムコードを歩進させるときは「NDF」に切り替えます。
- 4 「SHIFT ボタン」「+ ボタン」「- ボタン」でタイムコードを設定します。
SHIFT ボタン：
設定したい桁を点滅させるときに使用します。
押すたびに、点滅する桁が右に移ります。
+ ボタン：
点滅している桁の数値を 1 ずつ大きくします。
- ボタン：
点滅している桁の数値を 1 ずつ小さくします。
- 5 TCG スイッチを切り替えます。
タイムコードをフリーランで歩進させるときは「F-RUN」に切り替え、レックランで歩進させるときは「R-RUN」に切り替えます。

バッテリー交換時のタイムコードについて
バッテリー交換時にもバックアップ機構が働いて、タイムコードジェネレータは長時間（約 1 年間）動作を続けます。

< ノート >

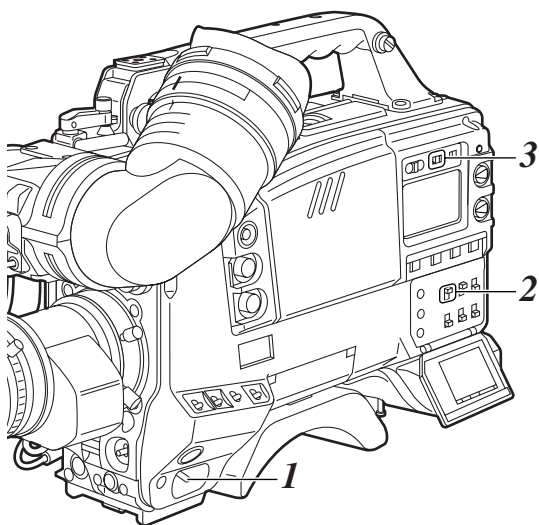
POWER スイッチを ON → OFF → ON と切り替えた場合、タイムコードのバックアップ精度は約 ± 2 フレームです。



タイムデータの設定

タイムコードを外部ロックさせる

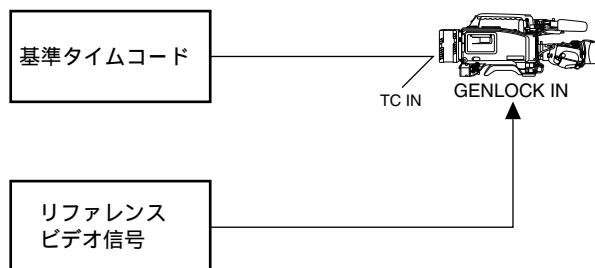
- 1 POWER スイッチを「ON」にします。
- 2 TCG スイッチを「F-RUN」にします。
- 3 DISPLAY スイッチを「TC」にします。
- 4 タイムコードの規格を満たした位相関係にある基準タイムコードとリファレンスビデオ信号を、TC IN 端子と GENLOCK IN 端子へそれぞれ供給します。



外部ロックのための接続例

VTR 部のタイムコードジェネレータを、外部のジェネレータにロックさせることができます。

外部の信号にロックさせる場合



これで内蔵タイムコードジェネレータは、基準タイムコードにロックします。

ロックしてから約 10 秒経過した後は、外部からの基準タイムコードの接続を外しても、外部ロック状態は保たれます。ただし、記録 (REC) 中に接続したり外したりすると、サーボロックが乱れます。

< ノート >

外部ロックの操作をすると、タイムコードは瞬時に外部のタイムコードにロックし、外部コードの値と同じ値がカウンター表示部に出ます。

シンクジェネレータが安定するまでの数秒間は、記録モードにしないでください。

外部ロック時のユーザズビットの設定について
タイムコードの外部ロックでは、タイムデータのみが外部からのタイムコードのタイムデータにロックされます。

従って、ユーザズビットは、各機ごとに個別に設定することができます。

ユーザズビットも、外部からのタイムコードのユーザズビットにロックさせることができます。

詳しくは販売店にご相談ください。

外部ロックを解除するには

外部タイムコードの供給を止めてから、TCG スイッチを「R-RUN」に設定します。

外部ロック中に、電源をバッテリーから外部電源に切り替えるとき

タイムコードジェネレータの電源の連続性を保つため、DC IN 端子に外部電源をつないでから、バッテリーパックを抜いてください。バッテリーパックを先に抜いたときは、タイムコードの外部ロックの連続性は保証されません。

外部ロック中のカメラ部の外部同期について

外部ロック中、カメラ部は GEN LOCK IN 端子に入力されるリファレンスビデオ信号によりゲンロックがかかります。

ユーザーデータの使い方

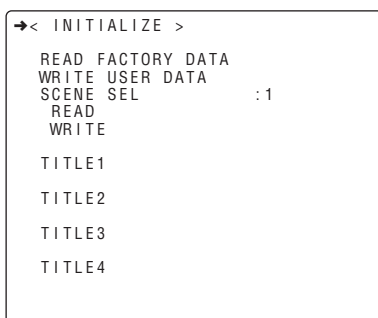
カメラのメモリーのユーザーエリアに、設定メニューの内容を記憶させ、読み出すことができます。このデータを使えば、適切なセットアップ状態を素早く再現します。

ユーザーデータの操作

カメラのメモリーのユーザーエリアに、設定メニューの内容を記憶させたり、また記憶させたデータを読み出す操作はメニューを用いて実行します。

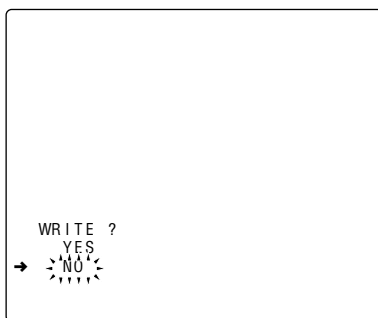
ユーザーデータの記憶

1 メニュー操作（76～78ページ）を行い、CAM MAIN MENU 4の「INITIALIZE」の画面を開きます。



2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「WRITE USER DATA」の項目に移動します。

3 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。

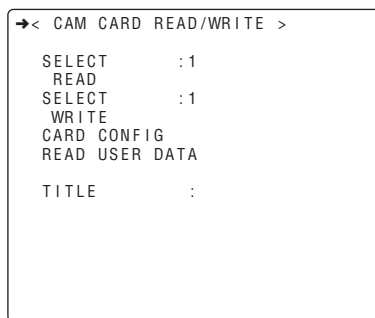


4 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。設定したデータがカメラのメモリーのユーザーエリアに記憶されます。

5 記憶後、MENUボタンを2度押します。設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

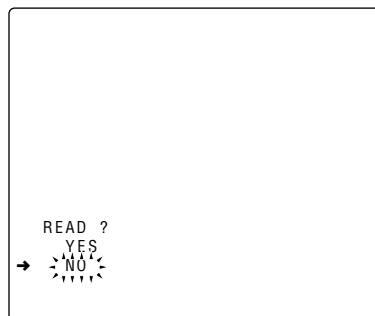
ユーザーデータの読み出し

1 メニュー操作（76～78ページ）を行い、CAM MAIN MENU3の「CAM CARD READ/WRITE」の画面を開きます。



2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「READ USER DATA」の項目に移動します。

3 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。



4 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。カメラのメモリーのユーザーエリアに記憶されたデータが読み出され、設定が完了します。

5 MENUボタンを2度押します。設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

セットアップカードの操作

セットアップメモリーカード(別売品)を使用すると、設定メニューの内容を記憶させることができます。このデータを使えば、適切なセットアップ状態を素早く再現します。

- ・セットアップカードとしてマルチメディアカードが使用できます。

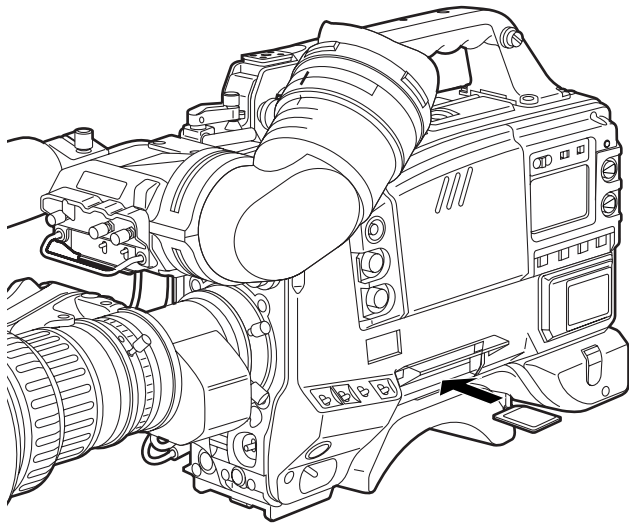
セットアップカードの入れかた

ロゴのある面を手前にして、セットアップカード挿入口にセットアップカードを差し込み、ふたを閉めます。

< ノート >

ロゴ面を手前にし、文字の天地が正しいことを確認して、カードを挿入してください。

挿入の際、カードの向きを確認してください。入りにくい時は、カードが裏向きまたは、カードの上下が逆になっている可能性があります。無理に押し込まず、カードの裏表および上下を確認して入れ直してください。

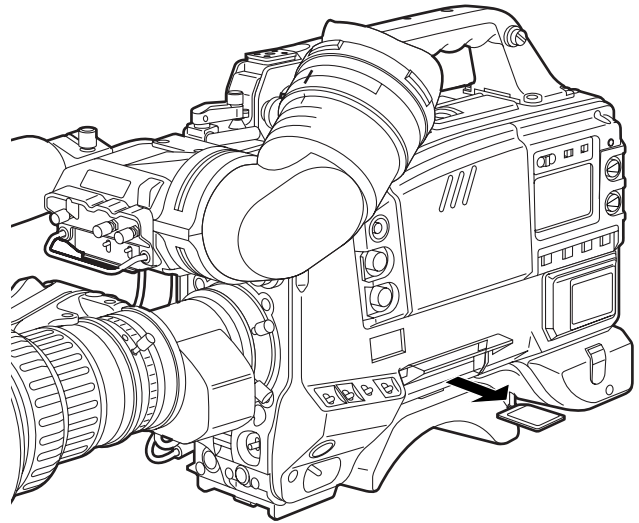


セットアップカードの取り出しかた

ふたの下端を持ち上げてふたを開け、セットアップカードを取り出します。

< ノート >

セットアップカード先端の端子に直接触れないように注意してください



使用时、保管時は以下の点にご注意ください。

- 高温・多湿を避ける。
- 水滴を付けない。
- 帯電を避ける。

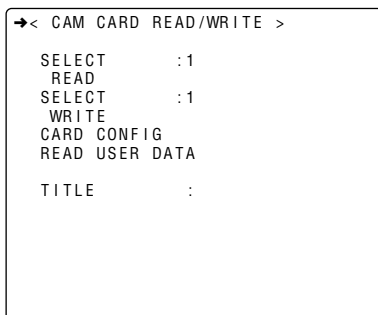
セットアップカードは、本機に挿入してふたを閉めた状態で保存してください。

セットアップカードの操作

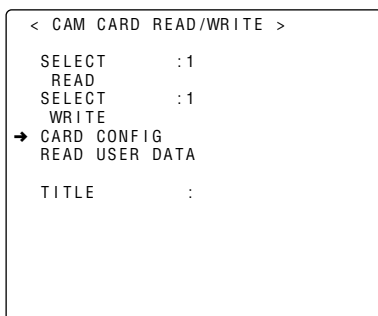
セットアップカードに設定データを記憶させたり、また記憶させたデータを読み出す操作は、CAM MAIN MENU 3の「CAM CARD READ/WRITE」画面で行います。

セットアップカードのフォーマット

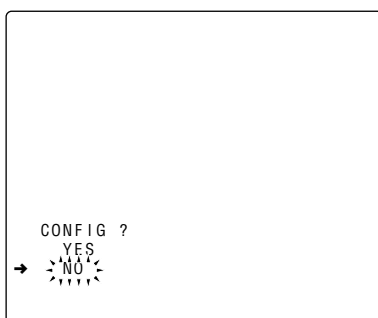
1 メニュー操作(76 ~ 78 ページ)を行い、「CAM CARD READ/WRITE」の画面を開きます。



2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印(カーソル)をCARD CONFIGの項目に移動します。



3 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。



4 セットアップカードのフォーマットを行う場合は、JOGダイヤルボタンを回して矢印(カーソル)をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。セットアップカードのフォーマットが終了すると、次のようなメッセージが表示されます。

<ノート>

フォーマットすると、その時の設定状態も同時にメモリーされます。



JOGダイヤルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、フォーマットは実行されません。

エラーメッセージ	対策
CONFIG NG NO CARD (セットアップカードが挿入されていません。)	カードを挿入します。
CONFIG NG ERROR (フォーマットができません。)	カードの不良が考えられます。 カードを交換します。

5 メニュー操作を終了するときは、MENUボタンを押します。

設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

セットアップカードの操作

設定したデータをカードに書き込む

1 メニュー操作 (76 ~ 78 ページ) を行い、「CAM CARD READ/WRITE」の画面を開きます。

```
→< CAM CARD READ/WRITE >
SELECT      :1
READ
SELECT      :1
WRITE
CARD CONFIG
READ USER DATA
TITLE      :
```

ファイル No. を選択する

2 JOG ダイアルボタンを回して、矢印 (カーソル) を WRITE の次の SELECT 項目に移動し、JOG ダイアルボタンを押します。

```
< CAM CARD READ/WRITE >
SELECT      :1
READ
→ SELECT    11
WRITE
CARD CONFIG
READ USER DATA
TITLE      :
```

3 JOG ダイアルボタンを回して、1 ~ 8 までの任意の番号を選択し、JOG ダイアルボタンを押します。

選択したファイルにタイトルを付ける

4 JOG ダイアルボタンを回して、矢印 (カーソル) を TITLE の項目に移動します。

```
< CAM CARD READ/WRITE >
SELECT      :1
READ
SELECT      :1
WRITE
CARD CONFIG
READ USER DATA
TITLE      : ↓
```

5 JOG ダイアルボタンを押すと、矢印 (カーソル) が点滅して入力モードになります。

```
< CAM CARD READ/WRITE >
SELECT      :1
READ
SELECT      :1
WRITE
CARD CONFIG
READ USER DATA
TITLE      : 11
```

6 設定したい文字が現れるまで、JOG ダイアルボタンを回します。

JOG ダイアルボタンを回すと、文字表示が

スペース :



アルファベット : A ~ Z



数字 : 0 ~ 9



記号 : '、>、<、/、
の順に切り替わります。

7 JOG ダイアルボタンを押して、文字を確定します。

8 JOG ダイアルボタンを回して、矢印 (カーソル) を次の位置 (右) に移動し、5 ~ 7 の操作を繰り返して、文字を設定します。(8 文字以内)

セットアップカードの操作

選択したファイルにタイトルを付ける

9 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をWRITEの項目に移動します。

```
< CAM CARD READ/WRITE >
SELECT      :1
READ
SELECT      :1
→ WRITE
CARD CONFIG
READ USER DATA
TITLE       :
```

JOGダイヤルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、データを書き込むことができません

エラーメッセージ	対策
WRITE NG NO CARD (セットアップカードが挿入されていません。)	カードを挿入します。
WRITE NG FORMAT ERROR (フォーマットが違います。)	本機以外の機器でフォーマットされたカードです。 カードを交換します。
WRITE NG ERROR (書き込みができません。)	カードの不良が考えられます。 カードを交換します。

10 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。

```
WRITE ?
YES
→ NO
TITLE :*****
```

12 メニュー操作を終了するときは、MENUボタンを押します。
設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

11 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。
データの書き込みが終了すると、次のようなメッセージが表示されます。

```
WRITE OK
TITLE :*****
```

VTR部のデータを書き込む場合は、「VTR CARD READ/WRITE」の画面を開き、9～11の操作を行います。

セットアップカードの操作

カードに記憶されているデータを 読み出す

1 メニュー操作（76～78ページ）を行い、「CAM CARD READ/WRITE」の画面を開きます。

```

->< CAM CARD READ/WRITE >
SELECT      :1
READ
SELECT      :1
WRITE
CARD CONFIG
READ USER DATA
TITLE      :
    
```

ファイルNo. を選択する

2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をREADの次のSELECT項目に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。

```

< CAM CARD READ/WRITE >
-> SELECT    ☼
READ
SELECT      :1
WRITE
CARD CONFIG
READ USER DATA
TITLE      :
    
```

3 JOGダイヤルボタンを回して、1～8までの任意の番号を選択し、JOGダイヤルボタンを押します。

選択したファイルのデータを読み出す

4 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をREADの項目に移動します。

```

< CAM CARD READ/WRITE >
SELECT      :1
-> READ
SELECT      :1
WRITE
CARD CONFIG
READ USER DATA
TITLE      :
    
```

5 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージが表示されます。

```

READ ?
YES
-> NO
TITLE      :*****
    
```

6 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。データの読み出しが終了すると、次のようなメッセージが表示されます。

```

READ OK
TITLE      :*****
    
```

VTR部のデータを読み出す場合は、「VTR CARD READ/WRITE」の画面を開き、4～6の操作を行います。

JOGダイヤルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、データを読み出すことができません。

エラーメッセージ	対策
READ NG NO CARD (セットアップカードが挿入されていません。)	カードを挿入します。
READ NG FORMAT ERROR (フォーマットが違います。)	本機以外の機器でフォーマットされたカードです。 カードを交換します。
READ NG NO FILE (ファイルがありません)	ファイルデータを書き込みます。
READ NG ERROR (読み出しができません。)	本機以外で書き込まれたデータは読み出せません。

7 メニュー操作を終了するときは、MENUボタンを押します。設定メニューが消え、カードから読み出されたデータに基づく設定状態が、ビューファインダー画面の上端と下端に表示されます。

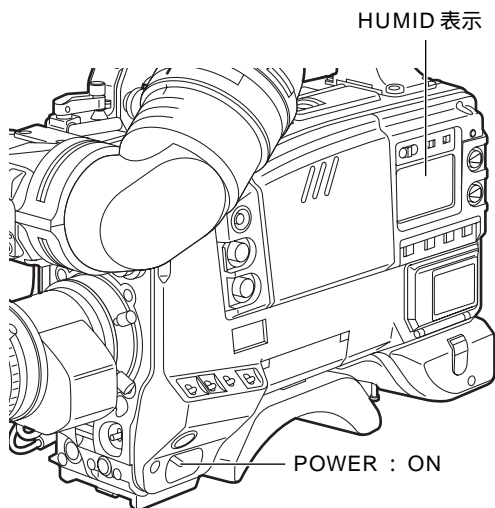
カセットテープについて

カセットテープを入れる

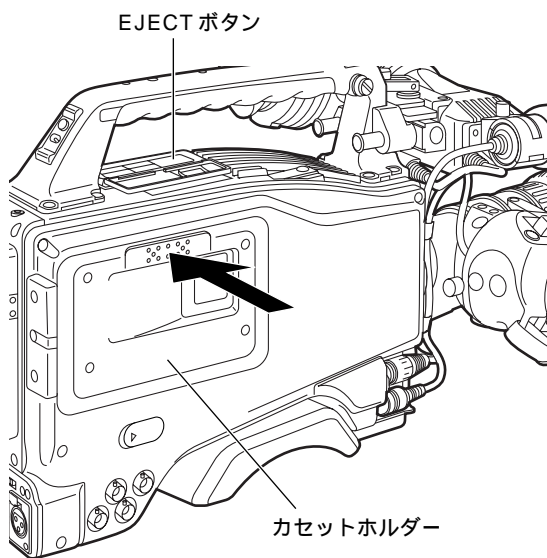
1 カセットホルダーやトップパネルの周辺にケーブルなどが無いことを確認して、POWER スイッチを「ON」にします。

<ノート>

内部に結露が発生していると、HUMID 表示が点灯します。HUMID 表示が消えるまで待ち、操作を行ってください。



2 EJECT ボタンを押します。
カセットホルダーが開きます。



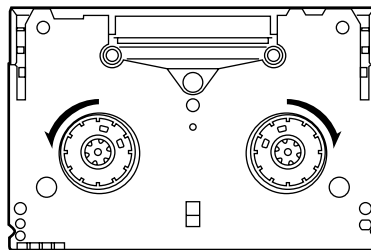
3 カセットテープを挿入し、矢印の部分を押して、カセットホルダーをしっかりと閉めます。

<ノート>

テープにたるみがないことを確認してください。

テープのたるみを確認する

指でリールを押し込みながら矢印の方向へ軽く回し、リールが回らなければテープのたるみはありません。



カセットテープを取り出す

電源が入った状態でEJECT ボタンを押してカセットホルダーを開け、カセットテープを取り出します。取りだし後すぐに、再びカセットを挿入しない場合は、カセットホルダーを閉めておいてください。

バッテリー消費時のカセットの取り出しについて

一度POWER スイッチを「OFF」にして電源を切ります。

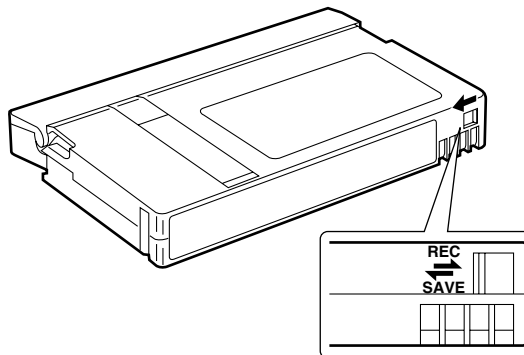
再度電源を入れ、すぐにEJECT ボタンを押し続けてください。

バッテリーに電源が残っているときは、カセットが取り出せません。

ただし、この動作を繰り返し行わないでください。

誤消去を防ぐには

テープの記録内容を誤って消してしまうのを防ぐには、カセットのツメを「SAVE」側にします。



記 録

ここでは、撮影・記録に関する基本操作手順を説明します。

実際に撮影に出発する際は、事前に点検を行って、システムが正常に機能することを確認してください。

- 点検のしかたについては、「撮影前の点検」(113 ~ 116 ページ)をお読みください。

電源の準備からカセットを入れるまで

1 充電済みのバッテリーパックを入れます。

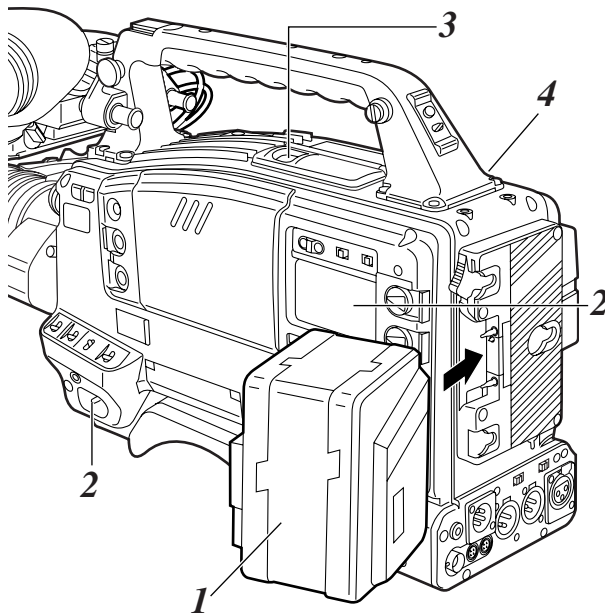
2 POWER スイッチを「ON」にし、HUMID 表示が出ないことや BATTERY 残量表示が 5 個以上点灯していることを確認します。

- HUMID 表示が出たときは、表示が消えるまで待ってください。
- BATTERY 残量表示が 5 個以上点灯していないときは、完全に充電したバッテリーと交換します。

3 カセットホルダーやトップパネルの周辺にケーブルなどが無いことを確認してから、EJECT ボタンを押してカセットホルダーを開きます。

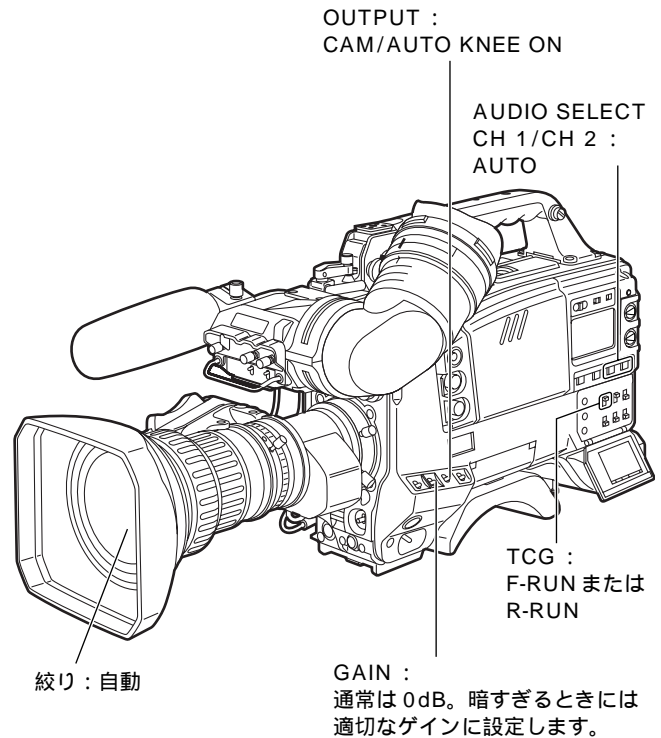
4 次のことを確認した後、カセットテープを挿入し、カセットホルダーを閉じます。

- 誤消去防止用のツメ
- テープのたるみ



ホワイトバランス/ブラックバランスの調整から記録停止まで

電源を入れ、カセットを挿入した後、各位スイッチを次のように設定します。



撮 影

1-1 照明条件に合わせてフィルターを選び、ホワイトバランスがあらかじめメモリーされているときは、WHITE BALスイッチを「A」または「B」にします。

ホワイトバランスやブラックバランスがメモリーされていないとき、ホワイトバランスを調整する時間のないとき

WHITE BALスイッチを「PRST」にします。FILTERつまみ（外側）の設定位置に応じて、フィルターに対するホワイトバランスがとれます。

1-2 その場でホワイトバランスを調整する場合、照明条件にあったフィルターを選び、WHITE BALスイッチを「A」または「B」にして次の手順でホワイトバランスを調整します。

- (1) AUTO W/B BALスイッチをAWB側に押し、ホワイトバランスを調整します。
- (2) AUTO W/B BALスイッチをABB側に押し、ブラックバランスを調整します。
- (3) AUTO W/B BALスイッチをAWB側に押し、再度ホワイトバランスを調整します。

ホワイトバランスの調整の仕方については、「ホワイトバランス/ブラックバランスの調整」(53～57ページ)をお読みください。

2 カメラを被写体に向け、フォーカスとズームを調整します。

3 電子シャッターを使用する場合は、シャッタースピード/動作モードを設定します。

- 詳しくは電子シャッターの設定(58、59ページ)をお読みください。

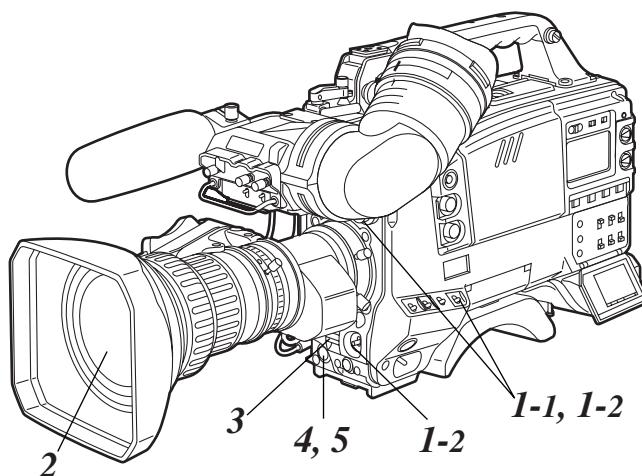
4 VTR START ボタンまたは、レンズのVTR ボタンを押して記録を開始します。

記録中は、ビューファインダー内のRECランプが点灯します。

5 停止するときは、再度VTR START ボタンを押します。

ビューファインダー内のRECランプが消えます。

テープ操作ボタンについて
記録中は、テープ操作ボタン(EJECT、REW、FF、PLAY/PAUSE、STOP)は動作しません。



つなぎ撮り

記録一時停止中であれば、VTR START ボタンまたは、レンズの VTR ボタンを押すだけで、0 ~ + 1 フレーム以内の精度でつなぎ撮りができます。記録一時停止中以外の場合は、記録を始める前に、つなぎ撮りのポイントを頭出しする必要があります。

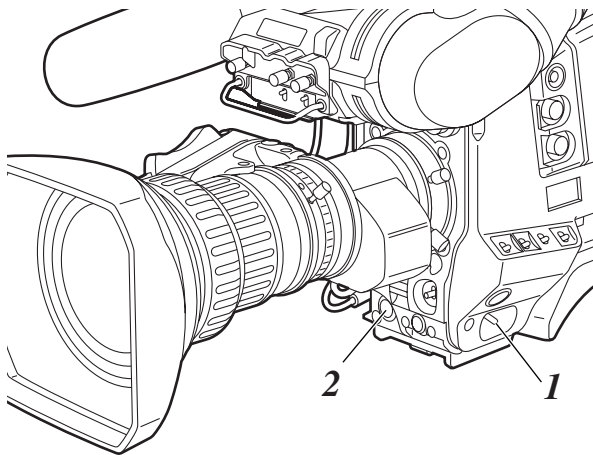
記録一時停止中

つなぎ撮りのタイミングは、自動的に頭出しされます。ただし、VTR SAVE/STBY スイッチの設定によって、記録開始までの時間が異なります。

- VTR SAVE/STBY スイッチを「SAVE」に設定していると、VTR START ボタンを押してから約 2 秒後に記録が始まります。
- VTR SAVE/STBY スイッチを「STBY」に設定していると、VTR START ボタンを押すとすぐに記録が始まります。

記録一時停止中に電源を切った場合のつなぎ撮り

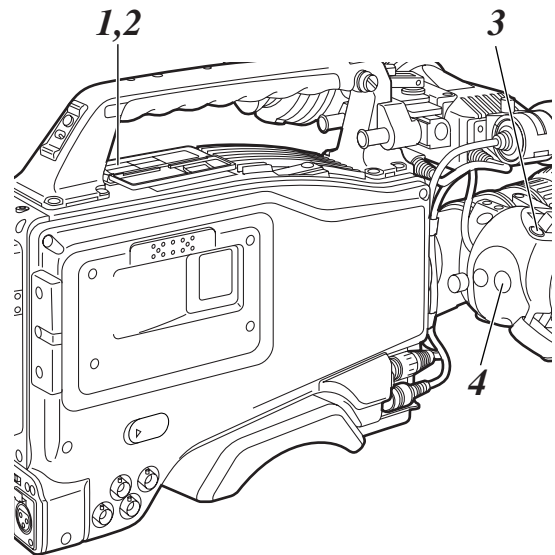
- 1 再び電源を入れます。
- 2 VTR START ボタンまたはレンズの VTR ボタンを押して記録を開始します。



その他の場合のつなぎ撮り

テープを走行させた後や、カセットを取り出した後、また、途中までしか記録されていないテープでつなぎ撮りをしたいときは、次の手順に従ってください。

- 1 ビューファインダーの画面を見ながら、PLAY/PAUSE ボタンを押し、テープを再生します。
- 2 つなぎ撮りを行う箇所で、再度 PLAY/PAUSE (または STOP) ボタンを押し、テープを止めます。
- 3 レンズの RET ボタンを押します。約 2 秒後につなぎ撮りの準備が整います。
- 4 VTR START ボタンまたは、レンズの VTR ボタンを押すと、記録を開始します。



再生 (記録内容のチェック)

PLAY/PAUSE ボタンを押すと、ビューファインダーで白黒の再生画面を見ることができます。このほか再生画像を見る方法は 2 通りあります。

レックレビュー

記録を一時停止し、レンズの RET ボタンを押すと、最後の 2 秒間が自動的に巻き戻され、その部分の再生画像がビューファインダーに出ます。これにより、記録が正しく行われたかどうかを確認できます。再生後は、再び記録開始待ちの状態になります。RET ボタンを押し続けると、最高 10 秒間まで巻き戻して再生します。

< ノート >

1 秒間以上記録されていない場合は、レックレビュー機能は使用できません。

カラー再生

本機の HD SDI OUT 端子に HD カラーモニターを接続すると、カラーの再生画像を見ることができます。巻き戻し (REW) や早送り (FF) 中でも、再生信号はビューファインダーに出力されます。再生信号の音声出力の選択や音量の調節は、MONITOR スイッチやつまみ (17 ページ) で行います。

レンズの RET ボタンの働き

RET ボタンの機能は、内部 VTR の状態により、ビューファインダー画面に表示される内容が、次のように変わります。

内部 VTR の状態	ビューファインダー画面に表示される内容
記録中	カメラが撮影している映像 (RET ボタンは働かない)
記録一時停止中	記録された内容 (2 秒間のレックレビュー) の確認ができます。
再生中	内部 VTR の再生画像 (RET ボタンは働かない)
再生一時停止中	つなぎ撮りするための頭出し動作画像

その他の VTR 機能

NEWS REC 機能

NEWS REC 機能は、VTR MENU「FUNCTION」画面の NEWS REC MODE で設定します。

記録中、VTR START ボタン動作の受け付け時間を制御（最大 2 秒まで）することにより、記録モードから記録一時停止モードに移行する時間を遅らせることができます。

つまり、記録中に一旦記録を停止し、すぐに再度記録の開始をした時に生じるシャッターチャンスの映像抜けを、VTR START ボタン動作の受け付け時間を制御する事で、記録を停止する事なく継続して記録をすることを可能にします。

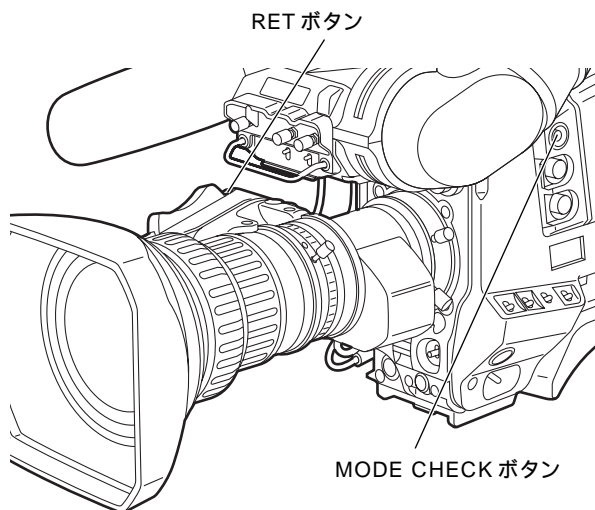
RETAKE 機能

RETAKE 機能は、VTR MENU の「FUNCTION」画面で RETAKE MODE を ON に設定します。

記録終了時の記録一時停止モードのときや、その後の STOP モードのときに、MODE CHECK ボタンを押しながらレンズの RET ボタンを押すと、前回記録した最終映像のほぼ開始点（記録開始から約 10 フレーム進んだ位置）までテープを巻き戻して、記録一時停止モードになります。

撮影時間に余裕があり、明らかに NG と判断した場合に、この点から記録を開始することができるため、NG 部分のカットが消去される事になります。

この機能によりワークテープへのコピー時間の節減など経済的運用に効果を発揮します。



INTERVAL REC (間欠記録) 機能

簡易のインターバル撮影（間欠記録）をすることが可能です。

特に自然を題材にした番組や美術番組の撮影に効果を発揮します。

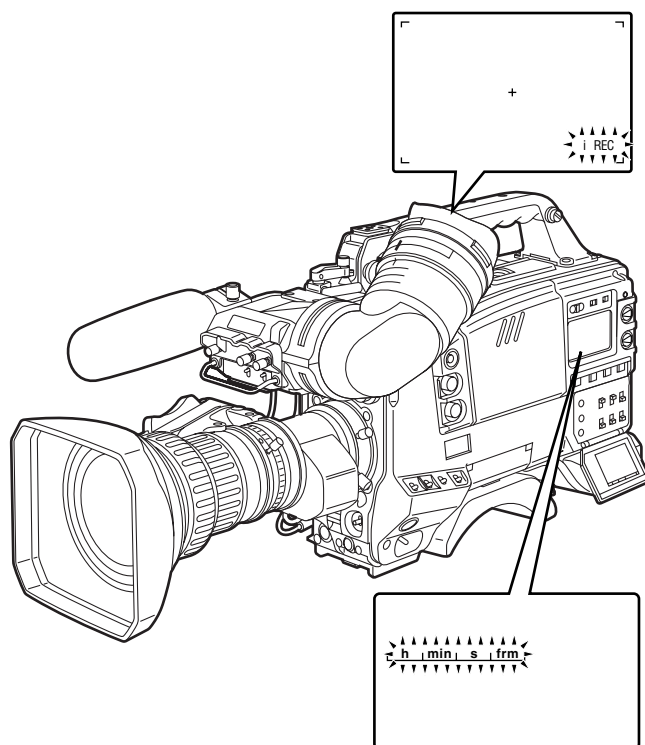
INTERVAL REC 機能は、VTR MENU「FUNCTION」画面で設定します。

- INTERVAL REC MODE
INTERVAL REC 機能の ON/OFF を設定します。
- INTERVAL REC TIME
インターバル撮影の記録時間（1 カット）を設定します。
- INTERVAL PAUSE TIME
インターバル撮影の記録一時停止時間を設定します。

上記の項目が設定されると、INTERVAL REC モードになり、ビューファインダー内の「i」が点滅を始めます。

VTR START ボタンを押すと、インターバル撮影が開始され、「i」が「i REC」に切り替わり点灯します。また、カウンター表示部の時間単位（h/min/s/frm）表示が点滅状態になります。

最初のインターバル撮影が終了して、記録一時停止状態になると、ビューファインダー内の「i REC」が点滅に切り替わります。カウンター表示部の時間単位表示は点滅状態のままです。



メニュー操作

設定メニューの操作は、MENU ボタンと JOG ダイアルボタンで操作します。

メニューの構成は、カメラ部の設定メニューと VTR 部の設定メニューに分かれます。

また、設定メニューの全項目を設定できるエンジニアメニューと、使用頻度の高いメニューだけを選択して、独自のメニューを構成するユーザーメニューを設定することができます。

ユーザーメニュー

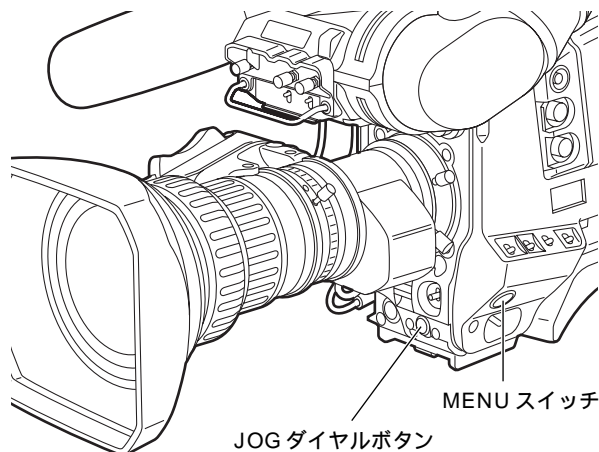
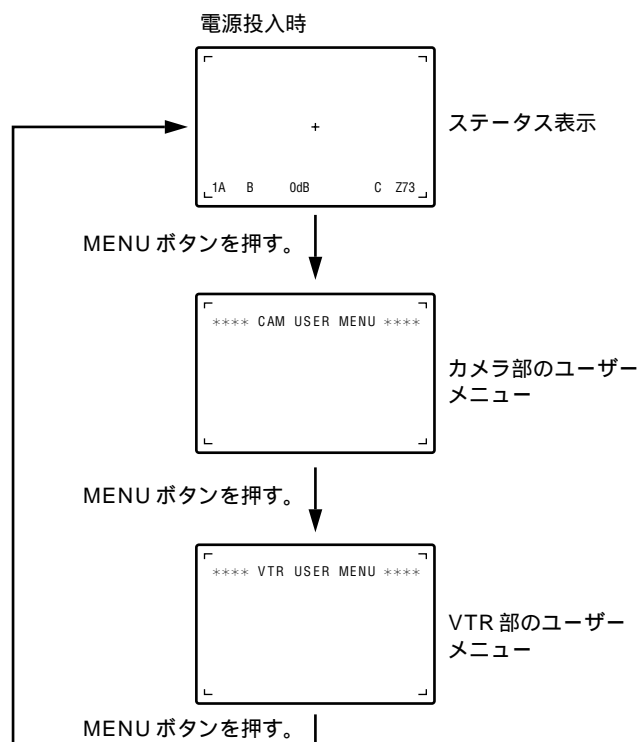
出荷時に、ユーザーメニューを設定していますが、使用されるユーザーが、使用頻度の高いメニューだけを選択して、独自のメニュー構成を変えることができます。

ユーザーメニューは、エンジニアメニューの USER MENU SELECT の画面で設定してください。

設定されたデータは、不揮発性メモリーに書き込まれ、長期間保存されます。

表示方法：

- MENU ボタンを押すと、出荷時に設定されたカメラ部の USER メニュー画面が表示されます。
- 再度 MENU ボタンを押すと VTR 部の USER メニュー画面が表示されます。
- さらに MENU ボタンを押すと、メニュー画面の表示が消えます。



エンジニアメニュー

設定メニューの全項目を設定できます。

設定されたデータは、不揮発性メモリーに書き込まれ、長期間保存されます。

表示方法：

- MENU ボタンを 3 秒間以上押し続けます。
- 再度 MENU ボタンを押すと VTR 部の MAIN MENU 画面が表示されます。
- さらに MENU ボタンを押すと、メニュー画面の表示が消えます。

< ノート >

本機にエクステンションコントロールユニット AJ-EC3 (別売品) を接続して、外部から操作する場合は、常にエンジニアメニューが表示されます。

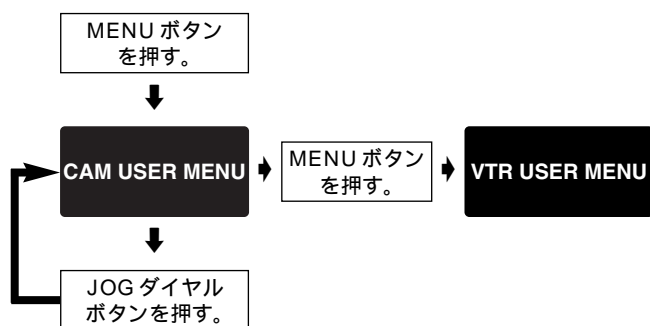
メニュー操作

設定メニューの基本操作

メニューを表示する

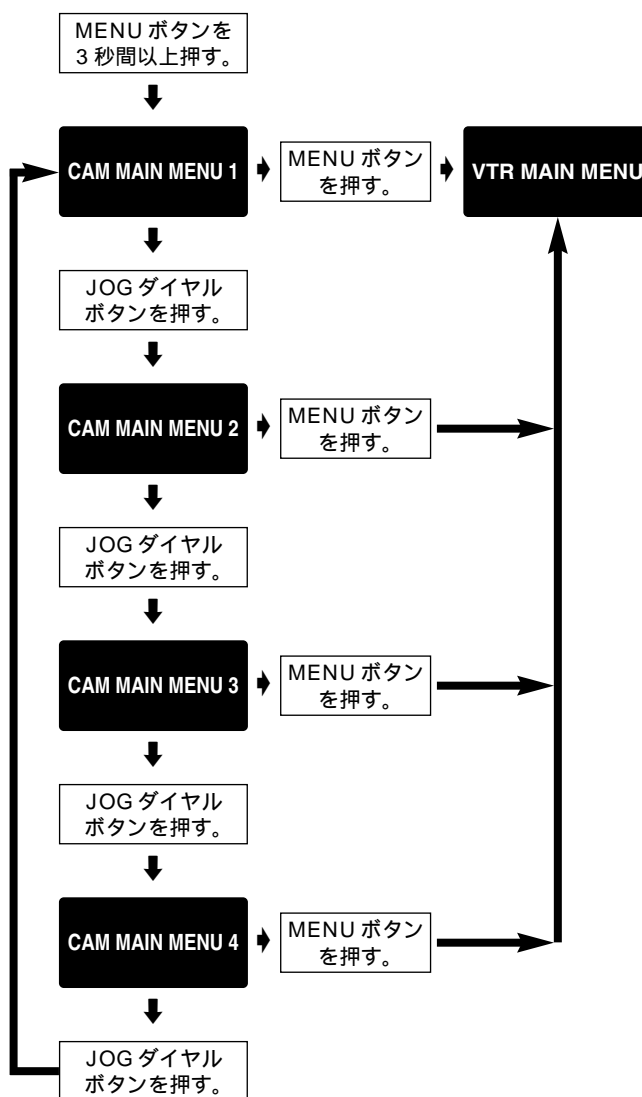
ユーザーメニュー：

- 1 MENU ボタンを押します。
カメラ部の USER メニュー画面が表示されます。
- 2 再度 MENU ボタンを押すと、VTR 部の USER メニュー画面が表示されます。



エンジニアメニュー：

- 1 MENU ボタンを 3 秒間以上押し続けます。
- 2 JOG ダイヤルボタンを押すと、次の MAIN メニュー画面（カメラ部）が表示されます。
- 3 MENU ボタンを押すと、VTR 部の MAIN メニュー画面が表示されます。



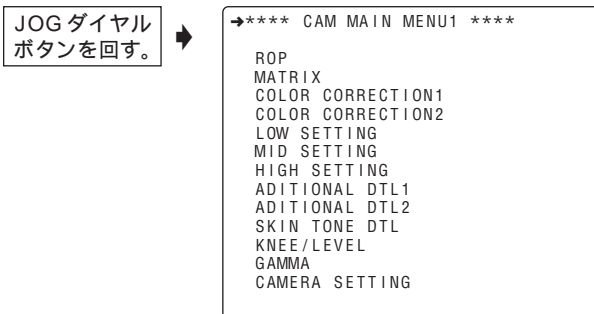
メニュー操作

SUB メニューを表示し、設定値を決める

ユーザーメニュー/エンジニアメニュー共通

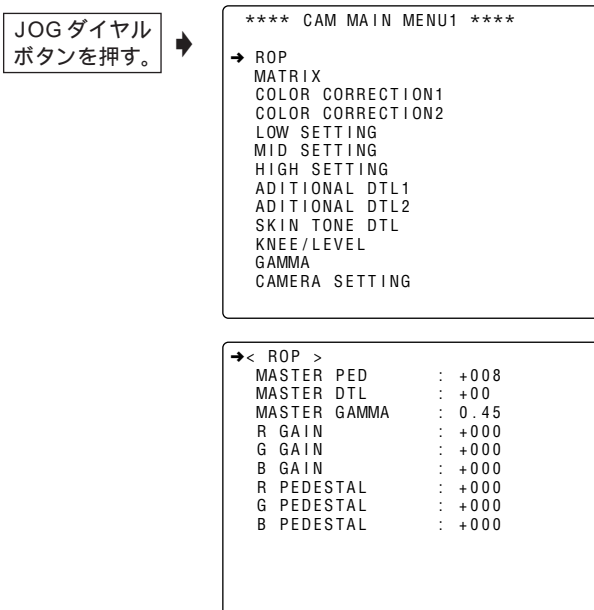
- 1 USERメニュー画面または、MAINメニュー画面が表示されている状態で、JOGダイヤルボタンを回します。
SUBメニューの項目にカーソルが移動します。

例：



- 2 希望するSUBメニューの項目にカーソル()を移動して、JOGダイヤルボタンを押します。
SUBメニュー画面が表示されます。(カーソルはSUBメニューのタイトル部分に表示されます。)

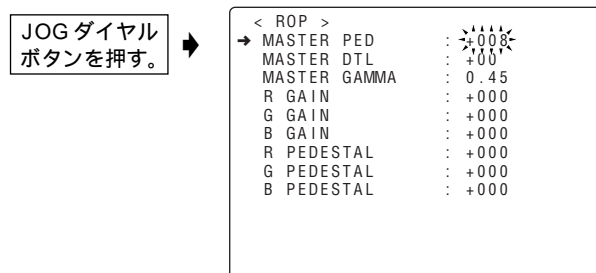
例：



- 3 JOGダイヤルボタンを回して、設定を希望する項目にカーソルを移動し、JOGダイヤルボタンを押します。

設定値する桁が、点滅します。

例：



- 4 JOGダイヤルボタンを回して、設定値を変更します。

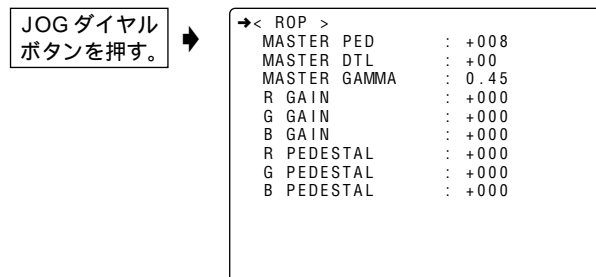
- 5 希望の設定値で、JOGダイヤルボタンを押します。
設定値が確定します。

- 6 他に設定を希望する項目がある場合は、JOGダイヤルボタンを回してカーソルを移動し、3～5の手順で、設定値を決めます。

- 7 他のSUBメニューに移動する場合は、JOGダイヤルボタンを回してカーソルをSUBメニューのタイトル部分に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。

USERメニュー画面または、MAINメニュー画面が表示されますので、同様の手順で操作を行ってください。

例：

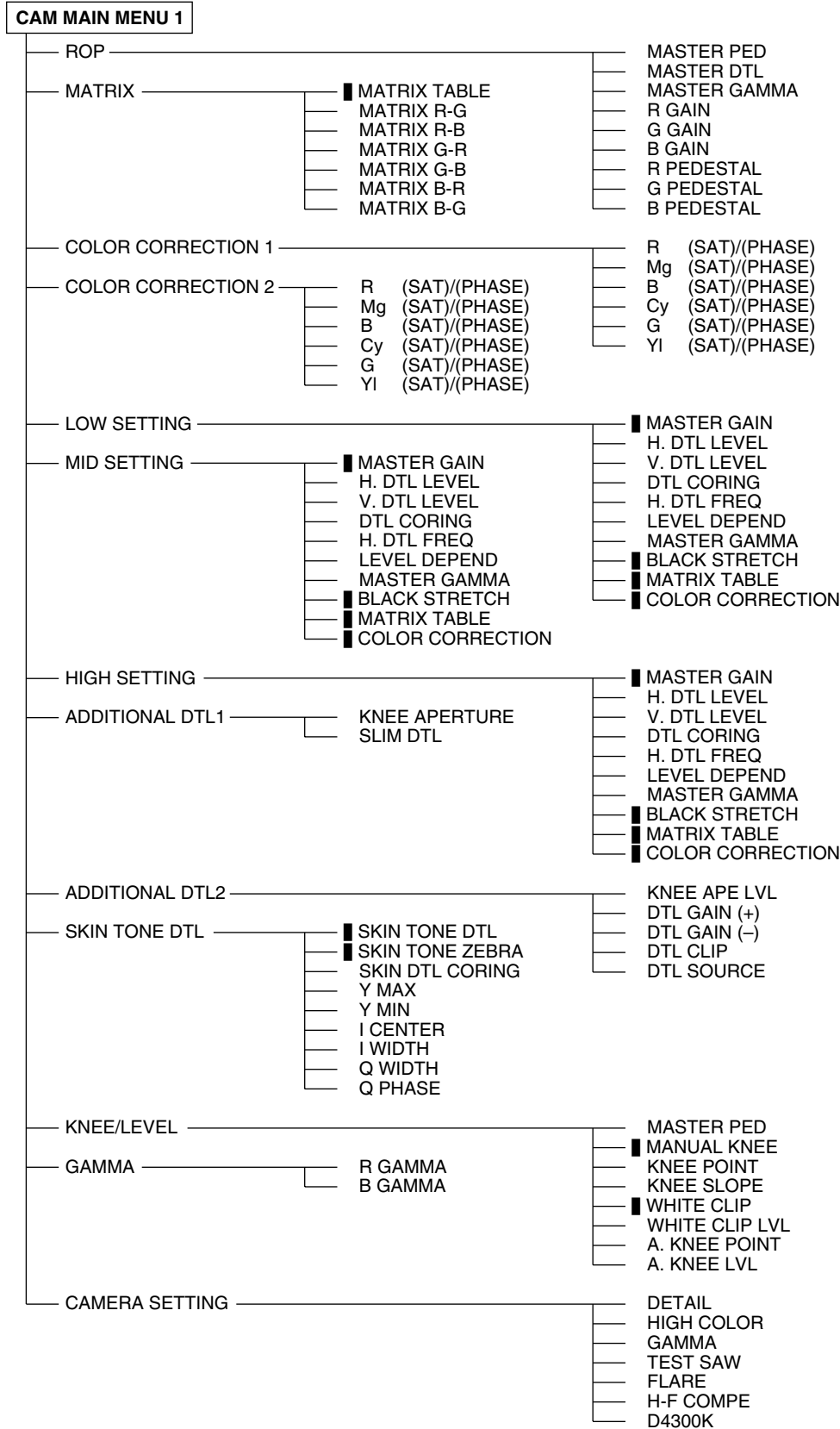


- 8 設定が終了すると、MENUボタンを押します。
設定値が記録され、設定メニューモードが終了し、通常の操作モードに戻ります。

<ノート>

カメラ部のメニューを終了するときは、MENUボタンを2度押します。MENUボタンを1度押したときには、VTR部のメニューに移行します。

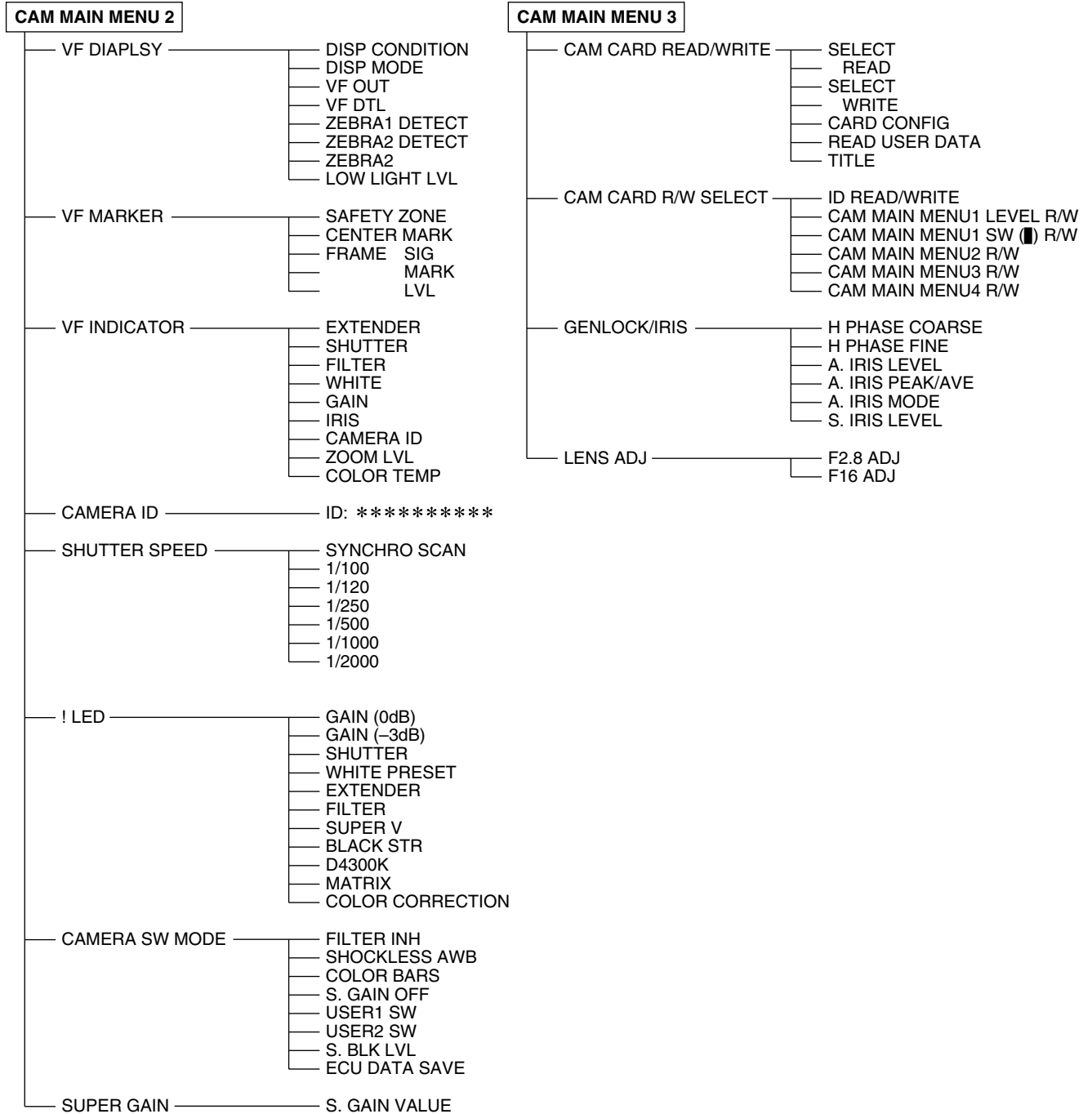
設定メニューの構成



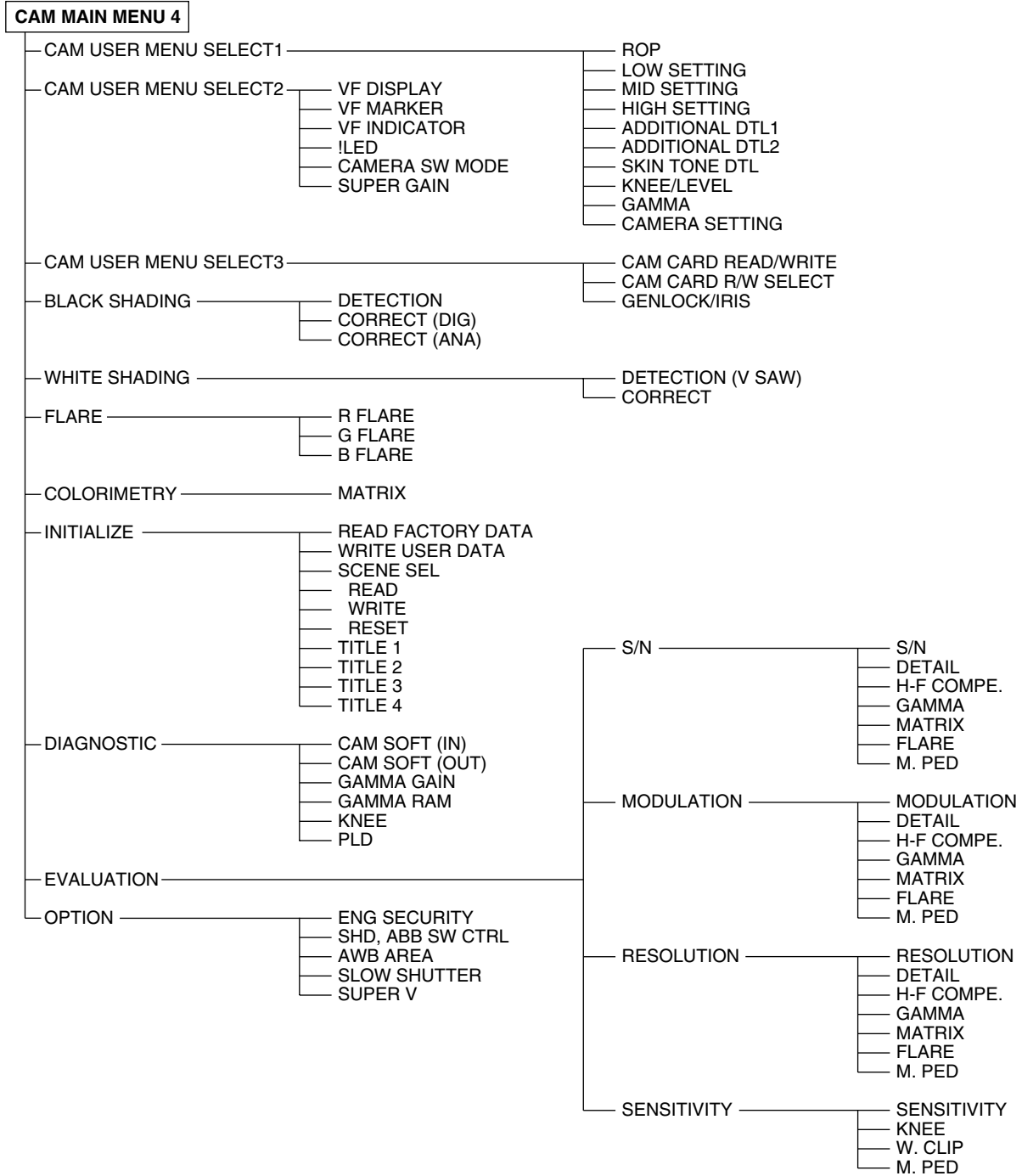
< ノート >

マークの項目は、可変範囲の設定を ON と OFF で切り替える項目です。

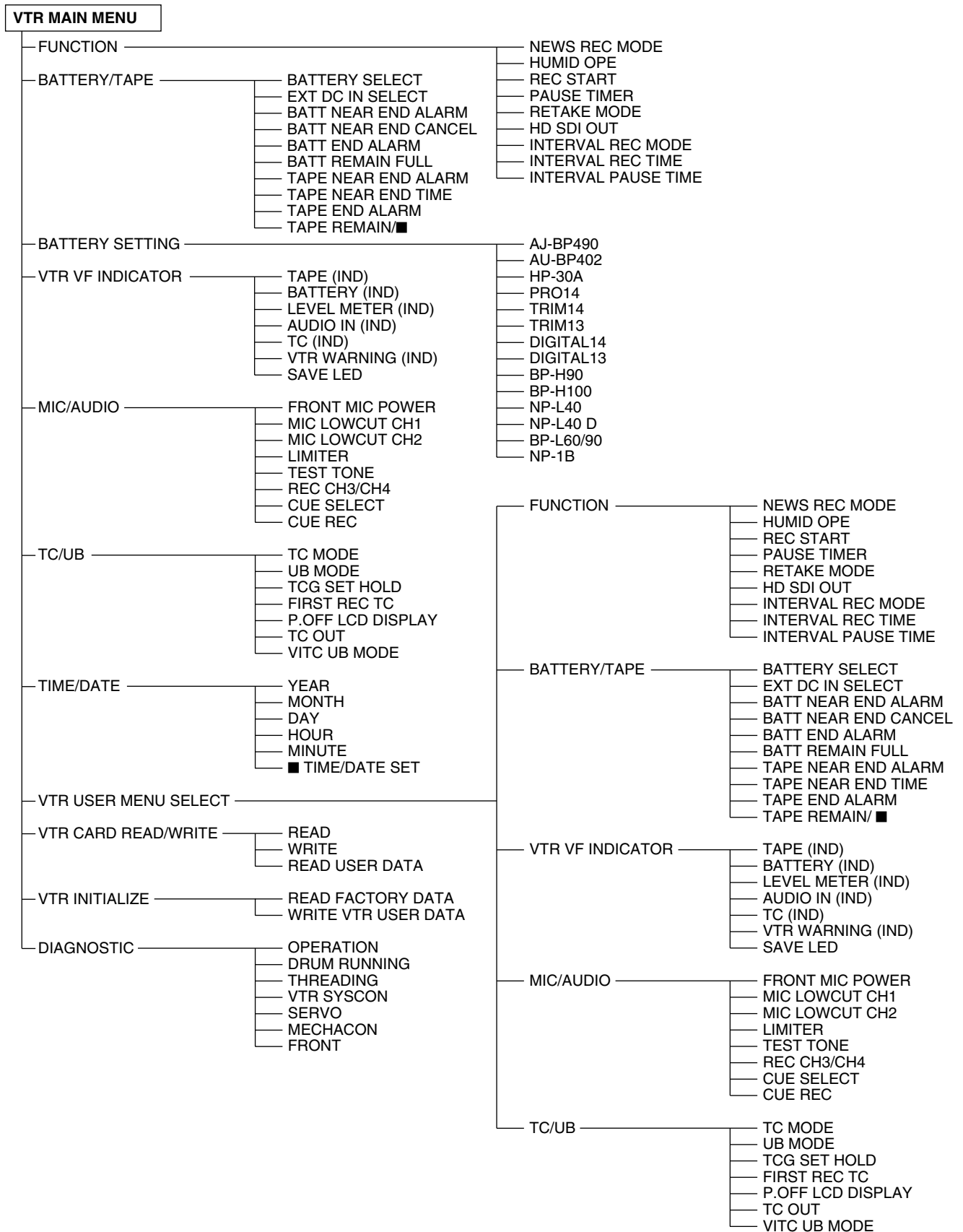
設定メニューの構成



設定メニューの構成



設定メニューの構成



設定メニュー画面 (CAM MENU)

MAIN メニューは、カメラ部の CAM MAIN MENU (1 ~ 4) と VTR 部の VTR MAIN MENU で構成されています。

これらの画面は、サブメニューを開くためのインデックス画面です。

設定メニューの操作は、MENU ボタンと JOG ダイアルボタンで操作します。

「メニュー操作」76 ~ 78 ページを参照してください。

CAM MAIN MENU 1 画面

SUB メニュー	VF 表示	備 考
ROP	USER ENG	ROP 画面を開くインデックスです。
MATRIX	USER ENG	MATRIX 画面を開くインデックスです。
COLOR CORRECTION1	USER ENG	COLOR CORRECTION1 画面を開くインデックスです。
COLOR CORRECTION2	USER ENG	COLOR CORRECTION2 画面を開くインデックスです。
LOW SETTING	USER ENG	LOW SETTING 画面を開くインデックスです。
MID SETTING	USER ENG	MID SETTING 画面を開くインデックスです。
HIGH SETTING	USER ENG	HIGH SETTING 画面を開くインデックスです。
ADDITIONAL DTL1	USER ENG	ADDITIONAL DTL1 画面を開くインデックスです。
ADDITIONAL DTL2	USER ENG	ADDITIONAL DTL2 画面を開くインデックスです。
SKIN TONE DTL	USER ENG	SKIN TONE DTL 画面を開くインデックスです。
KNEE/LEVEL	USER ENG	KNEE/LEVEL 画面を開くインデックスです。
GAMMA	USER ENG	GAMMA 画面を開くインデックスです。
CAMERA SETTING	USER ENG	CAMERA SETTING 画面を開くインデックスです。

CAM MAIN MENU 2 画面

SUB メニュー	VF 表示	備 考
VF DISPLAY	USER ENG	VF DISPLAY 画面を開くインデックスです。
VF MARKER	USER ENG	VF MARKER 画面を開くインデックスです。
VF INDICATOR	USER ENG	VF INDICATOR 画面を開くインデックスです。
CAMERA ID	ENG	CAMERA ID 画面を開くインデックスです。
SHUTTER SPEED	ENG	SHUTTER SPEED 画面を開くインデックスです。
!LED	USER ENG	!LED 画面を開くインデックスです。
CAMERA SW MODE	USER ENG	CAMERA SW MODE 画面を開くインデックスです。
SUPER GAIN	USER ENG	SUPER GAIN 画面を開くインデックスです。

CAM MAIN MENU 3 画面

SUB メニュー	VF 表示	備 考
CAM CARD READ/WRITE	USER ENG	CAM CARD READ/WRITE 画面を開くインデックスです。
CAM CARD R/W SELECT	USER ENG	CARD R/W SELECT 画面を開くインデックスです。
GENLOCK/IRIS	USER ENG	GENLOCK/IRIS 画面を開くインデックスです。
LENS ADJ	USER ENG	LENS ADJ 画面を開くインデックスです。

CAM MAIN MENU 4 画面

SUB メニュー	VF 表示	備 考
CAM USER MENU SELECT 1	USER ENG	CAM USER MENU SELECT1 画面を開くインデックスです。
CAM USER MENU SELECT 2	USER ENG	CAM USER MENU SELECT2 画面を開くインデックスです。
CAM USER MENU SELECT 3	USER ENG	CAM USER MENU SELECT3 画面を開くインデックスです。
BLACK SHADING	USER ENG	BLACK SHADING 画面を開くインデックスです。
WHITE SHADING	USER ENG	WHITE SHADING 画面を開くインデックスです。
FLARE	USER ENG	FLARE 画面を開くインデックスです。
COLORIMETRY	USER ENG	COLORIMETRY 画面を開くインデックスです。
INITIALIZE	USER ENG	INITIALIZE 画面を開くインデックスです。
DIAGNOSTIC	USER ENG	DIAGNOSTIC 画面を開くインデックスです。
EVALUATION	USER ENG	EVALUATION 画面を開くインデックスです。
OPTION	USER ENG	OPTION 画面を開くインデックスです。

設定メニュー画面 (CAM MAIN MENU 1)

ROP 画面

ROP (Remote Operation Panel) を設定します。

項目	可変範囲	VF 表示	備考
MASTER PED	- 200 ⋮ <u>+ 18</u> ⋮ + 200 (最大)	USER ENG	MASTER PEDESTAL のレベル設定。
MASTER DTL	- 31 ⋮ <u>+ 00</u> ⋮ + 31	USER ENG	H. DTL/V. DTL のレベル 設定。
MASTER GAMMA	0.35 ⋮ <u>0.45</u> ⋮ 0.75	USER ENG	MASTER GAMMA の設 定。(0.01 ステップ) LOW/MID/HIGH で、異 なった値を記憶させるこ とができます。
R GAIN	- 200 ⋮ <u>+ 000</u> ⋮ + 200 (最大)	USER ENG	R ch のゲイン設定。
G GAIN	- 200 ⋮ <u>+ 000</u> ⋮ + 200 (最大)	USER ENG	G ch のゲイン設定。
B GAIN	- 200 ⋮ <u>+ 000</u> ⋮ + 200 (最大)	USER ENG	B ch のゲイン設定。
R PEDESTAL	- 100 ⋮ <u>+ 000</u> ⋮ + 100 (最大)	USER ENG	R ch の PEDESTAL レベ ル設定。
G PEDESTAL	- 100 ⋮ <u>+ 000</u> ⋮ + 100 (最大)	USER ENG	G ch の PEDESTAL レベ ル設定。
B PEDESTAL	- 100 ⋮ <u>+ 000</u> ⋮ + 100 (最大)	USER ENG	B ch の PEDESTAL レベ ル設定。

MATRIX 画面

カメラのマトリックスの設定を行います。

項目	可変範囲	VF 表示	備考
MATRIX TABLE	A B	USER ENG	色調整表の選択。
MATRIX R-G	- 31 ⋮ <u>+ 00</u> ⋮ + 31	USER ENG	色調整
MATRIX R-B	- 31 ⋮ <u>+ 00</u> ⋮ + 31	USER ENG	色調整
MATRIX G-R	- 31 ⋮ <u>+ 00</u> ⋮ + 31	USER ENG	色調整
MATRIX G-B	- 31 ⋮ <u>+ 00</u> ⋮ + 31	USER ENG	色調整
MATRIX B-R	- 31 ⋮ <u>+ 00</u> ⋮ + 31	USER ENG	色調整
MATRIX B-G	- 31 ⋮ <u>+ 00</u> ⋮ + 31	USER ENG	色調整

< ノート >

- MATRIX を変えてもホワイトバランス、ブラックバランスは変化しません。
- MATRIX TABLE は A、B の 2 種類を記憶させることができます。
- MATRIX TABLE B のプリセットモードは、全て 00 です。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

設定メニュー画面 (CAM MAIN MENU 1)

COLOR CORRECTION1 画面

カメラの色飽和度調整と色相調整の設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
R (SAT) R (PHASE)	- 63 ⋮ <u>+ 00</u> ⋮ + 63	USER ENG	色飽和度調整と色相調整 : 赤
Mg (SAT) Mg (PHASE)	- 63 ⋮ <u>+ 00</u> ⋮ + 63	USER ENG	色飽和度調整と色相調整 : マゼンタ
B (SAT) B (PHASE)	- 63 ⋮ <u>+ 00</u> ⋮ + 63	USER ENG	色飽和度調整と色相調整 : 青
Cy (SAT) Cy (PHASE)	- 63 ⋮ <u>+ 00</u> ⋮ + 63	USER ENG	色飽和度調整と色相調整 : シアン
G (SAT) G (PHASE)	- 63 ⋮ <u>+ 00</u> ⋮ + 63	USER ENG	色飽和度調整と色相調整 : 緑
YI (SAT) YI (PHASE)	- 63 ⋮ <u>+ 00</u> ⋮ + 63	USER ENG	色飽和度調整と色相調整 : 黄

COLOR CORRECTION2 画面

カメラの色飽和度調整と色相調整の設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
R-Mg (SAT) R-Mg (PHASE)	- 63 ⋮ <u>+ 00</u> ⋮ + 63	USER ENG	色飽和度調整と色相調整 : 赤とマゼンタの間
Mg-B (SAT) Mg-B (PHASE)	- 63 ⋮ <u>+ 00</u> ⋮ + 63	USER ENG	色飽和度調整と色相調整 : マゼンタと青の間
B-Cy (SAT) B-Cy (PHASE)	- 63 ⋮ <u>+ 00</u> ⋮ + 63	USER ENG	色飽和度調整と色相調整 : 青とシアンの間
Cy-G (SAT) Cy-G (PHASE)	- 63 ⋮ <u>+ 00</u> ⋮ + 63	USER ENG	色飽和度調整と色相調整 : シアンと緑の間
G-YI (SAT) G-YI (PHASE)	- 63 ⋮ <u>+ 00</u> ⋮ + 63	USER ENG	色飽和度調整と色相調整 : 緑と黄の間
YI-R (SAT) YI-R (PHASE)	- 63 ⋮ <u>+ 00</u> ⋮ + 63	USER ENG	色飽和度調整と色相調整 : 黄と赤の間

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

設定メニュー画面 (CAM MAIN MENU 1)

LOW SETTING 画面

LOW レベル GAIN の設定を行います。

項目	可変範囲	VF 表示	備考
MASTER GAIN	- 3dB ∴ <u>0dB</u> ∴ 30dB	USER ENG	- 3dB、0dB、3dB、6dB、9dB、12dB、15dB、18dB、21dB、24dB、27dB、30dB が設定可能。
H. DTL LEVEL	0 ∴ <u>6</u> ∴ 63	USER ENG	H.DTL (ディテール) レベルの設定。
V. DTL LEVEL	0 ∴ <u>16</u> ∴ 63	USER ENG	V.DTL (ディテール) レベルの設定。
DTL CORING	0 ∴ <u>2</u> ∴ 15	USER ENG	DTL コアリングの設定。
H. DTL FREQ	0 ∴ <u>2</u> ∴ 29	USER ENG	H. DTL FREQUENCY の選択。
LEVEL DEPEND	0 ∴ <u>2</u> ∴ 5	USER ENG	LEVEL DEPEND の設定。 Y デテール強調時、暗部のみディテールを除去します。 数値が大きいほど、除去する範囲が広がります。
MASTER GAMMA	0.35 ∴ <u>0.45</u> ∴ 0.75	USER ENG	マスターガンマの設定。 0.01 ステップ
BLACK STRETCH	ON <u>OFF</u>	USER ENG	低照度の黒ツブレを補正するモード。 ON/OFF 切り替え
MATRIX TABLE	A B <u>OFF</u>	USER ENG	色補正マトリックスの選択。
COLOR CORRECTION	ON <u>OFF</u>	USER ENG	12 軸独立色補正の ON/OFF 切り替え

MID SETTING 画面

MIDDLE レベル GAIN の設定を行います。

項目	可変範囲	VF 表示	備考
MASTER GAIN	- 3dB ∴ <u>6dB</u> ∴ 30dB	USER ENG	- 3dB、0dB、3dB、6dB、9dB、12dB、15dB、18dB、21dB、24dB、27dB、30dB が設定可能。
H. DTL LEVEL	0 ∴ <u>6</u> ∴ 63	USER ENG	H.DTL (ディテール) レベルの設定。
V. DTL LEVEL	0 ∴ <u>16</u> ∴ 63	USER ENG	V.DTL (ディテール) レベルの設定。
DTL CORING	0 ∴ <u>2</u> ∴ 15	USER ENG	DTL コアリングの設定。
H. DTL FREQ	0 ∴ <u>2</u> ∴ 29	USER ENG	H. DTL FREQUENCY の選択。
LEVEL DEPEND	0 ∴ <u>2</u> ∴ 5	USER ENG	LEVEL DEPEND の設定。 Y デテール強調時、暗部のみディテールを除去します。 数値が大きいほど、除去する範囲が広がります。
MASTER GAMMA	0.35 ∴ <u>0.45</u> ∴ 0.75	USER ENG	マスターガンマの設定。 0.01 ステップ
BLACK STRETCH	ON <u>OFF</u>	USER ENG	低照度の黒ツブレを補正するモード。 ON/OFF 切り替え
MATRIX TABLE	A B <u>OFF</u>	USER ENG	色補正マトリックスの選択。
COLOR CORRECTION	ON <u>OFF</u>	USER ENG	12 軸独立色補正の ON/OFF 切り替え

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

設定メニュー画面 (CAM MAIN MENU 1)

HIGH SETTING 画面

HIGH レベル GAIN の設定を行います。

項目	可変範囲	VF 表示	備考
MASTER GAIN	- 3dB ∴ <u>12dB</u> ∴ 30dB	USER ENG	- 3dB、0dB、3dB、 6dB、9dB、12dB、 15dB、18dB、21dB、 24dB、27dB、30dB が設定可能。
H. DTL LEVEL	0 ∴ <u>6</u> ∴ 63	USER ENG	H.DTL (ディテール) レ ベルの設定。
V. DTL LEVEL	0 ∴ <u>10</u> ∴ 63	USER ENG	V.DTL (ディテール) レ ベルの設定。
DTL CORING	0 ∴ <u>5</u> ∴ 15	USER ENG	DTL コアリングの設定。
H. DTL FREQ	0 ∴ <u>2</u> ∴ 29	USER ENG	H. DTL FREQUENCY の 選択。
LEVEL DEPEND	0 ∴ <u>2</u> ∴ 5	USER ENG	LEVEL DEPEND の設 定。 Y ディテール強調時、暗 部だけのディテールを除 去します。 数値が大きいくほど、除去 する範囲が広がります。
MASTER GAMMA	0.35 ∴ <u>0.45</u> ∴ 0.75	USER ENG	マスターガンマの設定。 0.01 ステップ
BLACK STRETCH	ON <u>OFF</u>	USER ENG	低照度の黒ツブレを補正 するモード。 ON/OFF 切り替え
MATRIX TABLE	A B <u>OFF</u>	USER ENG	色補正マトリックスの選 択。
COLOR CORRECTION	ON <u>OFF</u>	USER ENG	12 軸独立色補正の ON/OFF 切り替え

ADDITIONAL DTL1 画面

カメラの特殊 DTL の設定を行います。

項目	可変範囲	VF 表示	備考
KNEE APERTURE	<u>ON</u> OFF	USER ENG	ニーアパチャの ON/OFF 切り替え。 ニーポイントから上のデ ィテールが強調されます。
SLIM DTL	ON <u>OFF</u>	USER ENG	ディテールを細くするモ ードの ON/OFF 切り替 え。

ADDITIONAL DTL2 画面

カメラの特殊 DTL の設定を行います。

項目	可変範囲	VF 表示	備考
KNEE APA LVL	0 <u>5</u>	USER ENG	高輝度部のディテールレ ベルを変えます。
DTL GAIN (+)	- 31 ∴ <u>+ 00</u> ∴ + 31	USER ENG	H.ディテールの + 方向の レベルを変えます。
DTL GAIN (-)	- 31 ∴ <u>+ 00</u> ∴ + 31	USER ENG	H.ディテールの - (下) 方向のレベルを変えます。
DTL CLIP	<u>00</u> ∴ 63	USER ENG	ディテール信号のクリッ プを変えます。
DTL SOURCE	(G+B)/2 (R+G)/2 (2G+R+B)/4 (3G+R)/4 R G	USER ENG	ディテールを作成する RGB 信号成分の比率の設 定

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

設定メニュー画面 (CAM MAIN MENU 1)

SKIN TONE DTL 画面

カメラの SKIN TONE DTL の設定を行います。

項目	可変範囲	VF 表示	備考
SKIN TONE DTL	ON OFF	USER ENG	肌色ディテールの ON/OFF 切り替え。
SKIN TONE ZEBRA	ON OFF	USER ENG	SKIN TONE 範囲での ZEBRA の ON/OFF 切り替え。 ZEBRA の見える範囲でディテール量が変化します。
SKIN DTL CORING	0 : 5 : 7	USER ENG	DTL コアリングの設定。
Y MAX	0 : 190 : 255	USER ENG	ディテールを効かせる、輝度レベルの最大値を設定します。
Y MIN	0 : 10 : 255	USER ENG	ディテールを効かせる、輝度レベルの最小値を設定します。
I CENTER	0 : 55 : 255	USER ENG	ディテールを効かせる、I 軸レベルの中心の値を設定します。
I WIDTH	0 : 90 : 255	USER ENG	ディテールを効かせる、I 軸レベルの最小値を設定します。
Q WIDTH	0 : 10 : 255	USER ENG	ディテールを効かせる、Q 軸レベルの最大値を設定します。
Q PHASE	0 : 255	USER ENG	ディテールを効かせる、Q 軸レベルの最小値を設定します。

KNEE/LEVEL 画面

カメラの KNEE の設定を行います。

項目	可変範囲	VF 表示	備考
MASTER PED	- 200 : + 18 : + 200	USER ENG	MASTER PED (マスターペデスタルレベル) の設定。
MANUAL KNEE	ON OFF	USER ENG	AUTO KNEE スイッチが OFF のときのモード設定。
KNEE POINT	80% : 93% : 107%	USER ENG	MANUAL KNEE POINT の位置設定。
KNEE SLOPE	0 : 85 : 99	USER ENG	MANUAL KNEE の傾きの設定。
WHITE CLIP	ON OFF	USER ENG	WHITE CLIP の ON/OFF 切り替え。
WHITE CLIP LVL	90% : 109%	USER ENG	WHITE CLIP LEVEL の設定。
A. KNEE POINT	80% : 93% : 107%	USER ENG	AUTO KNEE の POINT の位置設定。
A. KNEE LVL	100 : 107 : 110	USER ENG	AUTO KNEE の最大レベルの設定。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

設定メニュー画面 (CAM MAIN MENU 1)

GAMMA 画面

カメラのガンマの設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
R GAMMA	- 15 ⋮ <u>+ 0</u> ⋮ + 15	USER ENG	マスターガンマに対しての Rch ガンマの補正值。
B GAMMA	- 15 ⋮ <u>+ 0</u> ⋮ + 15	USER ENG	マスターガンマに対しての Bch ガンマの補正值。

CAMERA SETTING 画面

カメラの基本設定の ON/OFF を切り替えます。

項目	可変範囲	VF表示	備考
DETAIL	<u>ON</u> OFF	USER ENG	ディテール (H、V) の ON/OFF 切り替え。 (H、V 同時に ON/OFF)
HIGH COLOR	<u>ON</u> OFF	USER ENG	色のダイナミックレンジを拡大するモードの ON/OFF 切り替え。 二ポイント以上の色を強調します。
GAMMA	<u>ON</u> OFF	USER ENG	ガンマ補正の ON/OFF 切り替え。
TEST SAW	<u>ON</u> OFF	USER ENG	テスト信号の ON/OFF 切り替え。
FLARE	<u>ON</u> OFF	USER ENG	フレア補正の ON/OFF 切り替え。
H-F COMPE	<u>ON</u> OFF	USER ENG	高域周波数補正モードの ON/OFF 切り替え。
D4300K	<u>ON</u> OFF	USER ENG	ホワイトバランスのプリセット値を 4300K に切り替えます。

可変範囲の はプリセットモードです。

設定メニュー画面 (CAM MAIN MENU 2)

VF DISPLAY 画面

ビューファインダー内の表示情報を設定します。

項目	可変範囲	VF 表示	備考																																			
DISP CONDITION	NORMAL HOLD	USER ENG	NORMAL : ステータスを常に表示 HOLD : MODE CHECK SW が ON のときにステータ スを表示																																			
DISP MODE	1 2 3	USER ENG	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">変 化</th> <th colspan="3">表 示</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FILTER</td> <td>x</td> <td>x</td> <td></td> </tr> <tr> <td>GAIN</td> <td>x</td> <td>x</td> <td></td> </tr> <tr> <td>AWB</td> <td>x</td> <td>x</td> <td></td> </tr> <tr> <td>AUTO KNEE SW</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>SHUTTER</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ABB STATUS</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>AWB STATUS</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	変 化	表 示			1	2	3	FILTER	x	x		GAIN	x	x		AWB	x	x		AUTO KNEE SW	x			SHUTTER	x			ABB STATUS	x			AWB STATUS	x		
変 化	表 示																																					
	1	2	3																																			
FILTER	x	x																																				
GAIN	x	x																																				
AWB	x	x																																				
AUTO KNEE SW	x																																					
SHUTTER	x																																					
ABB STATUS	x																																					
AWB STATUS	x																																					
VF OUT	Y NAM R G B	USER ENG	VF OUT の選択。 NAM (N Additive Mix) : R、G、B の中で一番レ ベルの大きい信号を出力し ます。																																			
VF DTL	0 : 4	USER ENG	VF DTL の選択。 VF 用の信号ディテールを さらに強調します。 「0」の場合は本線と同じ ディテールになります。																																			
ZEBRA1 DETECT	50% : 70% : 110%	USER ENG	ZEBRA1 検出レベル (IRE 値) の設定。																																			
ZEBRA2 DETECT	50% : 85% : 110%	USER ENG	ZEBRA2 検出レベル (IRE 値) の設定。																																			
ZEBRA2	ON OFF SPOT	USER ENG	ZEBRA2 の ON/OFF 切 り替えと SPOT の選定。 < ノート > SPOT で使用する場合は、 ZEBRA2 DETECT の値 を ZEBRA1 DETECT の 値より大きい値に設定し てください。 ZEBRA2 DETECT の値 が、ZEBRA1 DETECT の値以下 の 場 合 は、 ZEBRA 表示をしません。																																			
LOW LIGHT LVL	OFF 20% 25% : 40% 45%	USER ENG	カメラの入力光量が低い ときに LOW LIGHT を表 示する切り替えです。																																			

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

VF MARKER 画面

ビューファインダー内の表示情報を設定します。

項目	可変範囲	VF 表示	備考
SAFETY ZONE	OFF : 3 : 12	USER ENG	セーフティーゾーンの表 示切り替え。 1 : 80%と90%のコー ナー表示 2 : 80%のコーナー表 示 3 : 90%のコーナー表 示 4 : 80%と90%のボ ックス表示 5 : 80%のボックス表 示 6 : 90%のボックス表 示 7 : 4:3 モードで、 80%と90%のコー ナー表示 8 : 4:3 モードで、 80%のコーナー表 示 9 : 4:3 モードで、 90%のコーナー表 示 10 : 4:3 モードで、 80%と90%のボ ックス表示 11 : 4:3 モードで、 80%のボックス表 示 12 : 4:3 モードで、 90%のボックス表 示
CENTER MARK	ON OFF	USER ENG	センターマーカー表示の ON/OFF 切り替え。
FRAME SIG	4:3 13:9 14:9	USER ENG	フレームマーカーの表示 切り替え。
MARK	ON OFF	USER ENG	フレームマーカー表示 ON/OFF 切り替え。
LVL	0 : 15	USER ENG	フレームマーカーより外 側の映像レベル設定。

設定メニュー画面 (CAM MAIN MENU 2)

VF INDICATOR 画面

ビューファインダー内の表示情報を設定します。

項目	可変範囲	VF 表示	備考
EXTENDER	ON OFF	USER ENG	エクステンダー表示の ON/OFF 切り替え。
SHUTTER	ON OFF	USER ENG	シャッター速度表示の ON/OFF 切り替え。
FILTER	ON OFF	USER ENG	フィルター No.表示の ON/OFF 切り替え。
WHITE	ON OFF	USER ENG	AWB PRE/A/B 表示の ON/OFF 切り替え。
GAIN	ON OFF	USER ENG	現在選択されているゲイン表示の ON/OFF 切り替え。
IRIS	IRIS S + IRIS OFF	USER ENG	IRIS : 絞り値のみを表示 S + IRIS : スーパーアイリス ON 状態と絞り値を両方表示 します。 OFF : スーパーアイリス ON 状態と絞り値を両方と も表示しません。
CAMERA ID	ON OFF	USER ENG	カラーバー表示中の ID 表示 ON/OFF 切り替え。
ZOOM LVL	ON OFF	USER ENG	ズームポジション数値の表示 ON/OFF 切り替え。
COLOR TEMP	ON OFF	USER ENG	色温度の表示 ON/OFF 切り替え。

CAMERA ID 画面

カメラ ID の設定を行います。

項目	可変範囲	VF 表示	備考
ID: ***** *****	—	ENG	カメラ ID の入力 (10 文字以内) < ノート > VF DISPLAY 画面の「CAMERA ID」の ON/OFF で、この設定値を MIX するかを選択します。

- JOG ダイヤルボタンを回して ID の位置にカーソルを移動します。
- JOG ダイヤルボタンを押すと、カーソルが点滅します。
- JOG ダイヤルボタンを回して文字を選択します。
JOG ダイヤルボタンを回すと、文字表示が
スペース :
↓
アルファベット : A ~ Z
↓
数字 : 0 ~ 9
↓
記号 : `、>、<、/、
の順に切り替わります。
- JOG ダイヤルボタンを押すと、文字が入力されます。
- JOG ダイヤルボタンを回して、次 (右) の文字位置にカーソルが移動します。
- JOG ダイヤルボタンを押すと、カーソルが点滅します。
- JOG ダイヤルボタンを回して文字を選択し、JOG ダイヤルボタンを押して文字を入力します。

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

設定メニュー画面 (CAM MAIN MENU 2)

SHUTTER SPEED 画面

シャッタースピードの設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
SYNCHRO SCAN	ON OFF	ENG	シンクロスキャンシャッタースピードの設定。
1/100	ON OFF	ENG	シャッタースピード 1/100 の設定 ON/OFF 切り替え。
1/120	ON OFF	ENG	シャッタースピード 1/120 の設定 ON/OFF 切り替え。
1/250	ON OFF	ENG	シャッタースピード 1/250 の設定 ON/OFF 切り替え。
1/500	ON OFF	ENG	シャッタースピード 1/500 の設定 ON/OFF 切り替え。
1/1000	ON OFF	ENG	シャッタースピード 1/1000 の設定 ON/OFF 切り替え。
1/2000	ON OFF	ENG	シャッタースピード 1/2000 の設定 ON/OFF 切り替え。

< ノート >

- SYNCHRO SCAN でシャッター速度を、1/30.3 秒 ~ 1/58.8 秒に設定して明るい被写体を撮影すると、画面上部に横帯状のノイズが発生することがあります。
横帯状ノイズの大きさは、撮影画面の明るさに比例します。
シャッター速度を 1/30.3 秒 ~ 1/58.8 秒に設定して撮影する場合は、ビューファインダーもしくは、モニター TV で十分ご確認のうえ、適切な光量となるようにレンズの絞りなどを調整してご使用ください。
- SYNCHRO SCAN を 1/30.3 (秒) ~ 1/58.8 (秒) に設定する場合と、SUPER V を ON に設定する場合は、CAM MAIN MENU 4 の OPTION 画面で「SLOW SHUTTER」項目と「SUPER V」項目を ON にしてください。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

！ LED 画面

ビューファインダー内の①ランプ表示の ON/OFF を設定します。

項目	可変範囲	VF表示	備考
GAIN (0dB)	ON OFF	USER ENG	ゲインが 0dB 以外の際に点灯するかどうかの選択。
GAIN (-3dB)	ON OFF	USER ENG	ゲインが -3dB 以外の際に点灯するかどうかの選択。
SHUTTER	ON OFF	USER ENG	シャッター ON 時に点灯するかどうかの選択。
WHITE PRESET	ON OFF	USER ENG	AWB の CH が PRESET のときに点灯するかどうかの選択。
EXTENDER	ON OFF	USER ENG	レンズが EXTENDER モードの際に点灯するかどうかの選択。
FILTER	ON OFF	USER ENG	フィルターが 3200K 以外の際に点灯するかどうかの選択。
SUPER V	ON OFF	USER ENG	SUPER V が ON のときに点灯するかどうかの選択。
BLACK STR	ON OFF	USER ENG	ブラックストレッチが ON のときに点灯するかどうかの選択。
D4300K	ON OFF	USER ENG	ホワイトバランスのプリセット値が 4300K のときに点灯するかどうかの選択。
MATRIX	ON OFF	USER ENG	MATRIX が ON のときに点灯するかどうかの選択。
COLOR CORRECTION	ON OFF	USER ENG	COLOR CORRECTION が ON のときに点灯するかどうかの選択。

< ノート >

GAIN (0dB) と GAIN (-3dB) が両方とも ON のときは、ゲインが -3dB と 0dB 以外の際に①ランプが点灯します。

設定メニュー画面 (CAM MAIN MENU 2)

CAMERA SW MODE 画面

カメラのスイッチモードの設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
FILTER INH	<u>ON</u> OFF	USER ENG	各フィルターごとに AWB メモリー (Ach、Bch) のデータを持つか、持たないかの切り替え。 ON : フィルターに無関係に Ach、Bch メモリーのみ (2 メモリー) OFF : 各フィルターごとに持ちます。 (4 × 2 = 8 メモリー)
SHOCKLESS AWB	<u>OFF</u> NORMAL SLOW FAST	USER ENG	SHOCKLESS AWB の選択。 SHOCKLESS AWB は、WHITE BAL SW の A/B/PRST を切り替えたときのショックがありません。 切り替え時間を FAST (高速)、NORMAL (普通)、SLOW (遅く) から選択できます。 FAST (約 0.5 秒)、NORMAL (約 1 秒)、SLOW (約 3 秒)
COLOR BARS	<u>SMPTE</u> FULL BARS	USER ENG	カラーバーを選択します。 SMPTE : SMPTE カラーバー FULL BARS : フルカラーバー
S. GAIN OFF	S.GAIN <u>L/M/H</u>	USER ENG	スーパーゲインモードを解除する方法を選択します。 S.GAIN : スーパーゲイン SW のみで解除します。 L/M/H : L/M/H SW の変化で解除します。
USER1 SW	<u>INH</u> S.GAIN S.IRIS S.BLK S.STR AUDIO CH1 AUDIO CH2	USER ENG	USER1 SW に機能を割り当てます。
USER2 SW	<u>INH</u> S.GAIN S.IRIS S.BLK S.STR AUDIO CH1 AUDIO CH2	USER ENG	USER2 SW に機能を割り当てます。

項目	可変範囲	VF表示	備考
S. BLK LVL	<u>OFF</u> - 10 - 20 - 30	USER ENG	スーパーブラックのレベルを設定します。
ECU DATA SAVE	<u>ON</u> <u>OFF</u>	USER ENG	ON : ECU でコントロールした DATA を記憶します。 OFF : DATA は記憶されません。

SUPER GAIN 画面

SUPER GAIN スイッチに割り付けるゲインの設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
S. GAIN VALUE	<u>18dB</u> 21dB 24dB 27dB 30dB	USER ENG	SUPER GAIN SW が押されたときのゲインを選択します。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

設定メニュー画面 (CAM MAIN MENU 3)

CAM CARD READ/WRITE 画面

メニューデータのセットアップカードへの読み出し / 書き込みおよびコンフィグレーションを行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
SELECT	1 ⋮ 8	USER ENG	読み出す (READ) ファイルの番号を選択します。
READ	—	USER ENG	セットアップカードのデータを読み出します。
SELECT	1 ⋮ 8	USER ENG	書き込む (WRITE) ファイルの番号を選択します。
WRITE	—	USER ENG	カメラのデータをセットアップカードへ書き込みます。
CARD CONFIG	—	USER ENG	セットアップカードをフォーマットします。
READ USER DATA	—	USER ENG	カメラのメモリのユーザーエリアデータを読み込みます。
TITLE	—	USER ENG	各ファイルに 8 文字までのタイトル名が設定できます。

CAM CARD R/W SELECT 画面

特定のメニューデータをセットアップカードへ記録 / 読み出しする設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
ID READ/WRITE	ON OFF	USER ENG	<p>セットアップカードの READ/WRITE 時に CAMERA ID の記録 / 読み出しの ON/OFF 切り替え。</p> <p>ON : 記録 / 読み出しをします。</p> <p>OFF : 記録 / 読み出しをしません。</p> <p>例： セットアップカードの READ/WRITE するときに CAMERA ID の内容を変更したくない場合は、ID READ/WRITE を OFF にしてご使用ください。</p>

CAM CARD R/W SELECT 画面

項目	可変範囲	VF表示	備考
CAM MAIN MENU1 LEVEL R/W	ON OFF	USER ENG	<p>セットアップカードの READ/WRITE 時に CAM MAIN MENU1 (■ マーク以外の項目) の記録 / 読み出しの ON/OFF 切り替え。</p> <p>ON : 記録 / 読み出しをします。</p> <p>OFF : 記録 / 読み出しをしません。</p> <p>< ノート > ■ マークの項目は、79 ページを参照してください。</p>
CAM MAIN MENU1 SW (■) R/W	ON OFF	USER ENG	<p>セットアップカードの READ/WRITE 時に CAM MAIN MENU1 (■ マークの項目) の記録 / 読み出しの ON/OFF 切り替え。</p> <p>ON : 記録 / 読み出しをします。</p> <p>OFF : 記録 / 読み出しをしません。</p>
CAM MAIN MENU2 R/W	ON OFF	USER ENG	<p>セットアップカードの READ/WRITE 時に CAM MAIN MENU2 の記録 / 読み出しの ON/OFF 切り替え。</p> <p>ON : 記録 / 読み出しをします。</p> <p>OFF : 記録 / 読み出しをしません。</p>
CAM MAIN MENU3 R/W	ON OFF	USER ENG	<p>セットアップカードの READ/WRITE 時に CAM MAIN MENU3 の記録 / 読み出しの ON/OFF 切り替え。</p> <p>ON : 記録 / 読み出しをします。</p> <p>OFF : 記録 / 読み出しをしません。</p>
CAM MAIN MENU4 R/W	ON OFF	USER ENG	<p>セットアップカードの READ/WRITE 時に CAM MAIN MENU4 の記録 / 読み出しの ON/OFF 切り替え。</p> <p>ON : 記録 / 読み出しをします。</p> <p>OFF : 記録 / 読み出しをしません。</p>

可変範囲の ___ はプリセットモードです。

設定メニュー画面 (CAM MAIN MENU 3)

GENLOCK/IRIS 画面

GENLOCK と IRIS 制御の設定を行います。

項目	可変範囲	VF 表示	備考
H PHASE COARSE	0 : 7 : 15	USER ENG	GENLOCK 時の H PHASE の粗調整
H PHASE FINE	0 : 32 : 64	USER ENG	GENLOCK 時の H PHASE の微調整
A. IRIS LEVEL	0 : 82 : 100	USER ENG	AUTO IRIS 目標値の設定。 この値で、明るさ (IRIS) をコントロールします。数値が大きいほど明るくなります。
A. IRIS PEAK/AVE	0 : 16 : 100	USER ENG	AUTO IRIS のピークと平均値の割合の設定。0 に近づく程 AVE 制御型になり、100 に近づくほどピーク制御型になります。
A. IRIS MODE	NORM1 NORM2 CENTR	USER ENG	AUTO IRIS のモード選択。 NORM1 : 画面全体で光を計測します。(周辺部は除く) NORM2 : 画面全体で光を計測します。(上部は除く) CENTR : 画面中心部のみの光を計測します。
S. IRIS LEVEL	0 : 100	USER ENG	SUPER IRIS 目標値の設定 (逆光補正モード)

LENS ADJ 画面

レンズの調整を行います。

項目	可変範囲	VF 表示	備考
F2.8 ADJ	ON OFF	USER ENG	ON で選択されているときのみ電圧出力。
F16 ADJ	ON OFF	USER ENG	ON で選択されているときのみ電圧出力。

< ノート >

レンズ絞りのオープン端、クローズ端調整ができるレンズをご使用の場合は、“F2.8ADJ” または、“F16ADJ” を ON にし、レンズ絞りが “F2.8” または、“F16” になるように、何度か繰り返し調整してください。

(この調整機能を持っていないレンズの場合は、調整は不要です。)

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

設定メニュー画面 (CAM MAIN MENU 4)

CAM USER MENU SELECT 1 ~ 3 画面

各 SUB メニューに割り当てられた項目 (CAM MAIN MENU 1 ~ 3 画面と同じ項目内容) を USER MENU 画面へ登録する設定を行います。

各項目の先頭部に、登録の ON (*) / OFF (●) を設定します。

カメラ部の登録数は、42 項目までです。

CAM USER MENU SELECT 1 画面

SUB メニュー	VF 表示	備 考
ROP	ENG	ROP 画面を開くインデックスです。
LOW SETTING	ENG	LOW SETTING 画面を開くインデックスです。
MID SETTING	ENG	MID SETTING 画面を開くインデックスです。
HIGH SETTING	ENG	HIGH SETTING 画面を開くインデックスです。
ADDITIONAL DTL1	ENG	ADDITIONAL DTL1 画面を開くインデックスです。
ADDITIONAL DTL2	ENG	ADDITIONAL DTL2 画面を開くインデックスです。
SKIN TONE DTL	ENG	SKIN TONE DTL 画面を開くインデックスです。
KNEE/LEVEL	ENG	KNEE/LEVEL 画面を開くインデックスです。
GAMMA	ENG	GAMMA 画面を開くインデックスです。
CAMERA SETTING	ENG	CAMERA SETTING 画面を開くインデックスです。

CAM USER MENU SELECT 2 画面

SUB メニュー	VF 表示	備 考
VF DISPLAY	ENG	VF DISPLAY 画面を開くインデックスです。
VF MARKER	ENG	VF MARKER 画面を開くインデックスです。
VF INDICATOR	ENG	VF INDICATOR 画面を開くインデックスです。
!LED	ENG	!LED 画面を開くインデックスです。
CAMERA SW MODE	ENG	CAMERA SW MODE 画面を開くインデックスです。
SUPER GAIN	ENG	SUPER GAIN 画面を開くインデックスです。

CAM USER MENU SELECT 3 画面

SUB メニュー	VF 表示	備 考
CAM CARD READ/WRITE	ENG	CAM CARD READ/WRITE 画面を開くインデックスです。
CAM CARD R/W SELECT	ENG	CARD R/W SELECT 画面を開くインデックスです。
GENLOCK/IRIS	ENG	GENLOCK/IRIS 画面を開くインデックスです。

設定メニュー画面 (CAM MAIN MENU 4)

BLACK SHADING 画面

ブラックシェーディングの調整を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
DETECTION	—	ENG	デジタルシェーディング補正の実行
CORRECT (DIG)	ON OFF	ENG	デジタルシェーディング補正のON/OFF切り替え
CORRECT (ANA)	ON OFF	ENG	アナログオートシェーディング補正のON/OFF切り替え

FLARE 画面

カメラのフレアの設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
R FLARE	0 : 100	ENG	Rch フレアの設定。プリセット値はカメラにより異なります。
G FLARE	0 : 100	ENG	Gch フレアの設定。プリセット値はカメラにより異なります。
B FLARE	0 : 100	ENG	Bch フレアの設定。プリセット値はカメラにより異なります。

WHITE SHADING 画面

ホワイトシェーディングの調整を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
DETECTION (V SAW)	—	ENG	アナログシェーディング補正の実行
CORRECT	ON OFF	ENG	シェーディング補正のON/OFF切り替え

COLORIMETRY 画面

輝度信号の規格を選択します。

項目	可変範囲	VF表示	備考
MATRIX	SMPTE-274 SMPTE-240 NTSC	ENG	輝度信号の規格を選択します。

可変範囲の — はプリセットモードです。

設定メニュー画面 (CAM MAIN MENU 4)

INITIALIZE 画面

カメラメニュー設定の初期化や、シーンファイルの保存を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
READ FACTORY DATA	—	ENG	カメラメニューのデータを工場出荷時のデータに戻します。
WRITE USER DATA	—	ENG	ユーザー固有のカメラメニューデータを本機のメモリーにセーブします。
SCENE SEL	1 : 4	ENG	シーンファイルの番号を指定します。
READ	—	ENG	SCENE SEL で指定されたシーンファイルを読み出します。
WRITE	—	ENG	SCENE SEL で指定されたシーンファイルに書き込みます。
RESET	—	ENG	シーンファイルのデータを工場出荷時のデータに戻します。
TITLE 1	—	ENG	シーンファイル No. 1 にタイトル名を設定します。
TITLE 2	—	ENG	シーンファイル No. 2 にタイトル名を設定します。
TITLE 3	—	ENG	シーンファイル No. 3 にタイトル名を設定します。
TITLE 4	—	ENG	シーンファイル No. 4 にタイトル名を設定します。

DIAGNOSTIC 画面

使用状況やソフトウェアバージョンを表示します。

項目	可変範囲	VF表示	備考
CAMSOFT (IN)	—	ENG	内蔵フラッシュメモリー用ソフトのバージョン表示
CAMSOFT (OUT)	—	ENG	外部フラッシュメモリー用ソフトのバージョン表示
GAMMA GAIN	—	ENG	ガンマテーブルのバージョン表示
GAMMA RAM	—	ENG	ブラックガンマテーブルのバージョン表示
KNEE	—	ENG	KNEE テーブルのバージョン表示
PLD	—	ENG	PLD 用ソフトのバージョン表示

可変範囲の — はプリセットモードです。

EVALUATION 画面

各項目の測定を行います。

(S/N、MODULATION、RESOLUTION、SENSITIVITY)

SUBメニュー	VF表示	備考
S/N	ENG	S/Nの測定画面を開くインデックスです。
MODULATION	ENG	変調度の測定画面を開くインデックスです。
RESOLUTION	ENG	解像度の測定画面を開くインデックスです。
SENSITIVITY	ENG	感度の測定画面を開くインデックスです。

OPTION 画面

エンジニアメニューの表示を選択します。

項目	可変範囲	VF表示	備考
ENG SECURITY	ON OFF	ENG	エンジニアメニューの表示を選択 ON : エンジニアメニューを表示しません。 OFF : エンジニアメニューを表示します。
SHD, ABB SW CRTL	ON OFF	ENG	8秒間以上 AUTO W/B BAL スイッチを ABB 側に押し続けたときの、ブラックシェーディング自動補正を選択します。 ON : ブラックシェーディングの自動補正を行います。 OFF : ブラックシェーディングの自動補正を行いません。
AWB AREA	90% 50%	ENG	ホワイトバランスの検出領域を選択します。
SLOW SHUTTER	ON OFF	ENG	SYNCHRO SCAN で設定できるシャッタースピードの範囲に、1/30.3 (秒) ~ 1/58.8 (秒) を追加する設定。
SUPER V	ON OFF	ENG	スーパーVモード(垂直高解像度モード)の設定。 <ノート> ON に設定すると、感度が低下します。

< ノート >

ENG SECURITY の解除については、最寄りのサービスセンターにご相談ください。

設定メニュー画面 (CAM MAIN MENU 4)

EVALUATION 画面

● S/N 測定画面

S/N の測定を行います。

項目	可変範囲	VF 表示	備考
S/N	ON OFF	ENG	S/N の測定 ON/OFF を設定します。
DETAIL	ON OFF	ENG	DETAIL の ON/OFF を行います。
H-F COMPE.	ON OFF	ENG	高域周波数補正の ON/OFF を行います。
GAMMA	ON OFF	ENG	GAMMA の ON/OFF を行います。
MATRIX	ON OFF	ENG	MATRIX の ON/OFF を行います
FLARE	ON OFF	ENG	FLARE の ON/OFF を行います。
M. PED	- 200 ⋮ + 140 ⋮ + 200	ENG	マスターペダスタルの調整を行います。

● 解像度測定画面

解像度の測定を行います。

項目	可変範囲	VF 表示	備考
RESOLUTION	ON OFF	ENG	解像度の測定 ON/OFF を設定します。
DETAIL	ON OFF	ENG	DETAIL の ON/OFF を行います。
H-F COMPE.	ON OFF	ENG	高域周波数補正の ON/OFF を行います。
GAMMA	ON OFF	ENG	GAMMA の ON/OFF を行います。
MATRIX	ON OFF	ENG	MATRIX の ON/OFF を行います
FLARE	ON OFF	ENG	FLARE の ON/OFF を行います。
M. PED	- 100 ⋮ + 18 ⋮ + 100	ENG	マスターペダスタルの調整を行います。

● 変調度測定画面

変調度の測定を行います。

項目	可変範囲	VF 表示	備考
MODULATION	ON OFF	ENG	変調度の測定 ON/OFF を設定します。
DETAIL	ON OFF	ENG	DETAIL の ON/OFF を行います。
H-F COMPE.	ON OFF	ENG	高域周波数補正の ON/OFF を行います。
GAMMA	ON OFF	ENG	GAMMA の ON/OFF を行います。
MATRIX	ON OFF	ENG	MATRIX の ON/OFF を行います
FLARE	ON OFF	ENG	FLARE の ON/OFF を行います。
M. PED	- 100 ⋮ + 18 ⋮ + 100	ENG	マスターペダスタルの調整を行います。

● 感度測定画面

感度の測定を行います。

項目	可変範囲	VF 表示	備考
SENSITIVITY	ON OFF	ENG	感度の測定 ON/OFF を設定します。
KNEE	ON OFF	ENG	KNEE の ON/OFF を行います。
W. CLIP	ON OFF	ENG	ホワイトクリップの ON/OFF を行います。
M. PED	- 100 ⋮ + 18 ⋮ + 100	ENG	マスターペダスタルの調整を行います。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

設定メニュー画面 (VTR MENU)

VTR MAIN MENU 画面

SUB メニュー	VF表示	備 考
FUNCTION	ENG	FUNCTION 画面を開くインデックスです。
BATTERY/ TAPE	ENG	BATTERY/TAPE 画面を開くインデックスです。
BATTERY SETTING	ENG	BATTERY SETTING 画面を開くインデックスです。
VTR VF INDICATOR	ENG	VTR VF INDICATOR 画面を開くインデックスです。
MIC/AUDIO	ENG	MIC/AUDIO 画面を開くインデックスです。
TC/UB	ENG	TC/UB 画面を開くインデックスです。
TIME/DATE	ENG	TIME/DATE 画面を開くインデックスです。
VTR USER MENU SELECT	ENG	VTR USER MENU SELECT 画面を開くインデックスです。
VTR CARD READ/WRITE	ENG	VTR CARD READ/WRITE 画面を開くインデックスです。
VTR INITIALIZE	ENG	VTR INITIALIZE 画面を開くインデックスです。
DIAGNOSTIC	ENG	VTR DIAGNOSTIC 画面を開くインデックスです。

設定メニュー画面 (VTR MAIN MENU)

FUNCTION 画面

VTR の機能の設定を行います。

項目	可変範囲	VF 表示	備考
NEWS REC MODE	OFF 0.2 : 2.0	USER ENG	REC 時における VTR START ボタンの受付時間の選択。 OFF : VTR START ボタンをすぐに受け付け、記録を停止して REC PAUSE モードになります。 0.2 ~ 2.0 : 設定された時間内は、VTR START ボタンを受け付けずに記録を継続します。 (0.2 秒単位)
HUMID OPE	ON OFF	USER ENG	結露状態での VTR の動作の選択。 ON : 通常通りの動作を続ける。 OFF : POWER SW と EJECT ボタン以外の動作を禁止します。
REC START	ALL NORMAL	USER ENG	VTR START ボタンでの REC の受け付けを選択。 ALL : VTR モードに関係なく REC を受け付ける。 NORMAL : STOP (POWER SAVE) モードと REC PAUSE モードのときのみ REC を受け付ける。
PAUSE TIMER	10 20 30 60	USER ENG	REC PAUSE を保持する時間の選択。 10/20/30/60 : 10/20/30/60 分間
RETAKE MODE	ON OFF	USER ENG	記録開始時の位置にテープを巻き戻す機能。 ON : RETAKE 機能が動作します。 OFF : RETAKE 機能が動作しません。 < ノート > 本機の電源スイッチを ON にしたときは、RETAKE 機能が OFF になります。

項目	可変範囲	VF 表示	備考
HD SDI OUT	ON SIDE SW AUTO OFF	USER ENG	HD SDI OUT の出力を制御します。 ただし、記録中は HD SDI OUT 出力の ON/OFF 切り替えができません。記録開始前の状態を維持します。 ON : 強制的に出力します。ただし、サイドパネルの MONITOR OUT の SDI スイッチが OFF のときは、EE/PB モードとして出力します。 SIDE SW : サイドパネルの MONITOR OUT の SDI スイッチが OFF のときは出力しません。 AUTO : 出力端子にコネクタが装着されているときに出力します。ただし、サイドパネルの MONITOR OUT の SDI スイッチが OFF のときは、EE/PB モードとして出力します。 OFF : 出力を停止します。
INTERVAL REC MODE	ON OFF	USER ENG	間欠記録モードの選択 ON : 間欠記録を行います。 OFF : 間欠記録を行いません。 < ノート > 本機の電源スイッチを ON にしたときは、間欠記録モードが OFF になります。
INTERVAL REC TIME	00s10f : 59s29f	USER ENG	間欠記録時の REC 時間の設定 < ノート > 1 秒以下に設定した場合、初回の記録時間は 1 秒になります。
INTERVAL PAUSE TIME	00h00m02s : 23h59m59s	USER ENG	間欠記録時の REC PAUSE 時間の設定

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

設定メニュー画面 (VTR MAIN MENU)

BATTERY/TAPE 画面

撮影中にバッテリー残量とテープ残量の警告音が気になる場合は、警告音を切ることができます。

項目	可変範囲	VF表示	備考
BATTERY SELECT	AJ-BP490 AU-BP402 HP-30A PRO14 TRIM14 TRIM13 DIGITAL14 DIGITAL13 BP-H90 BP-H100 NP-L40 NP-L40 D BP-L60/90 NP-1B	USER ENG	使用するバッテリーの種類を選択します。 AJ-BP490 : AJ-BP490 バッテリー AU-BP402 : AU-BP402 バッテリー HP-30A : PACO 社製 HP-30A バッテリー PRO14 : アントン社製 PRO14 バッテリー TRIM14 : アントン社製 TRIM14 バッテリー TRIM13 : アントン社製 TRIM13 バッテリー DIGITAL14 : アントン社製デジタルバッテリー (14V) DIGITAL13 : アントン社製デジタルバッテリー (13V) BP-H90 : IDX 社製 BP-H90 バッテリー BP-H100 : IDX 社製 BP-H100 バッテリー NP-L40 : IDX 社製 NP-L40 バッテリー NP-L40 D : IDX 社製 NP-L40D デジタルバッテリー BP-L60/90 : SONY 社製 BP-L60/90 バッテリー NP-1B : SONY 社製 NP-1B バッテリー
EXT DC IN SELECT	AC-ADPT AJ-BP490 AU-BP402 HP-30A PRO14 TRIM14 TRIM13 BP-H90 BP-H100 NP-L40 BP-L60/90 NP-1B	USER ENG	使用する電源を設定します。 ACアダプターまたは、BATTERY SELECT画面で選択したバッテリーを設定します。

項目	可変範囲	VF表示	備考
BATT NEAR END ALARM	ON OFF	USER ENG	バッテリー消耗間近での警告音 ON/OFF 切り替え。
BATT NEAR END CANCEL	ON OFF	USER ENG	MODE スイッチにより、バッテリー消耗間近での警告音を止める機能を切り替えます。
BATT END ALARM	ON OFF	USER ENG	バッテリー消耗時での警告音 ON/OFF 切り替え。
BATT REMAIN FULL	100% 70%	USER ENG	LCD 表示窓に表示されるバッテリー残量表示が FULL 状態 (7つのセグメントが全て点灯した状態) での容量を表します。
TAPE NEAR END ALARM	ON OFF	USER ENG	テープ終端間近での警告音 ON/OFF 切り替え。
TAPE NEAR END TIME	3min 2min	USER ENG	テープ終端間近に警告音を鳴らす、テープの残量時間を設定。
TAPE END ALARM	ON OFF	USER ENG	テープ終端時での警告音 ON/OFF 切り替え。
TAPE REMAIN/■	3min/■ 5min/■	USER ENG	LCD 表示窓に表示されるテープ残量表示のセグメント1つの時間を設定します。 3min/■ : セグメント1つを3分に設定します。 5min/■ : セグメント1つを5分に設定します。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

設定メニュー画面 (VTR MAIN MENU)

BATTERY SETTING 画面

使用するバッテリーの種類や設定を行います。

項目	可変範囲	VF 表示	備考
AJ-BP490	MANUAL AUTO	ENG	AJ-BP490 および PACO 社製 HP-90A バッテリーの設定
AU-BP402	MANUAL AUTO	ENG	AU-BP402 バッテリーの設定
HP-30A	MANUAL AUTO	ENG	PACO 社製 HP-30A バッテリーの設定
PRO14	MANUAL AUTO	ENG	アントン社製 PRO14 バッテリーの設定
TRIM14	MANUAL AUTO	ENG	アントン社製 TRIM14 バッテリーの設定
TRIM13	MANUAL AUTO	ENG	アントン社製 TRIM13 バッテリーの設定
DIGITAL14	MANUAL AUTO	ENG	アントン社製デジタルバッテリー (14V) の設定
DIGITAL13	MANUAL AUTO	ENG	アントン社製デジタルバッテリー (13V) の設定
BP-H90	MANUAL AUTO	ENG	IDX 社製 BP-H90 バッテリーの設定
BP-H100	MANUAL AUTO	ENG	IDX 社製 BP-H100 バッテリーの設定
NP-L40	MANUAL AUTO	ENG	IDX 社製 NP-L40 バッテリーの設定
NP-L40 D	MANUAL AUTO	ENG	IDX 社製 NP-L40D デジタルバッテリーの設定
BP-L60/90	MANUAL AUTO	ENG	SONY 社製 BP-L60/90 バッテリーの設定
NP-1B	MANUAL AUTO	ENG	SONY 社製 NP-1B バッテリーの設定

< ノート >

1. 各項目の ON/OFF は、項目の前に * と ● で表示されます。

* : ON

● : OFF

2. JOG ダイヤルボタンを押す毎に、

ON/OFF の設定



AUTO/MANUAL の設定

AUTO : 各バッテリーにプリセットされている NEAR END 電圧値

MANUAL : 各バッテリーの NEAR END 電圧値が変更可能



NEAR END 電圧の設定



項目の移動

と移行していきます。

VTR VF INDICATOR 画面

ビューファインダー内の表示情報を設定します。

項目	可変範囲	VF 表示	備考
TAPE (IND)	ON OFF	USER ENG	テープ残量表示の ON/OFF 切り替え。
BATTERY (IND)	ON OFF	USER ENG	バッテリー電圧表示の ON/OFF 切り替え。
LEVEL METER (IND)	CH1 CH1・CH2 OFF	USER ENG	オーディオレベルメータ表示の選択。 CH1 : CH1 のみ表示します。 CH1・CH2 : CH1 と CH2 の両方を表示します。 OFF : 表示しません。
AUDIO IN (IND)	ON OFF	USER ENG	オーディオ入力表示の ON/OFF 切り替え。 ON : オーディオ入力を表示します。 OFF : オーディオ入力を表示しません。
TC (IND)	ON OFF	USER ENG	タイムコード表示の ON/OFF 切り替え。 ON : タイムコードを表示します。 OFF : タイムコードを表示しません。
VTR WARNING (IND)	ALWAYS NORMAL OFF	USER ENG	VTR のワーニング表示内容を設定します。 ALWAYS : ワーニングが発生した場合、常に表示します。 NORMAL : ワーニングが発生後 3 秒間と、REC 開始後や REC 終了後の 3 秒間に表示します。 OFF : 表示しません。
SAVE LED	SAVE&TAPE SAVE	USER ENG	SAVE ランプの動作を設定します。 SAVE : VTR SAVE/STBY スイッチを SAVE にしたときに点灯します。記録中は消灯します。 SAVE&TAPE : VTR SAVE/STBY スイッチを SAVE にしたときに点灯します。記録中は消灯します。また、テープの終端間近には、テープの終端間近に鳴る警告アラームに連動して点滅します。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

設定メニュー画面 (VTR MAIN MENU)

MIC/AUDIO 画面

MIC/AUDIO の設定を行います。

項目	可変範囲	VF 表示	備考
FRONT MIC POWER	ON OFF	USER ENG	ON : フロントマイクにファントム電源を供給します。 OFF : フロントマイクにファントム電源を供給しません。
MIC LOWCUT CH1	FRONT REAR F&R OFF	USER ENG	CH1 マイク入力へのハイパスフィルターを設定 FRONT : フロントマイクの入力にハイパスフィルターを ON します。 REAR : リアマイクの入力にハイパスフィルターを ON します。 F&R : フロントマイクとリアマイクの入力にハイパスフィルターを ON します。 OFF : CH1 入力のハイパスフィルターを OFF にします。
MIC LOWCUT CH2	FRONT REAR F&R OFF	USER ENG	CH2 マイク入力へのハイパスフィルターを設定 FRONT : フロントマイクの入力にハイパスフィルターを ON します。 REAR : リアマイクの入力にハイパスフィルターを ON します。 F&R : フロントマイクとリアマイクの入力にハイパスフィルターを ON します。 OFF : CH1 入力のハイパスフィルターを OFF にします。
LIMITER	ON OFF	USER ENG	AUDIO LIMITER の ON/OFF 切り替え。 ON : リミッター動作します。 OFF : リミッター動作しません。

< ノート >

MIC LOWCUT ON 時の周波数特性は、200Hz ~ 10kHz になります。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

項目	可変範囲	VF 表示	備考
TEST TONE	NORMAL ALWAYS OFF CHSEL	USER ENG	NORMAL : CAM/BAR SW が BAR 側で、AUDIO IN SW の CH1 が FRONT のときに TEST TONE 信号を出力します。 ALWAYS : CAM/BAR SW が BAR のとき TEST TONE 信号を出力します。 OFF : TEST TONE は信号出力しません。 CHSEL : CAM/BAR SW が BAR 側で、AUDIO IN SW の CH1 または CH2 が FRONT のときに、選択されているチャンネルに TEST TONE 信号を出力します。
REC CH3/CH4	CH1/2 CH3/4	USER ENG	CH3トラックとCH4トラックに記録する音声信号を設定します。 CH1/2 : CH1 信号を CH3 トラックに記録し、CH2 信号を CH4 トラックに記録します。 CH3/4 : カメラアダプターから入力される信号 CH3 信号と CH4 信号を記録します。
CUE SELECT	SIDE SW CH1 CH2 MIX	USER ENG	CUEトラックに記録する音声信号を設定します。 SIDE SW : サイドパネルの CUE スイッチで選択された信号を記録します。 CH1 : CH1 信号を記録します。 CH2 : CH2 信号を記録します。 MIX : CH1 と CH2 のミックス信号を記録します。
CUE REC	ON OFF	USER ENG	CUEトラックに信号を記録する設定を行います。 ON : CUEトラックに信号を記録します。 OFF : CUEトラックに信号を記録しません。省電力モードになります。

設定メニュー画面 (VTR MAIN MENU)

TC/UB 画面

タイムコードやユーザーズビットの設定を行います。

項目	可変範囲	VF表示	備考
TC MODE	DF NDF	USER ENG	タイムコードの DF/NDF 切り替え。 DF : ドロップフレームモード NDF : ノンドロップフレームモード
UB MODE	USER DATE TIME EXT TCG	USER ENG	LTC 領域に書き込むユーザーズビットの内容 USER : ユーザー設定値 (固定値) DATE : 年 / 月 / 日 / 時のリアルタイム値 TIME : 時 / 分 / 秒のリアルタイム値 EXT : 外部から TC 入力がある時、UBG 値がスレーブブロックします。(外部入力がないときは、ユーザー設定値を使います) TCG : タイムコードジェネレーター値 <ノート> UB MODE をリアルタイム動作で使用する場合は「TIME/DATE」メニュー画面で時刻の設定を行います。
TCG SET HOLD	ON OFF	USER ENG	TCG SET ⇨ 電源 OFF ⇨ 電源 ON ⇨ REC での TCG の動作選択 ON : TCG SET したことを電源 OFF 時に記憶し、REGEN しません。 OFF : TCG SET したことを電源 OFF 時に記憶せず、REGEN します。
FIRST REC TC	REGEN PRESET	USER ENG	記録開始時の TC REGEN モードを設定します。 REGEN : テープ上のタイムコードにリジェネします。 PRESET : テープ上のタイムコードにリジェネを行いません。ただし REC/PAUSE から REC になったときは強制的にリジェネします。

項目	可変範囲	VF表示	備考
P. OFF LCD DISPLAY	ON OFF	USER ENG	電源 OFF 時における LCD 表示の設定 ON : 電源 OFF 時でも LCD の表意を行います。 OFF : 電源 OFF 時には、LCD の表意を行いません。 省電力モードになります。
TC OUT	TCG TCG/TCR	USER ENG	タイムコード出力端子に出力されるタイムコードを選択します。 TCG : 常にタイムコードジェネレーター値を出力します。 TCG/TCR : E-E 時はタイムコードジェネレーター値を出力し、V-V 時はタイムコードリーダー値を出力します。
VITC UB MODE	USER DATE TIME EXT TCG	USER ENG	VITC 領域に書き込むユーザーズビットの内容 USER : ユーザー設定値 (固定値) DATE : 年 / 月 / 日 / 時のリアルタイム値 TIME : 時 / 分 / 秒のリアルタイム値 EXT : 外部から TC 入力がある時、UBG 値がスレーブブロックします。(外部入力がないときは、ユーザー設定値を使います) TCG : タイムコードジェネレーター値 <ノート> UB MODE をリアルタイム動作で使用する場合は「TIME/DATE」メニュー画面で時刻の設定を行います。

<ノート>

UB MODE 項目を USER に設定した場合、VITC UB MODE 項目を EXT に設定することはできません。同様に VITC UB MODE 項目を USER に設定した場合、UB MODE 項目を EXT に設定することはできません。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

設定メニュー画面 (VTR MAIN MENU)

TIME DATE 画面

日付 / 時刻の設定を行います。

項目	可変範囲	VF 表示	備考
YEAR	00 ~ 99	ENG	年の設定
MONTH	1 ~ 12	ENG	月の設定
DAY	1 ~ 31	ENG	日の設定
HOUR	0 ~ 23	ENG	時の設定
MINUTE	0 ~ 59	ENG	分の設定
■ TIME/DATE SET	—	ENG	日付 / 時刻の確定

VTR INITIALIZE 画面

VTR MENU 設定の初期化や、ユーザーデータの保存を行います。

項目	可変範囲	VF 表示	備考
READ FACTORY DATA	—	ENG	メニューデータを工場出荷時のデータに戻します。
WRITE VTR USER DATA	—	ENG	ユーザー固有の VTR MENU データを本機のメモリーにセーブします。

VTR USER MENU SELECT 画面

この画面は、VTR 部の USER MENU へ登録する項目の画面を開くためのインデックス画面です。

SUB メニュー	VF 表示	備考
FUNCTION	ENG	FUNCTION 画面を開くインデックスです。
BATTERY/TAPE	ENG	BATTERY/TAPE 画面を開くインデックスです。
VTR VF INDICATOR	ENG	VTR VF INDICATOR 画面を開くインデックスです。
MIC/AUDIO	ENG	MIC/AUDIO 画面を開くインデックスです。
TC/UB	ENG	TC/UB 画面を開くインデックスです。

DIAGNOSTIC 画面

使用状況やソフトウェアバージョンを表示します。

項目	可変範囲	VF 表示	備考
OPERATION	—	ENG	電源 ON での使用時間
DRUM RUNNING	—	ENG	ドラムの回転時間
THREADING	—	ENG	ローディング回数
VTR SYSCON	—	ENG	システムマイコンのバージョン表示
SERVO	—	ENG	サーボマイコンのバージョン表示
MECHACON	—	ENG	メカニズム制御マイコンのバージョン表示
FRONT	—	ENG	LCD パネル駆動マイコンのバージョン表示

VTR CARD READ/WRITE 画面

メニューデータのセットアップカードへの読み込み / 書き込みを行います。

項目	可変範囲	VF 表示	備考
READ	—	ENG	セットアップカードの VTR データを読み出します。
WRITE	—	ENG	VTR のデータをセットアップカードへ書き込みます。
READ USER DATA	—	ENG	本機の内部メモリーの、VTR ユーザーエリアデータを読み込みます。

可変範囲の — はプリセットモードです。

設定メニュー画面 (VTR USER MENU SELECT)

USER MENU 画面への登録 ON (*) /OFF (●) を設定します。
VTR 部の登録数は、14 項目までです。

FUNCTION 画面

項目	可変範囲	VF 表示	備考
NEWS REC MODE	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、NEWS REC MODE 項目を登録する設定。
HUMID OPE	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、HUMID OPE 項目を登録する設定。
REC START	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、REC START 項目を登録する設定。
PAUSE TIMER	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、PAUSE TIMER 項目を登録する設定。
RETAKE MODE	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、RETAKE MODE 項目を登録する設定。
HD SDI OUT	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、HD SDI OUT 項目を登録する設定。
INTERVAL REC MODE	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、INTERVAL REC MODE 項目を登録する設定。
INTERVAL REC TIME	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、INTERVAL REC TIME 項目を登録する設定。
INTERVAL PAUSE TIME	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、INTERVAL PAUSE TIME 項目を登録する設定。

BATTERY/TAPE 画面

項目	可変範囲	VF 表示	備考
BATTERY SELECT	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、BATTERY SELECT 項目を登録する設定。
EXT DC IN SELECT	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、EXT DC IN SELECT 項目を登録する設定。
BATT NEAR END ALARM	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、BATT NEAR END ALARM 項目を登録する設定。
BATT NEAR END CANCEL	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、BATT NEAR END CANCEL 項目を登録する設定。
BATT END ALARM	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、BATT END ALARM 項目を登録する設定。
BATT REMAIN FULL	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、BATT REMAIN FULL 項目を登録する設定。
TAPE NEAR END ALARM	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、TAPE NEAR END ALARM 項目を登録する設定。
TAPE NEAR END TIME	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、TAPE NEAR END TIME 項目を登録する設定。
TAPE END ALARM	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、TAPE END ALARM 項目を登録する設定。
TAPE REMAIN /■	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、TAPE REMAIN /■項目を登録する設定。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

設定メニュー画面 (VTR USER MENU SELECT)

USER MENU 画面への登録 ON (*) / OFF (●) を設定します。
VTR 部の登録数は、14 項目までです。

VTR VF INDICATOR 画面

項目	可変範囲	VF 表示	備考
TAPE (IND)	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、 TAPE (VF INDICATOR) 項目を登録する設定。
BATTERY (IND)	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、 BATTERY (VF INDICATOR) 項目を登録 する設定。
LVEL METER (IND)	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、 LVEL METER (VF INDICATOR) 項目を登録 する設定。
AUDIO IN (IND)	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、 AUDIO IN (VF INDICATOR) 項目を登録 する設定。
TC (IND)	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、 TC (VF INDICATOR) 項 目を登録する設定。
VTR WARNING (IND)	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、 VTR WARNING (VF INDICATOR) 項目を登録 する設定。
SAVE LED	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、 SAVE LED 項目を登録す る設定。

MIC/AUDIO 画面

項目	可変範囲	VF 表示	備考
FRONT MIC POWER	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、 FRONT MIC POWER 項 目を登録する設定。
MIC LOWCUT CH1	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、 MIC LOWCUT CH1 項目 を登録する設定。
MIC LOWCUT CH2	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、 MIC LOWCUT CH2 項目 を登録する設定。
LIMITER	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、 LIMITER 項目を登録する 設定。
TEST TONE	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、 TEST TONE 項目を登録 する設定。
REC CH3/CH4	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、 REC CH3/CH4 項目を 登録する設定。
CUE SELECT	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、 CUE SELECT 項目を登 録する設定。
CUE REC	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、 CUE REC 項目を登録す る設定。

TC/UB 画面

項目	可変範囲	VF 表示	備考
TC MODE	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、 TC MODE 項目を登録す る設定。
UB MODE	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、 UB MODE 項目を登録す る設定。
TCG SET HOLD	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、 TCG SET HOLD 項目を 登録する設定。
FIRST REC TC	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、 FIRST REC TC 項目を登 録する設定。
P.OFF LCD DISPLAY	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、 P.OFF LCD DISPLAY 項目を登録する設定。
TC OUT	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、 TC OUT 項目を登録する 設定。
VITC UB MODE	* ●	ENG	USER MENU 画面へ、 VITC UB MODE 項目を 登録する設定。

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

警告システム

電源を入れた直後や操作中に異常が検出されると、表示窓（LCD）やWARNINGランプ、ビューファインダー内のランプ、スピーカー、イヤホンからの警告音が異常発生を知らせます。

■ SLACK

LCDの表示	<ul style="list-style-type: none"> ● SLACK表示が点滅します。 ● タイムコード表示位置に、エラーコードを表示します。
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。
タリールンプ	1秒間に4回点滅します。
警告アラーム	連続的に鳴ります。
ビューファインダー	SLACK表示が点滅します。
警告内容	テープの巻き取り異常です。
VTR部の動作	停止します。 ソレノイドの異常を検出したときは、電源が切れます。（LCDの警告表示は継続します。）
対 策	表示窓のエラーコード（111ページ参照）を確認し、最寄りのサービスセンターにご相談ください。

■ RF

LCDの表示	RF表示が点滅します。（記録中）
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。（記録中）
タリールンプ	1秒間に4回点滅します。（記録中）
警告アラーム	1秒間に4回鳴ります。（記録中）
ビューファインダー	RF表示が点灯します。（記録中）
警告内容	ビデオヘッドの目詰まりです。記録系に異常があります。
VTR部の動作	ヘッドの目詰まりを検出して、警告音を出します。 クリーニングローラーが作動し、ヘッドをクリーニングします。（10秒間以上） 記録を継続しますが、正しく記録できない場合があります。 警告表示は、REC/PAUSE状態まで保持します。REC/PAUSEからモードが移行した時点で消灯します。
対 策	ヘッドクリーニングをします。 クリーニング後も正しく記録できない場合は、電源を切り、最寄りのサービスセンターにご相談ください。

■ REC WARNING

LCDの表示	タイムコード表示位置に、「00:00:00:11」を表示します。（記録中に5秒間以上）
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。（記録中に3秒間以上）
タリールンプ	1秒間に4回点滅します。（記録中に3秒間以上）
警告アラーム	1秒間に4回鳴ります。（記録中に3秒間以上）
ビューファインダー	REC WARNING表示が点滅します。（記録中に3秒間以上）
警告内容	記録制御信号の異常です。
VTR部の動作	記録を継続しますが、警告が表示されている間は、正しく記録できない場合があります。
対 策	本機内部の制御信号異常です。 最寄りのサービスセンターにご相談ください。

■ SERVO



LCDの表示	SERVO表示が点灯します。（記録中と再生中）
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。（記録中と再生中）
タリールンプ	1秒間に4回点滅します。（記録中と再生中）
警告アラーム	1秒間に4回鳴ります。（記録中と再生中）
ビューファインダー	SERVO表示が点灯します。（記録中と再生中）
警告内容	サーボが乱れています。
VTR部の動作	動作を継続しますが、正しく動作しない場合があります。
対 策	電源を切り、販売店にご相談ください。 テープ走行開始時に、警告表示が一瞬点滅して消える場合がありますが、異常ではありません。

警告システム



■ HUMID

LCDの表示	HUMID表示が点灯します。 結露検出解除後も、80分間は点滅します。
WARNINGランプ	<ul style="list-style-type: none"> ● 結露を検出したときに点灯します。 ● 結露検出解除後、1秒間に1回点滅します。
タリールンプ	1秒間に4回点滅します。
警告アラーム	<ul style="list-style-type: none"> ● 記録中は、1秒間に4回鳴ります。 ● 記録中以外は、連続的に鳴ります。
ビューファインダー	HUMID表示が点灯します。
警告内容	結露が発生しています。
VTR部の動作	設定メニュー「HUMID OPE」の設定によりVTR部の動作が変わります。 <ul style="list-style-type: none"> ● ONに設定されているときは、動作を継続します。 ● OFFに設定されているときは、記録動作は継続しますが、テープ貼り付きを起こすと、記録を停止します。 結露検出解除後80分間は、ドラムを回転させ動作を受け付けません。
対 策	テープ走行を停止し、電源を切ってください。 再度電源を入れても、HUMID表示が消えない場合は、消えるまでお待ちください。


■ TAPE NEAR END

LCDの表示	
WARNINGランプ	1秒間に1回点滅します。(記録中)
タリールンプ	1秒間に1回点滅します。(記録中)
警告アラーム	1秒間に1回鳴ります。(記録中) 設定メニューで切り替え可能です。
ビューファインダー	<ul style="list-style-type: none"> ● テープ残量表示が1秒間に1回点滅します。(EEモード時) ● SAVEランプが警告アラームに連動して点滅します。(VTR MENUのVTR VF INDICATOR画面SAVE LED項目でSAVE&TAPEに設定されているとき) ●  が1秒間に1回点滅します。(記録中に3秒間)
警告内容	テープの終端間近です。
VTR部の動作	動作を継続します。
対 策	必要に応じて、カセットテープを交換します。


■ TAPE END

LCDの表示	
WARNINGランプ	点灯します。(停止中とスタンバイオフ時)
タリールンプ	1秒間に4回点滅します。(停止中とスタンバイオフ時)
警告アラーム	連続的に鳴ります。(停止中とスタンバイオフ時)
ビューファインダー	<ul style="list-style-type: none"> ● SAVE表示が1秒間に4回点滅します。(停止中とスタンバイオフ時) ●  が点灯します。(停止中とスタンバイオフ時)
警告内容	テープの終端です。
VTR部の動作	記録、再生、早送り中は、動作を停止します。
対 策	テープを巻き戻します。 または、カセットテープを交換します。

■ BATTERY NEAR END

LCDの表示	
WARNINGランプ	1秒間に1回点滅します。
タリールンプ	1秒間に1回点滅します。
警告アラーム	1秒間に4回鳴ります。
ビューファインダー	BATT表示が1秒間に1回点滅します。
警告内容	バッテリーの消耗間近です。
VTR部の動作	動作を継続します。
対 策	必要に応じて、バッテリーを交換します。

■ BATTERY END

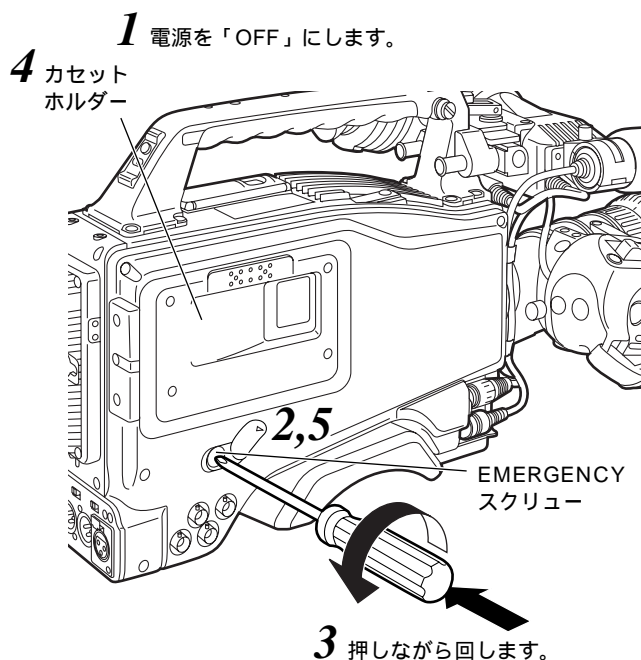
LCDの表示	
WARNINGランプ	点灯します。
タリールンプ	1秒間に1回点滅します。
警告アラーム	連続的に鳴ります。
ビューファインダー	BATT表示が点灯します。
警告内容	バッテリーの消耗です。
VTR部の動作	全ての動作を停止して、テープをアンロードします。 カセットテープのイジェクト動作のみを受け付けます。
対 策	バッテリーを交換します。

EMERGENCY イジェクト

EJECT ボタンを押してもカセットを取り出せないときは、ドライバー等でEMERGENCY スクリューを押しながら回すと、カセットを取り出すことができます。

1 電源を「OFF」にします。

2 図のようにゴムキャップを外し、プラスドライバーをEMERGENCY スクリュー（赤色）の十字部に挿入します。



- 回し始めてからアンローディングを開始するまで、約 20 回転必要です。
- 回し始めてからテープがイジェクトするまで、約 90 回転必要です。

3 ドライバーを押しながら、テープがイジェクトするまでEMERGENCY スクリューを反時計方向に回転させます。

- 回し始めてからアンローディングを開始するまで、約 20 回転必要です。
- 回し始めてからテープがイジェクトするまで、約 90 回転必要です。

4 カセットを取り出します。

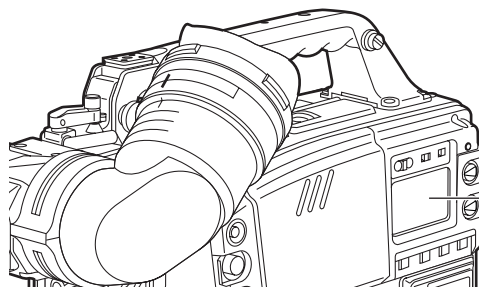
5 ゴムキャップを元に戻します。

<ノート>

- 緊急以外はこのEMERGENCY スクリューを回さないようにしてください。
- スクリューは時計方向に回さないでください。また、テープがイジェクトした後はそれ以上回転させないでください。メカニズム部を破損させるおそれがあります。
- テープがイジェクトした後は、カセットホルダーを閉めてもロックしません。必ず電源を再投入し、メカニックの動作をリセットさせてから、カセットホルダーを閉めてください。
- EMERGENCY スクリューを回す際、クリック (カチカチ) 音がしますが、リール駆動の動作音であり、異常ではありません。

エラーコード

何らかの原因で本機にエラーが発生したときには、表示窓に下記のエラーコードを表示します。



コード No.	内容
07	ピンチソレノイド異常
08	クリーニングソレノイド異常
0B	供給リールの異常
0C	巻き取りリールの異常
0D	キャプスタン異常
0E	シリンダーの異常
0F	ローディング異常
3F	サーボ異常

メンテナンス

結露

本機を冷たい場所から暖かい場所に移したり、湿気が多い場所で使用すると、空気中に含まれる水蒸気が、ヘッドドラムに水滴となって付着することがあります。これを「結露」と言い、このような状態のときにテープを走行させると、テープがドラムに貼り付きやすくなります。

次のような点にご注意ください。

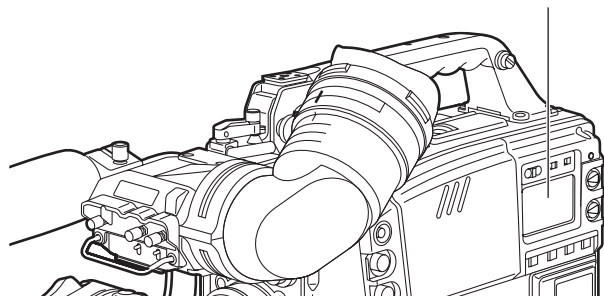
- 結露の可能性のある状況で本機を起動するときは、テープを取り出しておいてください。
- テープを入れる前に、電源スイッチを「ON」にして、表示窓に HUMID 表示が点灯していないことを確認してください。

< ノート >

結露検出解除後も安全のため、80 分間 HUMID を点滅表示させて、ドラムを回転させます。

この間は、操作ボタンを受け付けません。

HUMID 表示が点灯していないことを確認してください。



ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングが必要な場合には、クリーニングカセット AJ-CL12LP をお使いください。

使用方法を誤りますとビデオヘッドを傷めることもありますので、ご使用の際は、クリーニングテープの取扱説明書をお読みください。

ビューファインダー内のクリーニング

- 汚れを取るとき、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。
- レンズを拭くときは、市販のレンズクリーナーを使用してください。
- ミラーは絶対拭かないでください。ゴミなどが付着しているときは、市販のエアブローアで取り除いてください。

CCD カメラ特有の現象について

スミア

高輝度の被写体を撮影した場合に発生することがあります。

この現象は、電子シャッタースピードが速くなるほど発生しやすくなります。

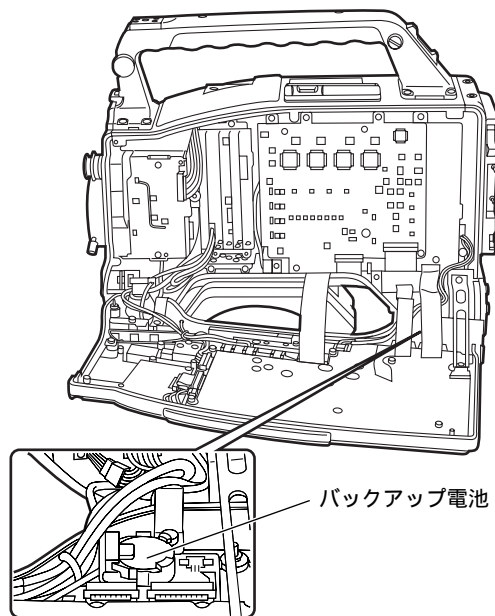
バックアップ電池の交換

バックアップ電池は、すでに取り付けた状態で出荷しています。

電池が消耗すると、POWER スイッチを ON にしたとき、ビューファインダー画面に「BACK UP BATT EMPTY」の表示が 3 秒間表示されます。

また、TCG のタイムコード値が「00 : 00 : 00 : 00」になり、タイムコード値のバックアップができなくなりますので、バックアップ電池の交換が必要です。

最寄りのサービスセンターにご相談のうえ、新しい電池 (CR2032 または BR2032) と交換してください。



バックアップ電池

撮影前の点検

点検の準備

撮影の前に次の点検を行い、システムが正常に動作することを確認してください。
カラーモニターを使って画像のチェックをすることをお勧めします。

1 充電済みのバッテリーを挿入します。

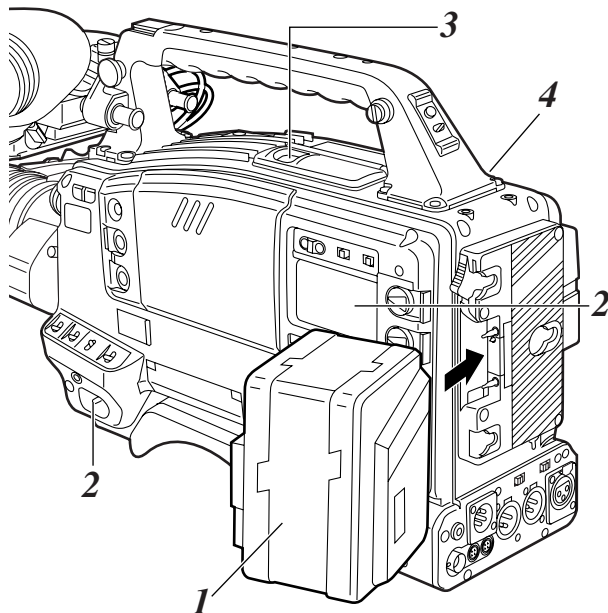
2 POWERスイッチを「ON」にし、HUMID表示が出ないことや、BATTERY表示が5個以上点灯していることを確認します。

- HUMIDが表示したときは、表示が消えるまで待ってください。
- バッテリー残量表示が5個以上点灯していないときは、十分に充電したバッテリーと交換してください。

3 カセットホルダーやトップパネル付近にケーブルなどが無いことを確認した後、EJECTボタンを押してカセットホルダーを開きます。

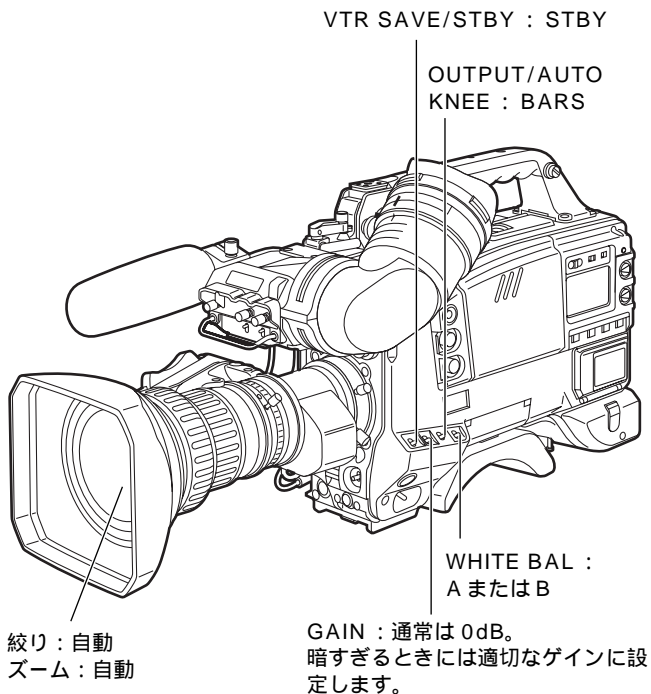
4 次の点を確認した後、カセットテープを挿入し、カセットホルダーを閉めます。

- カセットテープが誤消去防止状態になっていない。
- テープにたるみが無い。



カメラ部の点検

スイッチを次のように設定します。



撮影前の点検

ビューファインダーの点検

- 1 ビューファインダーの位置を調節します。
- 2 ビューファインダー画面にカラーバーが映ることを確認した後、BRIGHTつまみやCONTRASTつまみ、PEAKINGつまみでビューファインダー上のカラーバーがきれいに映るように調整します。
- 3 MENUボタンやJOGダイヤルボタンの操作で、ビューファインダー画面に、MENU画面が表示されることと、項目の設定変更ができることを確認します。(メニュー操作 76 ~ 78 ページ参照)
- 4 OUTPUT/AUTO KNEEスイッチを「CAM」にし、CCとNDの各FILTERつまみを切り替えます。
つまみの位置に対応し、ビューファインダー画面のFILTER表示の数字が変わることを確認します。
- 5 以下の操作を実行し、CAM MENUの「! LED」画面でONに設定した項目を操作したとき、①ランプが点灯することを確認します。
 1. GAINスイッチでゲインを0dB以外の値に設定する。
 2. SHUTTERスイッチを「ON」にする。
 3. WHITE BALスイッチを「PRST」にする。
 4. レンズエクステンダーを入れる。
 5. FILTERつまみを「B」以外に設定する。
- 6 SHUTTERスイッチを「ON」から「SEL」側に繰り返し押し、ビューファインダー画面でシャッターの設定が変わることを確認します。
- 7 任意の被写体にレンズを向け、フォーカスリングを回して、ピントを合わせます。
ビューファインダーに画像が映ることを確認します。
- 8 AUDIO IN CH 1/CH 2スイッチを両方とも「FRONT」にし、VTR MENUの「VTR VF INDICATOR」画面でLEVEL METERを「CH1」にします。
レンズ側のMIC INコネクタに接続したマイクから音を入力すると、ビューファインダー画面に音声レベルが表示されることを確認します。
VTR MENUの「VTR VF INDICATOR」画面でLEVEL METERを「OFF」にすると、ビューファインダーの音声レベル表示が消えることを確認します。
- 9 ZEBRAスイッチの設定を「ON」にすると、ビューファインダー画面にゼブラパターンが表示され、「OFF」にすると消えることを確認します。

< ノート >

上記3 ~ 6の項目や機能は、設定状況によって表示されない場合や動作しない場合があります。

本機をエンジニアモードに切り替え、メニューの「VF DISPLAY」画面で「DISPLAY MODE」を「3」に設定し、「SHUTTER SPEED」、「! LED」、「CAM USER MENU SELECT 1 ~ 3」画面で、必要な項目を設定してください。

撮影前の点検

絞り、ズーム機能の点検

- 1 ズームを電動ズームモードにして、電動ズームの確認をします。
画像が望遠、広角と変わることを確認する。
- 2 ズームを手動ズームモードにし、手動ズームの確認をします。
手動ズームレバーを回し、画像が望遠、広角と変わることを確認します。
- 3 絞りを自動調整モードにし、明るさの違う被写体にレンズを向け、自動絞り調整が働くことを確認します。
- 4 絞りを手動調整モードにし、絞りリングを回し、手動絞りの調整を確認します。
- 5 瞬間絞り自動調整ボタンを押しながら、明るさの違う被写体にレンズを向け、瞬間絞り自動調整機能の確認をします。
- 6 絞りを自動調整モードに戻し、GAINスイッチの設定をL、M、Hと切り替えて次の点を確認します。
 - 設定の切り替えに応じて、同じ明るさの被写体に対し絞りが調整されます。
 - 設定の切り替えに応じて、ビューファインダー画面のゲイン値表示が切り替わります。
- 7 エクステンダー付きのレンズを装着しているときは、エクステンダーを使用位置にし、正常に働くことを確認します。

VTR 部の点検

- 「1. テープ走行の点検」から「4. イヤホン、スピーカーの点検」までは連続して行ってください。
1. テープ走行の点検
 - 1 VTR SAVE/STBY スイッチを「SAVE」にし、ビューファインダー内のVTR SAVE ランプが点灯することを確認します。
 - 2 VTR SAVE/STBY スイッチを STBY にして、VTR SAVE ランプが消灯することを確認します。
 - 3 TCG スイッチを「R-RUN」にします。
 - 4 DISPLAY スイッチを「CLT」にします。
 - 5 本機の VTR START ボタンを押し、次の項目を確認します。
 - テープのリールが回転する。
 - カウンター表示部数値が変わる。
 - ビューファインダー内の REC ランプが点灯する。
 - 表示窓の RF、SERVO 表示が点灯しない。
 - 6 本機の VTR START ボタンをもう一度押します。テープが止まり、ビューファインダー内の REC ランプが消えることを確認します。
 - 7 レンズの VTR ボタンを使って、5・6 と同じ動作を確認します。
 - 8 RESET ボタンを押し、カウンター表示部の数値が「00 : 00 : 00 : 00」になることを確認します。
 - 9 LIGHT スイッチを「ON」にし、表示窓が照明されることを確認します。
 - 10 REW ボタンを押し、しばらく巻き戻してから PLAY/PAUSE ボタンを押します。
記録、再生、巻き戻しが正常に動作することを確認します。
 - 11 FF ボタンを押し、早送りが正常に行われることを確認します。

撮影前の点検

VTR 部の点検

2. 音声レベル自動調整機能の点検

- 1 AUDIO SELECT CH1/CH2 スイッチを「AUTO」にします。
- 2 AUDIO IN CH1/CH2 スイッチを「FRONT」にします。
- 3 MIC IN 端子に接続したマイクを適当な音源に向け、CH 1/CH 2 両方のレベル表示が、音の大きさに合わせて変わることを確認します。

3. 音声レベル手動調整機能の点検

- 1 AUDIO IN CH1/CH2 スイッチを「FRONT」にします。
- 2 AUDIO SELECT CH1/CH2 スイッチを「MAN」にします。
- 3 AUDIO LEVEL CH1/CH2 つまみを回します。右に回すと、レベル表示が増えることを確認します。

4. イヤホン、スピーカーの点検

- 1 VTR SAVE/STBY スイッチを「STBY」にします。
- 2 MONITOR つまみを回し、スピーカーの音量が変わることを確認します。
- 3 イヤホンを PHONES 端子に接続します。スピーカーからの音が消え、イヤホンからマイクの音が聞こえることを確認します。
- 4 MONITOR つまみを回し、イヤホンの音量が変わることを確認します。

5. 外部マイクを使う場合の点検

- 1 外部マイクを AUDIO IN CH1、CH2 コネクタに接続します。
- 2 AUDIO IN CH1/CH2 スイッチを「REAR」にします。
- 3 後面の LINE/MIC/+48V 切り替えスイッチを、外部マイクの電源供給方式に応じて「MIC」と「+48V」に切り替えます。
MIC : 内部電源供給方式のマイク
+ 48V : 外部電源供給方式のマイク
- 4 マイクを音源に向け、表示窓の音声レベルメーターやビューファインダー内の音声レベル表示が、音の大きさに合わせて変わることを確認します。1本のマイクを各チャンネルに接続して、チャンネル毎に点検することもできます。

6. タイムコード、ユーザズビットに関する点検

- 1 必要に応じてユーザズビットを設定します。設定のしかたについては「ユーザズビットの設定」(61 ページ)をお読みください。
- 2 タイムコードを設定します。設定のしかたについては「タイムコードの設定」(62 ページ)をお読みください。
- 3 TCG スイッチを「R-RUN」にします。
- 4 VTR START ボタンを押します。テープ走行とともに、カウンター表示部の数値が変わることを確認します。
- 5 再度、VTR START ボタンを押します。テープが止まり、カウンター表示部の数値が変わらなくなることを確認します。
- 6 TCG スイッチを「F-RUN」にします。カウンター表示部の数値が、テープ走行に関係なく変わることを確認します。
- 7 DISPLAY スイッチを「UB」にします。設定したユーザズビットが表示されることを確認します。

アフターサービス

アフターサービスについて

1. 保証書...内容のご確認と保存のお願い
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入を確かめて、お買い上げの販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
 2. 保証期間...お買い上げ日から1年間
取扱説明書および本体貼付ラベル等の注意事項に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障を生じた場合には、保証書記載事項に基づき、販売店で「無料修理」させていただきます。保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。
 - (I) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (II) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
 - (III) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷
 - (IV) その他指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障および損傷
 - (V) 他の接続機器および接続部材に起因して生じた故障および損傷
 - (VI) 別に指定する* 磨耗性の部品、あるいは付属品の故障および損傷
 3. 補修用性能部品の最低保有期間
本機の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
 4. 修理を依頼される前に
この取扱説明書をよくお読みのうえ点検していただき、なお異常があるときは、必ず電源スイッチをOFFにしてから、販売店にお申しつけください。
 5. ご転居・定期保守サービス等ご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- * 磨耗性の部品とは、下記部品類です。

- | | |
|-----------|----------|
| ● ビデオヘッド | ● ゴムプリー類 |
| ● ピンチローラー | ● ローラー類 |
| ● 各種プレーキ | ● ヘッド類 |
| ● モーター類 | |

定期保守のおすすめ

ビデオは

- 複雑なメカニズムで構成されており、ローラー、ヘッドなどが数多く使用されています。
- これら部品は、使用時間が経過するにつれて磨耗劣化し、故障の原因となります。
- また、ホコリ、ゴミなども安定した機能を妨げ、トラブル発生の原因となります。

このため、単に将来の故障発生時に行うアフターサービスにとどまらず、総合的なサービス、即ちビデオシステムの機能を正常に維持させ、消耗部品などによる突発的な故障を未然に防ぐために、保守サービス(メンテナンス)を定期的に行うことが非常に大切であるといえます。定期保守サービス(有料扱い)については、お買い上げの販売店にご相談ください。

定 格

【総合】

電源電圧	DC12V (DC11V ~ DC17V)
消費電力	記録時：32W (HD SDI OFF)
	再生時：38W (HD SDI ON)

 は安全項目です。

動作周囲温度

0 ~ + 40

保存温度

- 20 ~ + 60

動作周囲湿度

85%以下 (相対湿度)

連続動作時間

約 70 分 (アントントリムパック 14/40W 使用時)

重量

4.3 kg (本体のみ)

約 7.0 kg (本体、ビューファインダー、レンズ、
バッテリーパック、テープ、マイクを含む)

外形寸法

132 (幅) × 204 (高さ：ハンドルは含まない) × 313 (奥行) mm

【カメラ部】

撮像素子

2/3 インチ オンチップ FIT 型 CCD
(220 万画素)

方式

RGB 3CCD 方式

総画素数

2010 (H) × 1086 (V)

有効画素数

1920 (H) × 1080 (V)

分光系

F1.4 プリズム方式

内蔵フィルター

CC フィルター：

A：CROSS、B：3200K、

C：4300K、D：6300K

ND フィルター：

1：CLEAR、2：1/4ND、

3：1/16ND、4：1/64ND

量子化

10 ビット非線形

サンプリング周波数

74MHz

デジタル信号処理

74MHz

水平駆動周波数

74MHz

プログラマブルゲイン

- 3dB/0dB/3dB/6dB/9dB/12dB/15dB/

18dB/21dB/24dB/27dB/30dB より 3 ポジシ
ョンを設定可能 (L/M/H)

スーパーゲイン

18dB/21dB/24dB/27dB/30dB 選択可能

シャッタースピード

プリセット：

1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、
1/2000 秒

シンクロスキャン：

1/30.3 ~ 1/58.8 秒、1/60.8 ~ 1/250.2 秒

レンズマウント

2/3 インチ バヨネット型

感度

F8 (2000 lux、89.9% 反射)

最低被写体照度

2 lux (F1.4、+ 30dB 時)

映像 S/N

54dB (標準)

水平解像度

1000 TV 本以上 (中心)

レジストレーション

0.03% 以下 (全域) (レンズ除く)

定 格

【VTR 部】

VTR 映像系

サンプリング周波数

Y : 74MHz

P_B/P_R : 37MHz

量子化

8 ビット

ビデオ圧縮方式

DCT + 可変長符号

ビデオ圧縮比率

1/6.7

エラー訂正

リードソロモンプロダクトコード

ビデオ記録ビットレート

100Mbps

映像帯域

Y : 20MHz

P_B/P_R : 10MHz

VTR 音声系

(標準再生機で再生時)

サンプリング周波数

48kHz (ビデオに同期)

量子化

16 ビット

周波数特性

20Hz ~ 20kHz ± 1.0dB (基準レベルにて)

ダイナミックレンジ

85dB 以上 (1kHz、AWTD にて)

歪み率

0.1 % 以内 (1kHz、基準レベルにて)

ワウ・フラッタ

測定限界値以下

ヘッドルーム

20dB

VTR テープ走行系

使用テープ

1/4 インチ DVC PRO 用 L カセットテープ

テープ速度

135.28mm/s

録画 / 再生時間

46 分 (AJ-HP46LP 使用時)

32 分 (AJ-HP32LP 使用時)

FF/REW 時間

約 3 分 (AJ-HP46LP 使用時)

【コネクター部】

入力

AUDIO IN CH1/CH2 (XLR × 2、3 ピン、オス)

LINE/MIC/MIC + 48V 切り替え式、

LINE :

+ 4dBu

MIC :

- 60dBu

MIC + 48V :

ファントム + 48V、- 60dBu

MIC IN (XLR、3 ピン、メス)

- 40dBu (内部スイッチにて - 50dBu に切り替え可)

ファントム + 48V 対応

GENLOCK IN (BNC)

SMPTE274M (アナログシンク) 規格に準拠

TC IN (BNC)

0.5V ~ 8V [p-p]、High インピーダンス

出力

HD SDI OUT (BNC × 2)

0.8V [p-p]、スイッチ機能付き

AUDIO OUT (XLR、5 ピン、メス)

+ 4dBm

TC OUT (BNC)

2.0V [p-p]、Low インピーダンス

PHONES

ステレオミニジャック

その他

DC IN (XLR、4 ピン、オス)

DC12V (DC11V ~ 17V)

DC OUT (4 ピン)

DC12V (DC11V ~ 17V) 0.1A (最大)

LENS (12 ピン)

ECU (6 ピン)

EVF (20 ピン)

定 格

【ビューファインダー】

(別売品 AJ-HVF20)

ブラウン管

2 インチ 高解像度モノクローム管

映像方式

1080i/59.94Hz

外部調整器

コントロールつまみ：

BRIGHT、CONTRAST、PEAKING

スイッチ：

TALLY HIGH/OFF/LOW、ZEBRA ON/OFF

【付属品】

- ショルダーベルト (× 1)
- SONY 社対応バッテリー端子 (ビス含む)
- アントン・パワー用バッテリーホルダー (本体に装着済み)
- クッション (バッテリー用)

【関連機器】

電源関連

バッテリーパック

AU-BP402、AJ-BP490

バッテリーチャージャ

AG-B425 (バッテリーパック AU-BP402 充電用)

AJ-B450 (バッテリーパック AJ-BP490 充電用)

バッテリーケース

AU-M402H

ACアダプタ

AJ-B75

ビューファインダー

2.0 インチビューファインダー

AJ-HVF20

外部 VTR 関連

エクステンションコントロールユニット

AJ-EC3

オーディオ機器

マイクロホンキット

AJ-MC700P

マイクホルダー

AJ-MH700P

ワイヤレスマイク受信機

WX-RJ700

カメラアタッチメント

WX-ZJ770

保守用製品

クリーニングテープ

AJ-CL12LP

ソフトキャリングケース

AJ-SC900

レインカバー

SHAN-RC700

松下電器産業株式会社 放送システム事業部

☎ 571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号 ☎ (06) 6901 - 1161